

大分市文化・芸術に関する 市民アンケート調査報告書

令和6年3月

目 次

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要	1
2 回答者の属性	2

II 調査結果

■ 文化・芸術の鑑賞、活動について ■

1 鑑賞、活動の大切さ	5
2 過去1年間の鑑賞、活動内容	7
3 鑑賞、活動しようとするとき優先する要素	11
4 鑑賞、活動の時間帯	14
5 鑑賞、活動した場所	19
6 鑑賞、活動の頻度	21
7 鑑賞、活動する目的	23
8 鑑賞も活動もしていない理由	25

■ 文化・芸術に関する情報について ■

9 情報の入手方法	27
10 情報を発信するため必要な取組	29

■ 文化・芸術にかかるボランティア活動について ■

11 この1年間に文化・芸術にかかるボランティアや寄付の経験	31
12 ボランティアや寄付の内容	32
13 ボランティアや寄付をしなかった理由	33
14 参加したいボランティアや寄付	34
15 ボランティアや寄付がしやすくなるために必要なこと	36

■ 子どもや次世代の人材育成について ■

16 子どものころから文化・芸術に触れる機会の必要性	38
17 子どもたちが文化・芸術に親しむ機会を充実させるために必要なこと	39
18 子どもたちが文化・芸術に親しむことで、期待する効果	41
19 次世代の文化・芸術の担い手の育成や支援に必要なこと	43

■ 文化財や歴史的な価値のあるもの（歴史的遺産）について ■

20 保存して、活用していく取組への大切さ	45
21 保存・活用することが大切だと思う理由	46
22 保存・活用することが大切だと思わない理由	48
23 保護・活用するために必要な取組	49

■ 大分市の文化・芸術施策について ■

24	大分市の文化・芸術施策について.....	51
25	大分市が日本における南蛮文化発祥の地であることの認知状況.....	57
26	知っていること.....	58
27	文化・芸術が盛んなまちという意識.....	59
28	文化・芸術が盛んなまちであると感じるところ.....	60
29	文化施設の充実状況.....	62
30	文化施設の利用促進の方法.....	63
31	主に利用している文化施設.....	65
32	施設の利用環境.....	67
33	ユニバーサルデザインへの配慮.....	68
34	文化・芸術施策で充実させてほしい分野.....	69
35	文化・芸術を鑑賞、活動しやすい曜日・時間帯.....	71
36	文化・芸術がもっと盛んになるため市が行うべきこと.....	76
37	文化・芸術を活かした方が良いと感じる分野.....	78

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、文化・芸術に対する市民の関心度やニーズ等を把握し、今後の文化・芸術施策等を検討するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

(2) 調査実施方法

対象者と抽出方法	住民基本台帳に記載された、大分市に居住する18歳以上の市民3,000人を無作為に選ばせていただきました。
調査方法	郵送調査法
調査時期	令和5年11月20日～令和5年12月15日
配布・回収状況	配布数 3,000 不明返戻 16 回収数 788 回収率 26.4% ※回収率=回収数÷(配布数-不明戻数)

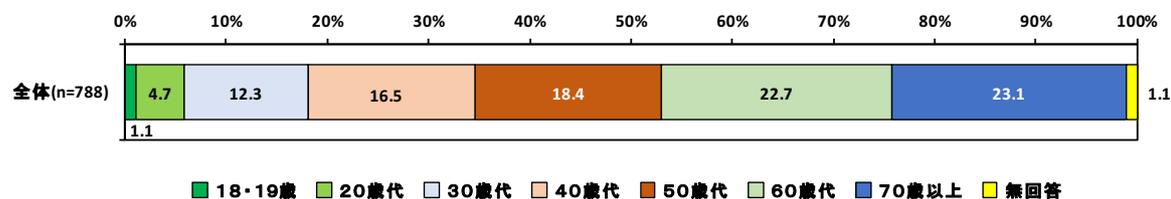
(3) 調査結果の処理

- 回答比率は、百分比のポイント以下2位を四捨五入していますので、合計は必ずしも100%にならないことがあります。
- 2つ以上の回答を求めた（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超えます。
- 図に表示された「n」は、回答者数を示しています。

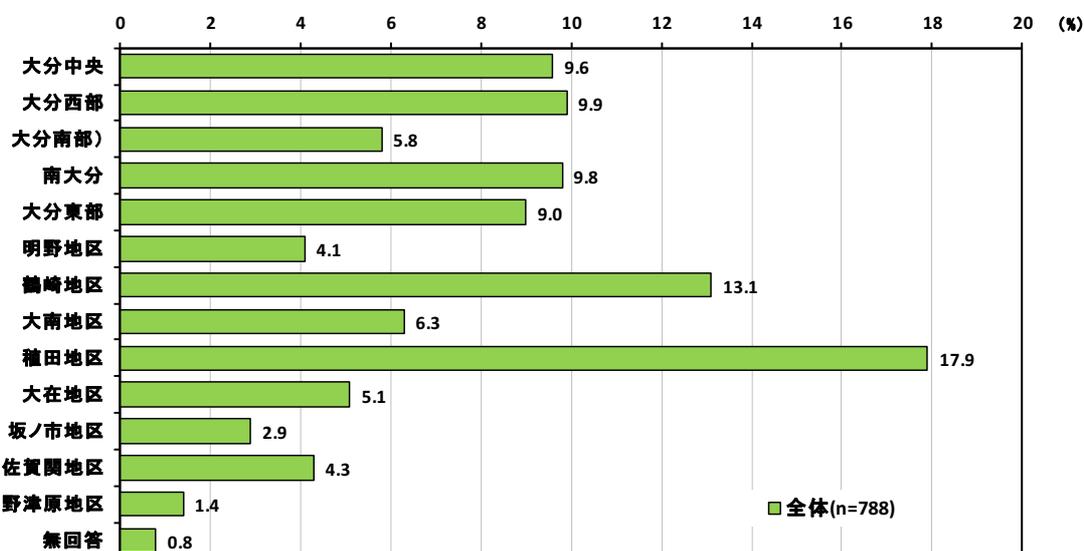
2 回答者の属性

有効回答のあった788人の属性は、以下のようになっています。

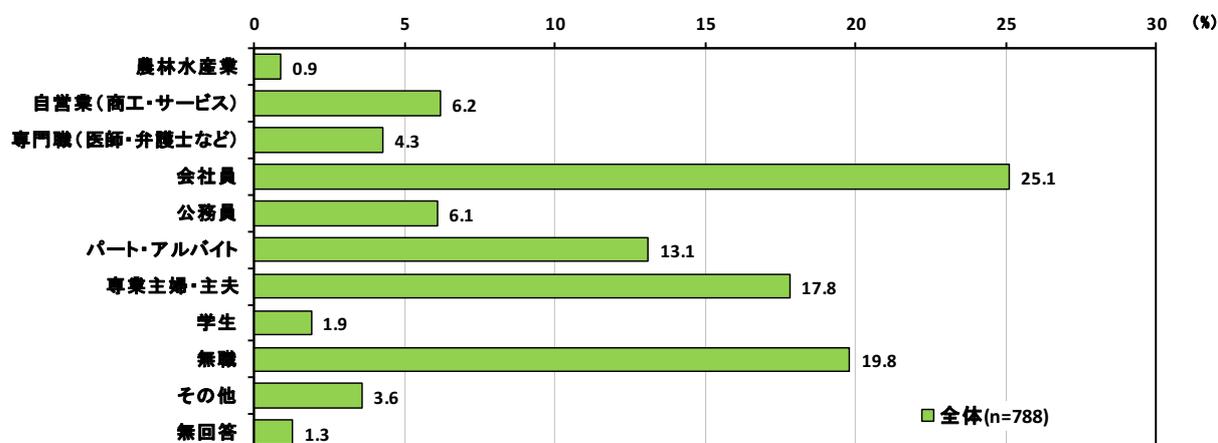
■年齢



■居住地区



■主な職業



II 調査結果

■ 文化・芸術の鑑賞、活動について ■

1 鑑賞、活動の大切さ

『大切度』は、鑑賞では 82.1% ですが、活動では 60.0% と、鑑賞に比べると 22.1 ポイント少なくなっています。

鑑 賞	活 動
・ 大切だ …………… 49.7% (47.3%)	・ 大切だ …………… 30.8% (29.2%)
・ <u>どちらかといえば大切だ</u> …… 32.4% (33.1%)	・ <u>どちらかといえば大切だ</u> …… 29.2% (28.3%)
『大切度』 82.1% (80.4%)	『大切度』 60.0% (57.5%)
・ あまり大切でない …………… 1.9% (1.5%)	・ あまり大切でない …………… 2.9% (3.3%)
・ <u>大切でない</u> …………… 0.5% (0.6) %	・ <u>大切でない</u> …………… 2.5% (0.9%)
『大切でない度』 2.4% (2.1%)	『大切でない度』 5.4% (4.2%)

(注) () の数値は、前回の令和元年度調査の数値。(以下、同様)

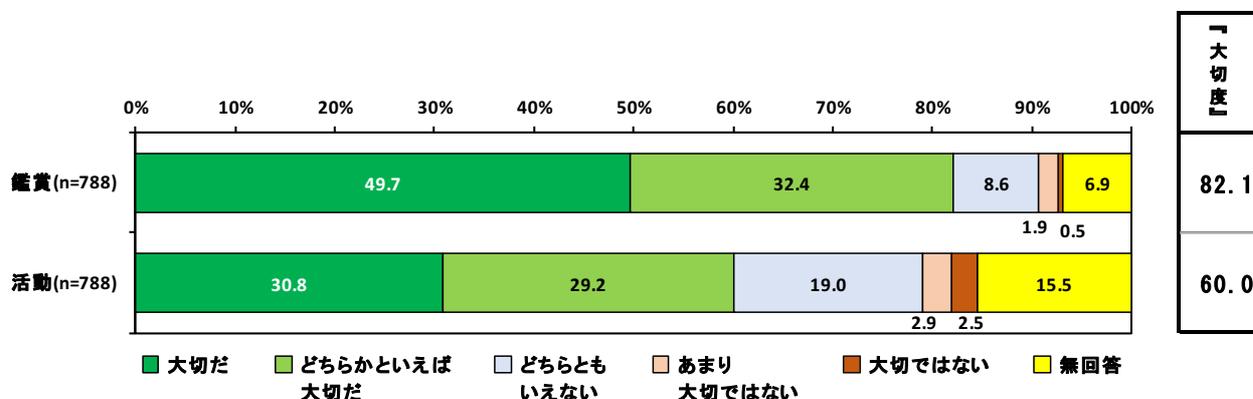
【前回との比較】

- 前回調査から大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

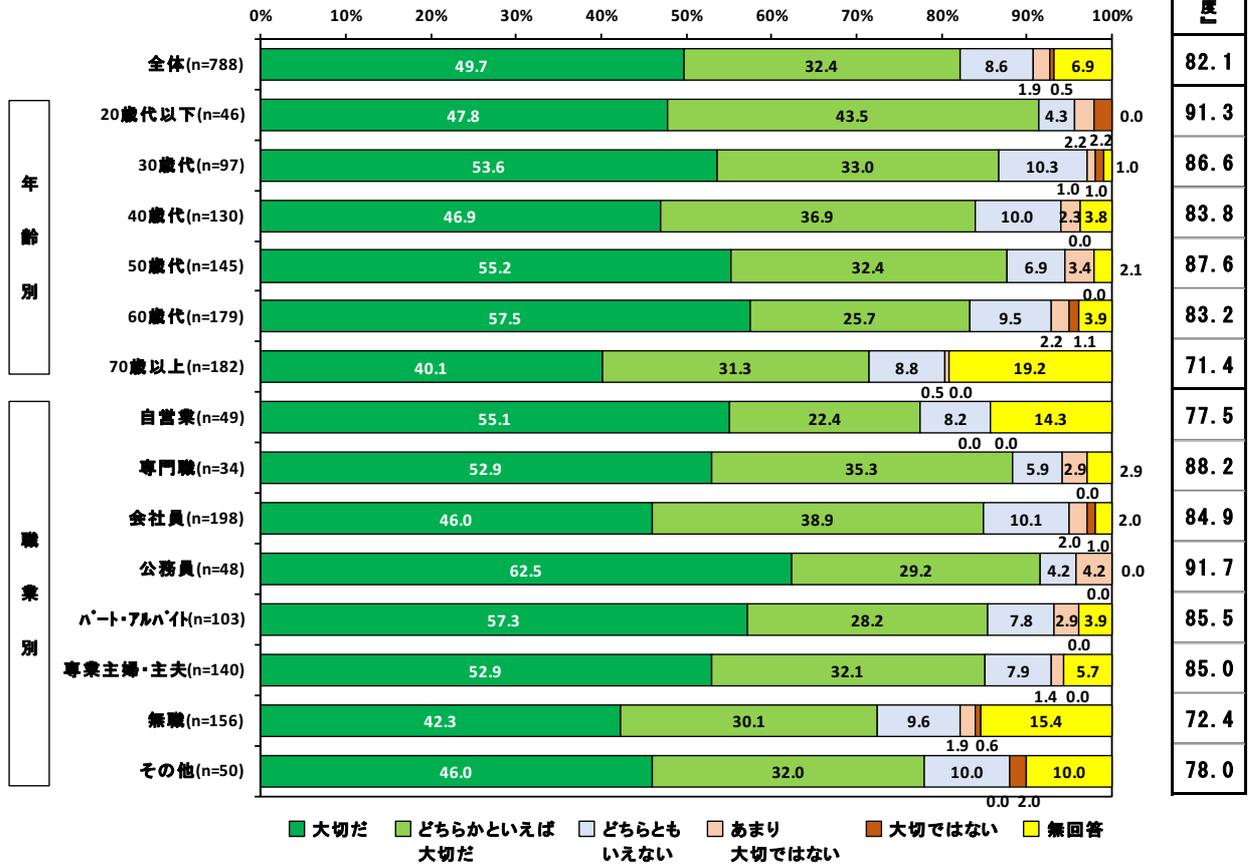
鑑 賞	● 年齢別にみると、『大切度』は 20 歳代以下では 91.3%、30～60 歳代では 8 割台ですが、70 歳以上では 71.4% と少なくなっています。
活 動	● 年齢別にみると、『大切度』は 30 歳代以下では 7 割台、40～60 歳代では約 6 割ですが、70 歳以上では 47.8% と半数を下回っており、年齢による意識の差が大きくなっています。

【設問 4】文化・芸術の鑑賞、または活動をするについて、どのように思いますか。(1つに○)

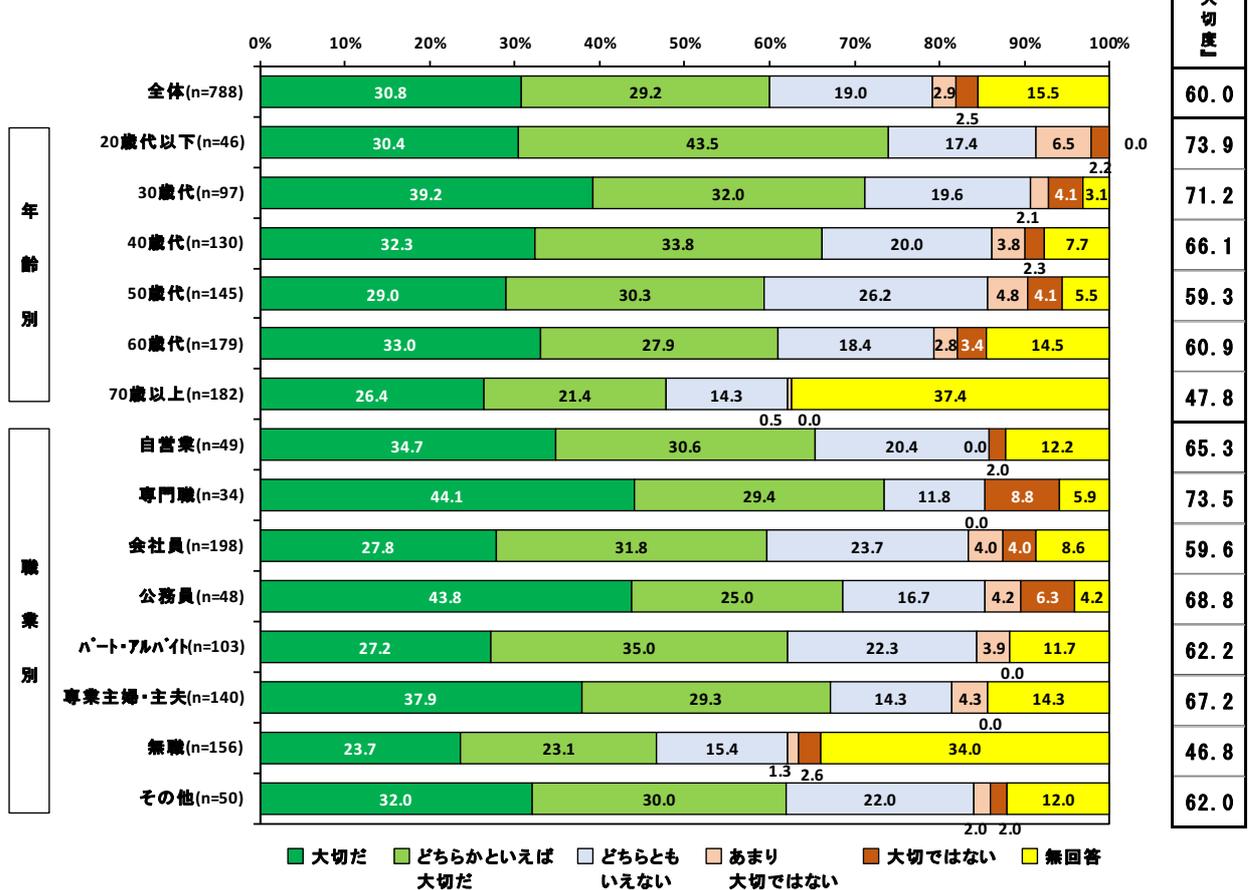


【設問4】文化・芸術の鑑賞、または活動をすることについて、どのように思いますか。

《鑑賞》



《活動》



2 過去1年間の鑑賞、活動内容

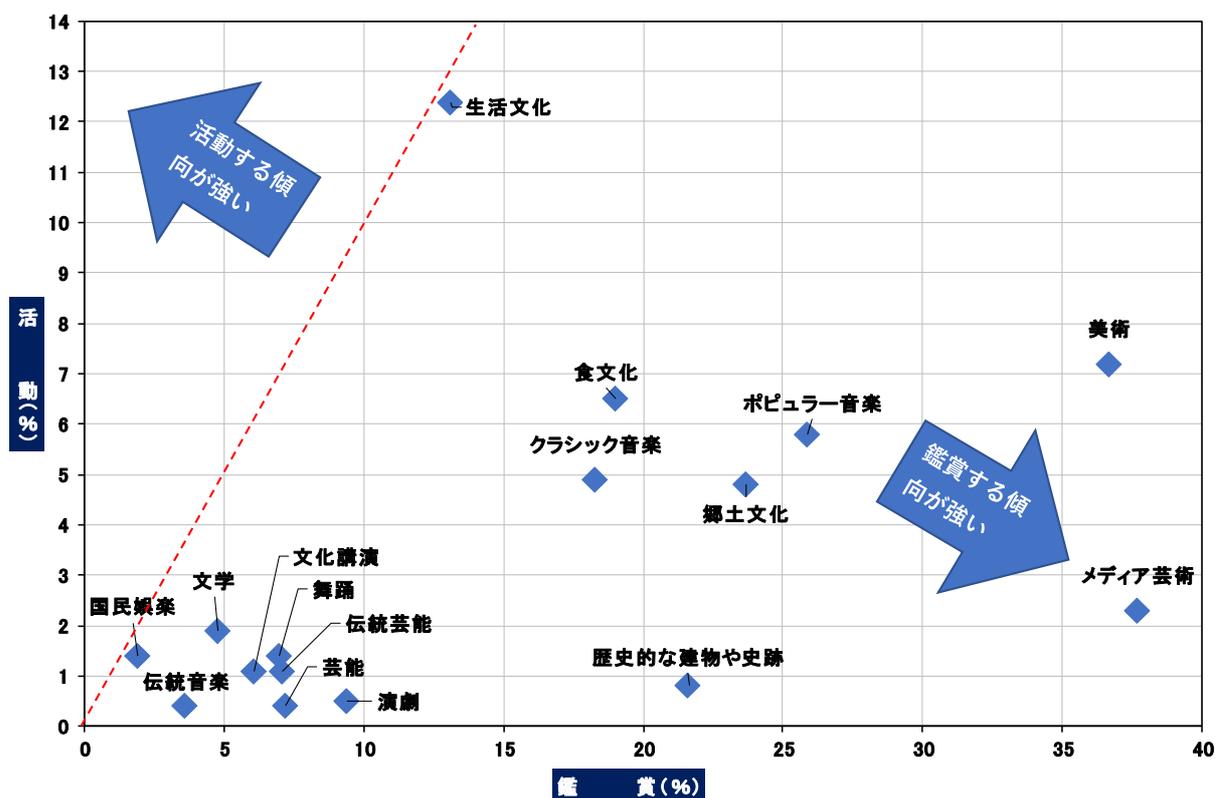
文化・芸術は、鑑賞では「メディア芸術」、活動では「生活文化」が最も多くなっています。
 また、多くの文化・芸術については、活動よりも鑑賞する割合の方が多くなっていますが、「生活文化」は、鑑賞と活動している割合が拮抗しています。

鑑 賞	
・メディア芸術（映画、漫画、アニメーションなど）	37.7%（37.5%）
・美術（絵画、彫刻、工芸、デザイン、写真など）	36.7%（39.8%）
・ポピュラー音楽（ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲など）	25.9%（28.2%）
・郷土文化（神楽、山車、地域のまつりなど）	23.7%（26.4%）
・歴史的な建物や史跡（有形文化財、史跡、埋蔵文化財など）	21.6%（24.9%）
活 動	
・生活文化（茶道、華道、書道、盆栽、香道、手芸など）	12.4%（14.4%）
・美術（絵画、彫刻、工芸、デザイン、写真など）	7.2%（9.1%）
・食文化（食イベント、郷土料理など）	6.5%（5.3%）
・ポピュラー音楽（ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲など）	5.8%（5.8%）
・クラシック音楽（管弦楽、室内楽、声楽、合唱など）	4.9%（5.7%）

【前回との比較】

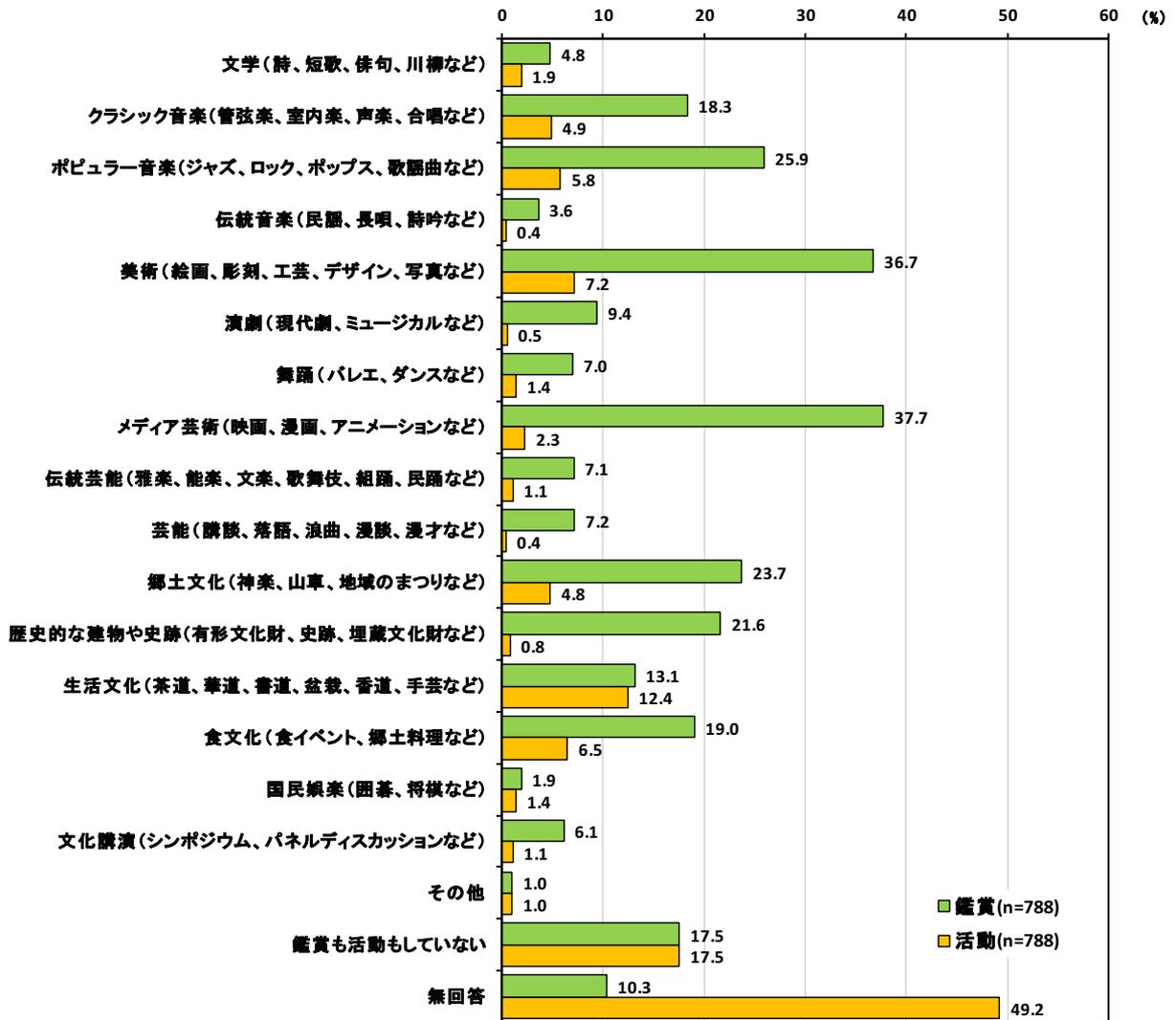
- 鑑賞では、今回「メディア芸術」が前回の2位から1位に、前回1位の「美術」が2位になっているなど、鑑賞、活動とも上位項目の順位の変化はみられるものの、割合としては大きな変化はみられません。

■ 鑑賞と活動の関係 ■



あなたの過去1年間の状況についてお伺いします。

【設問5】どのような文化・芸術の鑑賞、または活動をされましたか。(鑑賞、活動それぞれあてはまるものすべてに○)



あなたの過去1年間の状況についてお伺いします。

【設問5】どのような文化・芸術の鑑賞、または活動をされましたか。(鑑賞、活動それぞれあてはまるものすべてに○)

《鑑賞》

	サンプル数	文学(詩、短歌、俳句、川柳など)	クラシック音楽(管弦楽、室内楽、声楽、合唱など)	ポピュラー音楽(ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲など)	伝統音楽(民謡、長唄、詩吟など)	美術(絵画、彫刻、工芸、デザイン、写真など)	演劇(現代劇、ミュージカルなど)	舞踊(バレエ、ダンスなど)	メディア芸術(映画、漫画、アニメーションなど)	伝統芸能(雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊、民謡など)	芸能(講談、落語、浪曲、漫談、漫才など)	郷土文化(神楽、山車、地域のまつりなど)	歴史的な建物や史跡(有形文化財、史跡、埋蔵文化財など)	生活文化(茶道、華道、書道、盆栽、香道、手芸など)	食文化(食イベント、郷土料理など)	国民娯楽(囲碁、将棋など)	文化講演(シンポジウム、パネルディスカッションなど)	その他	鑑賞も活動もしていない	無回答	
全体	788	4.8	18.3	25.9	3.6	36.7	9.4	7.0	37.7	7.1	7.2	23.7	21.6	13.1	19.0	1.9	6.1	1.0	17.5	10.3	
年齢別	20歳代以下	46	6.5	21.7	37.0	2.2	37.0	15.2	13.0	52.2	0.0	6.5	17.4	17.4	2.2	13.0	2.2	0.0	0.0	19.6	4.3
	30歳代	97	4.1	18.6	19.6	5.2	41.2	13.4	8.2	51.5	7.2	8.2	28.9	21.6	11.3	25.8	0.0	2.1	1.0	18.6	9.3
	40歳代	130	3.1	16.9	33.1	3.1	37.7	7.7	6.2	48.5	5.4	7.7	29.2	18.5	10.0	27.7	3.1	9.2	1.5	7.7	8.5
	50歳代	145	1.4	19.3	31.7	1.4	35.9	11.0	5.5	43.4	6.2	7.6	19.3	28.3	14.5	23.4	2.8	6.2	2.1	20.0	6.2
	60歳代	179	7.3	19.0	25.7	3.4	41.3	10.6	9.5	36.3	10.1	7.8	21.2	27.9	16.2	17.3	2.2	9.5	0.6	16.8	7.3
	70歳以上	182	6.6	17.6	18.1	5.5	30.2	4.9	4.4	17.0	8.2	6.0	25.3	14.3	15.4	9.9	1.1	4.4	0.5	20.3	19.2
職業別	自営業	49	12.2	14.3	32.7	0.0	32.7	12.2	8.2	38.8	10.2	10.2	22.4	18.4	16.3	18.4	2.0	8.2	0.0	18.4	10.2
	専門職	34	5.9	41.2	23.5	2.9	38.2	17.6	14.7	55.9	0.0	2.9	23.5	26.5	14.7	26.5	0.0	5.9	2.9	14.7	11.8
	会社員	198	3.0	16.7	29.8	2.5	37.9	12.1	5.6	44.4	7.1	8.6	22.2	21.2	9.1	22.7	1.5	4.0	1.0	14.6	9.1
	公務員	48	2.1	29.2	29.2	4.2	54.2	14.6	6.3	50.0	8.3	10.4	22.9	27.1	14.6	22.9	4.2	14.6	0.0	18.8	2.1
	パート・アルバイト	103	5.8	12.6	24.3	2.9	32.0	8.7	9.7	41.7	10.7	5.8	30.1	20.4	13.6	24.3	2.9	5.8	1.9	10.7	8.7
	専業主婦・主夫	140	2.9	17.9	22.9	3.6	42.1	8.6	7.1	34.3	6.4	7.1	24.3	25.0	18.6	17.9	0.7	5.0	1.4	15.7	8.6
	無職	156	7.1	16.7	21.8	5.1	29.5	4.5	5.1	23.1	6.4	6.4	21.8	17.3	10.9	11.5	2.6	5.8	0.0	26.3	14.1
	その他	50	4.0	22.0	26.0	4.0	36.0	6.0	8.0	34.0	6.0	6.0	24.0	28.0	16.0	16.0	2.0	10.0	0.0	22.0	12.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

《活動》

	サンプル数	文学(詩、短歌、俳句、川柳など)	クラシック音楽(管弦楽、室内楽、声楽、合唱など)	ポピュラー音楽(ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲など)	伝統音楽(民謡、長唄、詩吟など)	美術(絵画、彫刻、工芸、デザイン、写真など)	演劇(現代劇、ミュージカルなど)	舞踊(バレエ、ダンスなど)	メディア芸術(映画、漫画、アニメーションなど)	伝統芸能(雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊、民謡など)	芸能(講談、落語、浪曲、漫談、漫才など)	郷土文化(神楽、山車、地域のまつりなど)	歴史的な建物や史跡(有形文化財、史跡、埋蔵文化財など)	生活文化(茶道、華道、書道、盆栽、香道、手芸など)	食文化(食イベント、郷土料理など)	国民娯楽(囲碁、将棋など)	文化講演(シンポジウム、パネルディスカッションなど)	その他	鑑賞も活動もしていない	無回答	
全体	788	1.9	4.9	5.8	0.4	7.2	0.5	1.4	2.3	1.1	0.4	4.8	0.8	12.4	6.5	1.4	1.1	1.0	17.5	49.2	
年齢別	20歳代以下	46	2.2	8.7	8.7	0.0	6.5	0.0	4.3	2.2	0.0	6.5	0.0	8.7	8.7	2.2	0.0	0.0	19.6	34.8	
	30歳代	97	2.1	9.3	7.2	0.0	10.3	1.0	3.1	5.2	0.0	3.1	0.0	10.3	11.3	1.0	2.1	0.0	18.6	44.3	
	40歳代	130	2.3	3.1	5.4	1.5	10.0	0.8	0.0	4.6	2.3	0.8	6.9	1.5	14.6	8.5	2.3	0.8	0.8	7.7	53.8
	50歳代	145	0.7	4.8	3.4	0.0	10.3	0.7	0.0	1.4	0.0	0.0	4.8	0.0	15.9	6.9	1.4	2.1	0.7	20.0	48.3
	60歳代	179	2.2	5.6	7.8	0.0	6.7	0.6	2.2	1.1	2.2	0.0	2.8	0.0	12.3	5.0	1.1	1.1	0.6	16.8	49.7
	70歳以上	182	2.2	2.7	4.9	0.5	2.2	0.0	1.1	1.1	1.1	1.1	6.0	2.2	11.0	3.3	1.1	0.5	2.7	20.3	52.7
職業別	自営業	49	4.1	6.1	6.1	0.0	8.2	4.1	2.0	0.0	0.0	10.2	0.0	14.3	8.2	2.0	0.0	0.0	18.4	36.7	
	専門職	34	0.0	5.9	8.8	0.0	17.6	0.0	2.9	5.9	0.0	5.9	0.0	14.7	14.7	0.0	8.8	0.0	14.7	41.2	
	会社員	198	2.5	2.5	5.6	0.5	9.1	0.5	1.0	2.5	0.5	3.5	0.0	9.1	7.1	1.5	1.0	0.0	14.6	54.5	
	公務員	48	0.0	8.3	4.2	0.0	4.2	2.1	2.1	2.1	2.1	0.0	2.1	2.1	8.3	8.3	4.2	0.0	0.0	18.8	50.0
	パート・アルバイト	103	1.0	3.9	1.0	0.0	11.7	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	3.9	0.0	18.4	5.8	1.0	0.0	1.9	10.7	55.3
	専業主婦・主夫	140	2.9	7.9	8.6	1.4	4.3	0.0	2.9	2.9	2.9	1.4	5.7	0.7	19.3	5.0	0.7	2.1	2.1	15.7	44.3
	無職	156	1.3	2.6	5.8	0.0	3.8	0.0	0.6	1.3	0.6	0.6	5.1	1.9	6.4	5.1	1.3	0.6	0.6	26.3	50.6
	その他	50	2.0	8.0	8.0	0.0	6.0	0.0	0.0	4.0	2.0	0.0	6.0	2.0	14.0	6.0	2.0	0.0	2.0	22.0	42.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

【その他の内訳】

《鑑賞》

- クラシックの音楽コンサート
- マーチング関連
- 書道、女流展、県展等、母が書家なのでよく見に行く。
- お神楽、お祭り
- ピアノ発表会(子ども)
- 読み聞かせ
- 静から動まで幅広く興味関心があるので機会と時間があればいろんな世界をみたいものである。
- 有料の花火大会(ハウステンボス)

《活動》

- 市報に載っていた年賀状の講習
- ピアノ演奏
- 山野草展示
- シンポジウムの参加型イベント
- 健康体操教室
- 読み聞かせ
- 公民館活動(麻雀、カラオケ、体操、囲碁、百人一首)
- 絵手紙教室

3 鑑賞、活動しようとするとき優先する要素

鑑賞、活動とも「催し物の内容」が最も多く、次いで「料金設定」となっています。	
鑑賞	活動
<ul style="list-style-type: none"> ・催し物の内容 …… 91.4% (87.0%) ・料金設定 …… 48.5% (48.3%) ・交通の便利さ …… 34.8% (36.8%) ・開始の時間帯 …… 29.2% (33.3%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・催し物の内容 …… 62.2% (55.9%) ・料金設定 …… 34.7% (27.1%) ・開始の時間帯 …… 23.3% (25.8%) ・交通の便利さ …… 21.0% (20.5%)

【前回との比較】

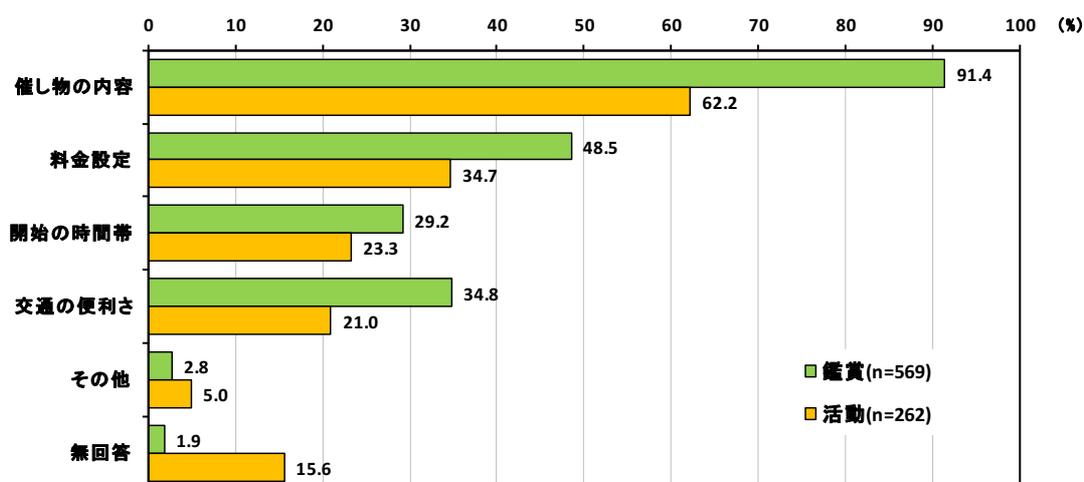
- 鑑賞、活動とも前回よりも「催し物の内容」がより重視されるようになっていきます。

【属性別特徴】

鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ● 年齢別にみると、どの年齢層も「催し物の内容」が最も多くなっていますが、30歳代で「料金設定」が62.9%と他の年齢層に比べ多くなっています。
活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 年齢別にみると、30歳代以下で「催し物の内容」が8割台と特に多く、30歳代では「料金設定」が44.4%と他の年齢層に比べ多くなっています。

設問5で1～17のいずれかを選んだ方にお伺いします。【設問6-①】から【設問6-⑤】までお答えください。

【設問6-①】鑑賞、または活動しようとするとき、優先する要素は何ですか。(鑑賞、活動それぞれあてはまるものすべてに○)



設問5で1～17のいずれかを選んだ方にお伺いします。【設問6-①】から【設問6-⑤】までお答えください。

【設問6-①】鑑賞、または活動しよう決めるとき、優先する要素は何ですか。(鑑賞、活動それぞれあてはまるものすべてに○)

		鑑賞							活動						
		サンプル数	催し物の内容	料金設定	開始の時間帯	交通の利便さ	その他	無回答	サンプル数	催し物の内容	料金設定	開始の時間帯	交通の利便さ	その他	無回答
全体		569	91.4	48.5	29.2	34.8	2.8	1.9	262	62.2	34.7	23.3	21.0	5.0	15.6
年齢別	20歳代以下	35	85.7	57.1	22.9	34.3	2.9	0.0	21	81.0	38.1	9.5	14.3	4.8	0.0
	30歳代	70	95.7	62.9	34.3	34.3	2.9	1.4	36	86.1	44.4	33.3	25.0	0.0	5.6
	40歳代	109	89.9	53.2	35.8	45.9	2.8	0.0	50	54.0	38.0	28.0	22.0	10.0	16.0
	50歳代	107	94.4	50.5	24.3	32.7	1.9	0.0	46	56.5	37.0	19.6	17.4	2.2	19.6
	60歳代	136	91.9	48.5	31.6	33.1	3.7	2.2	60	63.3	33.3	26.7	20.0	5.0	16.7
	70歳以上	110	88.2	30.9	23.6	28.2	2.7	6.4	49	49.0	22.4	16.3	24.5	6.1	24.5
	職業別	自営業	35	85.7	37.1	28.6	37.1	5.7	0.0	22	63.6	27.3	22.7	27.3	18.2
	専門職	25	92.0	48.0	40.0	32.0	4.0	0.0	15	80.0	46.7	33.3	20.0	6.7	20.0
	会社員	151	92.1	55.0	31.8	38.4	2.6	0.7	61	67.2	34.4	21.3	23.0	1.6	13.1
	公務員	38	97.4	42.1	26.3	23.7	2.6	0.0	15	66.7	26.7	26.7	20.0	0.0	20.0
	パート・アルバイト	83	94.0	59.0	31.3	38.6	2.4	2.4	35	60.0	48.6	22.9	22.9	5.7	11.4
	専業主婦・主夫	106	92.5	50.0	31.1	36.8	2.8	2.8	56	58.9	41.1	26.8	19.6	3.6	17.9
	無職	93	88.2	32.3	21.5	28.0	3.2	4.3	36	52.8	25.0	16.7	13.9	5.6	22.2
	その他	33	84.8	48.5	24.2	33.3	0.0	3.0	18	50.0	16.7	22.2	11.1	5.6	22.2

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

【その他の内訳】

《鑑賞》

- 美術館は開催期間が長いので都合の良い日を見つけて利用しやすい。
- 体力的に無理なくできるかどうか。
- 自由なタイミングで鑑賞できる。
- 好きなもの、知人、友人の作品を見に行く。
- 人が少ない事。密にならない。コロナリスクが低いこと。
- 出演する人、土・日・祝日かどうか。
- 子どもと一緒に参加できるか。
- 興味があるかどうか。
- 知人、家族の薦め
- 文学、短歌 大分合同の文芸投稿
- 興味があるもの
- 自分のスケジュールの都合出行けないことが多々ある。
- 興味がある。好きな気持ち。
- 日程
- 催し場の場所
- 展覧会に作者本人が来る日に行きたい。

《活動》

- 自分の自由時間があるかどうか。
- 自宅でできるもの。
- 時間を取れるかどうか
- 開催の日程や曜日
- ピアノ教室(大人のピアノ)習っております。
- 文学、短歌 大分合同の文芸投稿
- 自宅での練習
- 道具の提供があるか。
- 自分のスケジュールの都合で行けないことが多々ある。
- 機会、時間
- 日程
- 参加するのに休日と合うかどうか。土 or 日 or 平日選べると参加できて良い。
- 地域の活性化

4 鑑賞、活動の時間帯

鑑賞、活動とも、平日、土曜日、日曜日・祝祭日とも「午後」が最も多く、次いで「午前」となっています。また、平日では、「夜間」も鑑賞で14.1%、活動で17.2%と多くなっています。

鑑 賞	活 動
《平日》 ・午前…………… 13.7% (14.1%) ・午後…………… 16.5% (18.1%) ・夜間…………… 14.1% (13.3%) 《土曜日》 ・午前…………… 11.2% (12.2%) ・午後…………… 26.9% (30.3%) ・夜間…………… 9.7% (6.7%) 《日曜日・祝祭日》 ・午前…………… 15.8% (17.3%) ・午後…………… 26.2% (30.6%) ・夜間…………… 4.9% (4.3%)	《平日》 ・午前…………… 17.9% (18.9%) ・午後…………… 20.6% (19.7%) ・夜間…………… 17.2% (16.7%) 《土曜日》 ・午前…………… 6.5% (11.5%) ・午後…………… 19.8% (18.9%) ・夜間…………… 11.1% (6.3%) 《日曜日・祝祭日》 ・午前…………… 9.2% (14.8%) ・午後…………… 21.8% (19.2%) ・夜間…………… 6.5% (3.6%)

【前回との比較】

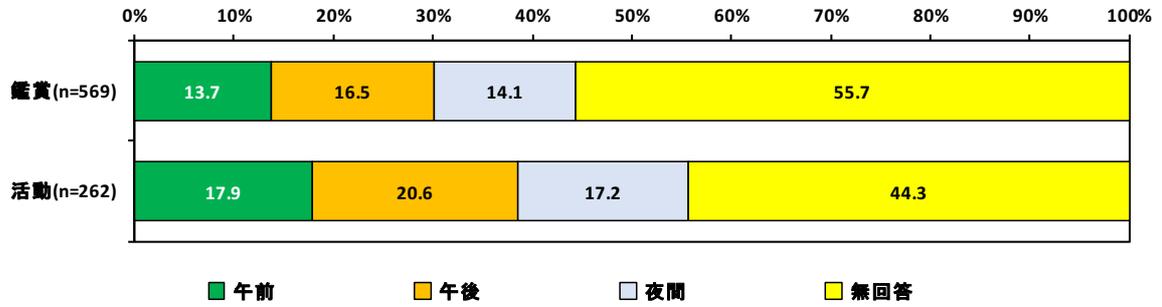
- 前回から割合の増減はあるものの、大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

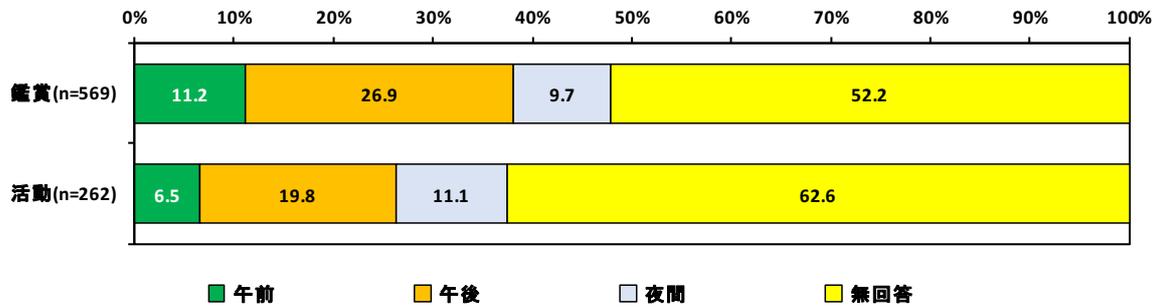
鑑 賞	<ul style="list-style-type: none"> ● 年齢別にみると、平日では、年齢が高くなるほど「午前」、「午後」が多くなる傾向がみられます。また、20歳代以下では「夜間」が他の年齢層に比べ多くなっています。逆に、土曜日、日曜日・祝祭日では年代が低くなるほど「午前」、「午後」が多くなる傾向がみられます。
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ● 年齢別にみると、平日では、年齢が高くなるほど「午前」、「午後」が多くなる傾向がみられます。また、20歳代以下では「夜間」が他の年齢層に比べ多くなっています。逆に、土曜日、日曜日・祝祭日では年代が低くなるほど「午前」、「午後」が多くなる傾向がみられます。

【設問6-②】どの曜日及び時間帯で文化・芸術の鑑賞、または活動をされましたか。(鑑賞、活動それぞれ最も多いケースの番号1つに○)

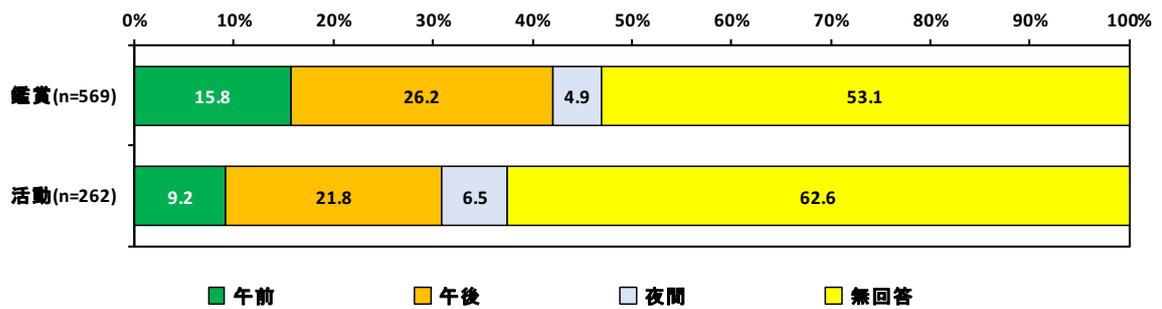
《平日》



《土曜日》



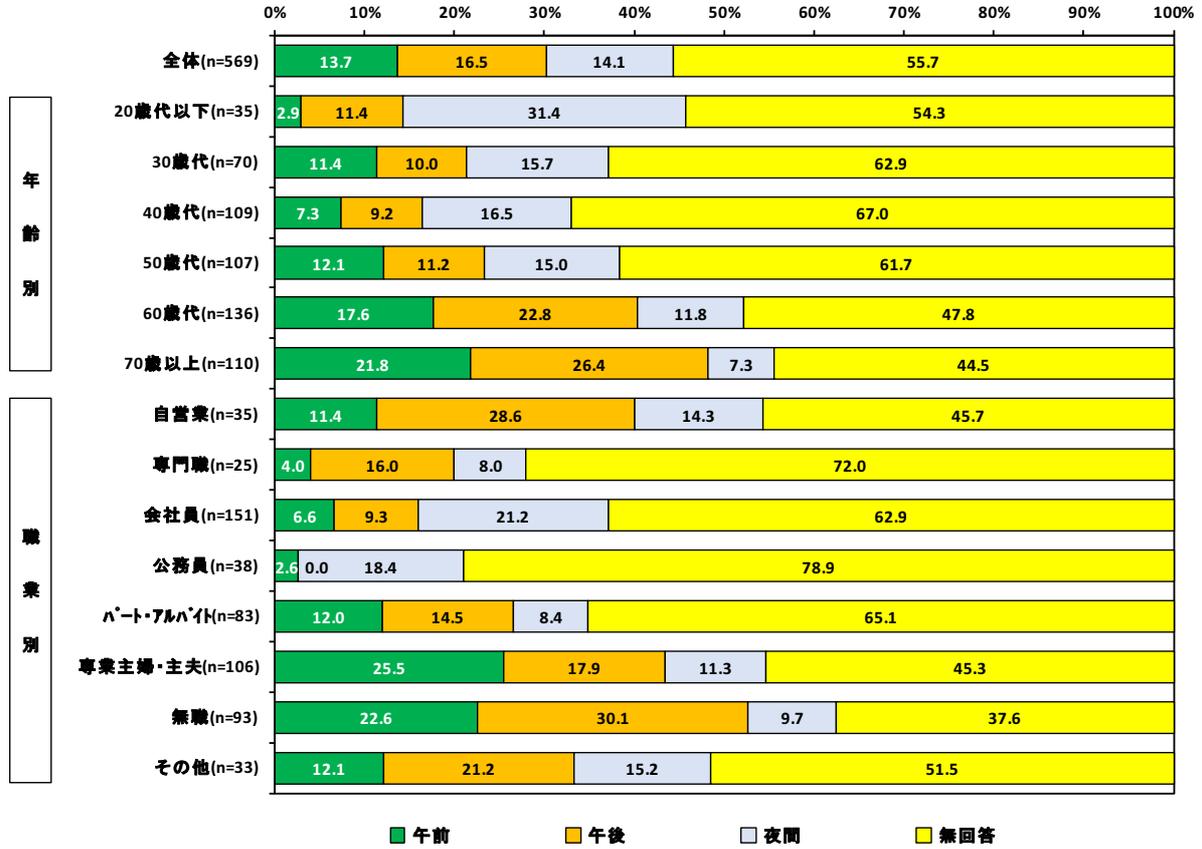
《日曜日・祝日》



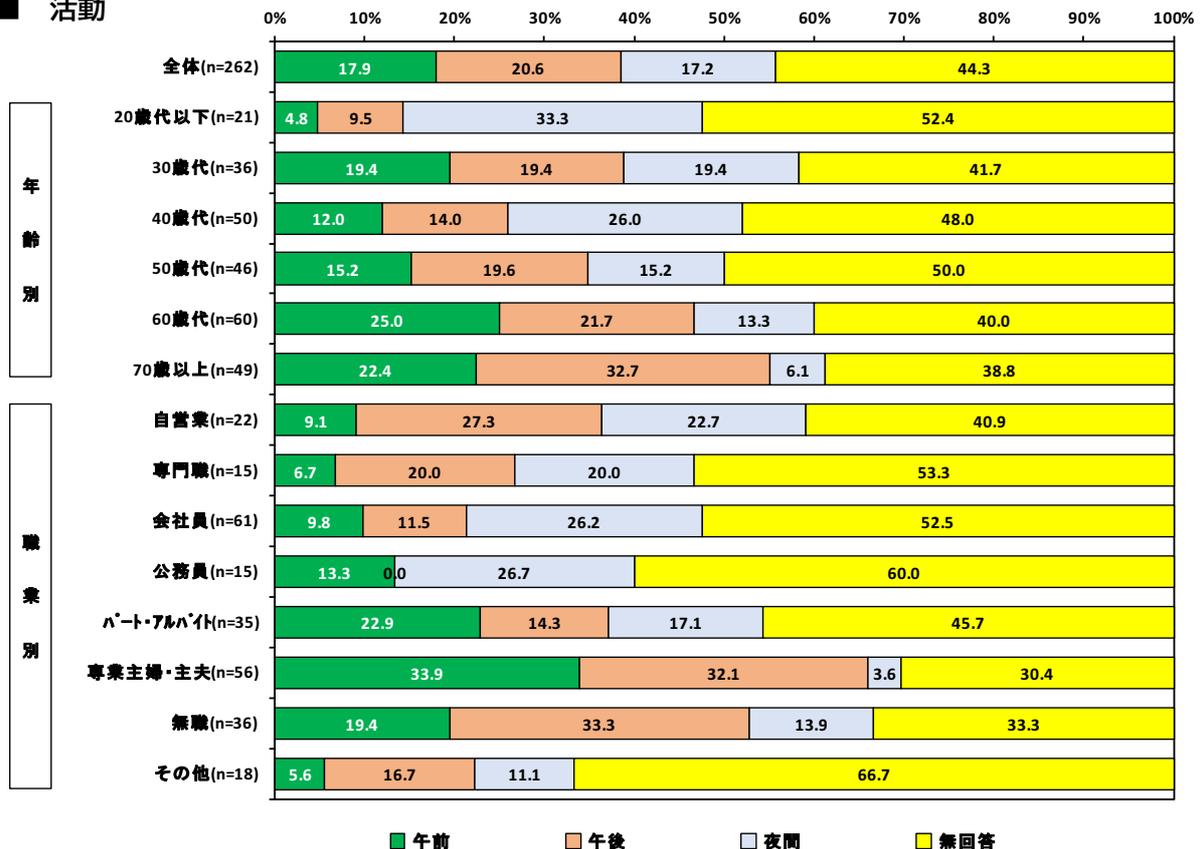
【設問6-②】どの曜日及び時間帯で文化・芸術の鑑賞、または活動をされましたか。(鑑賞、活動それぞれ最も多いケースの番号1つに○)

《平日》

■ 鑑賞

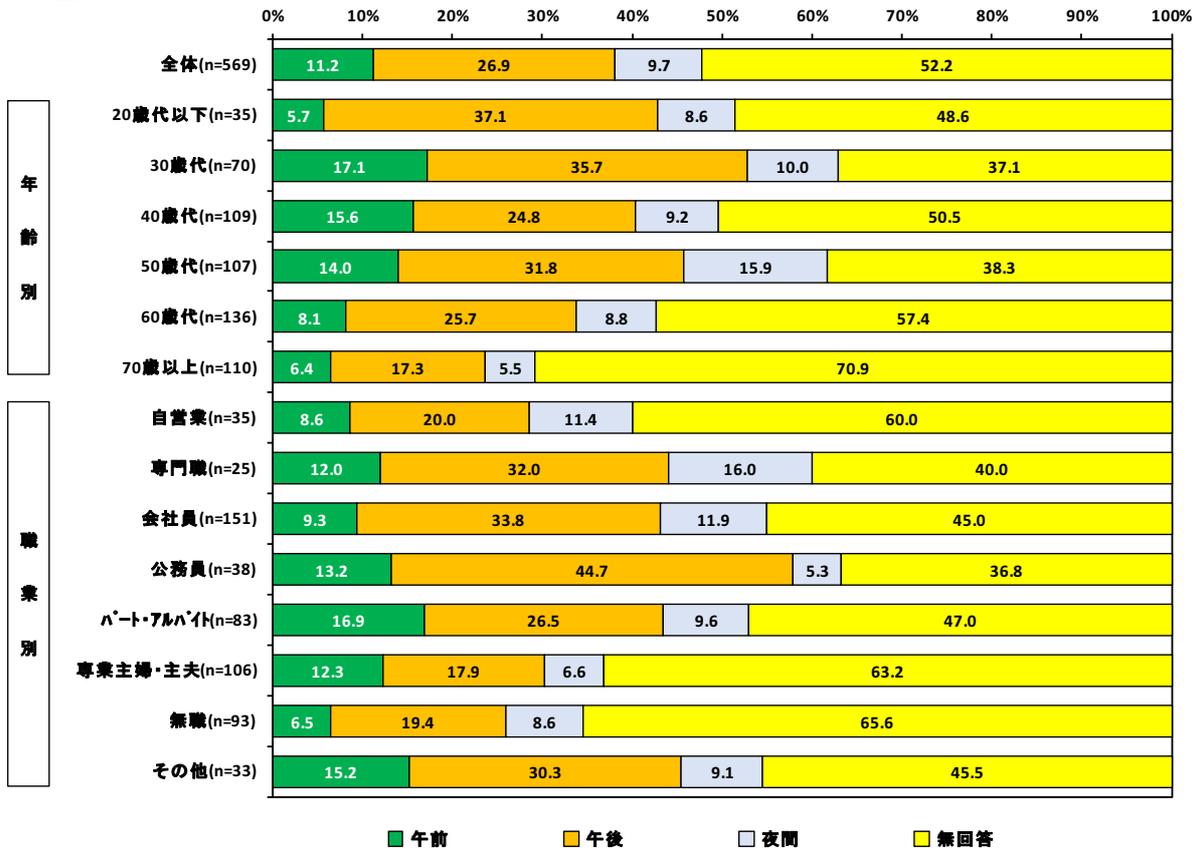


■ 活動

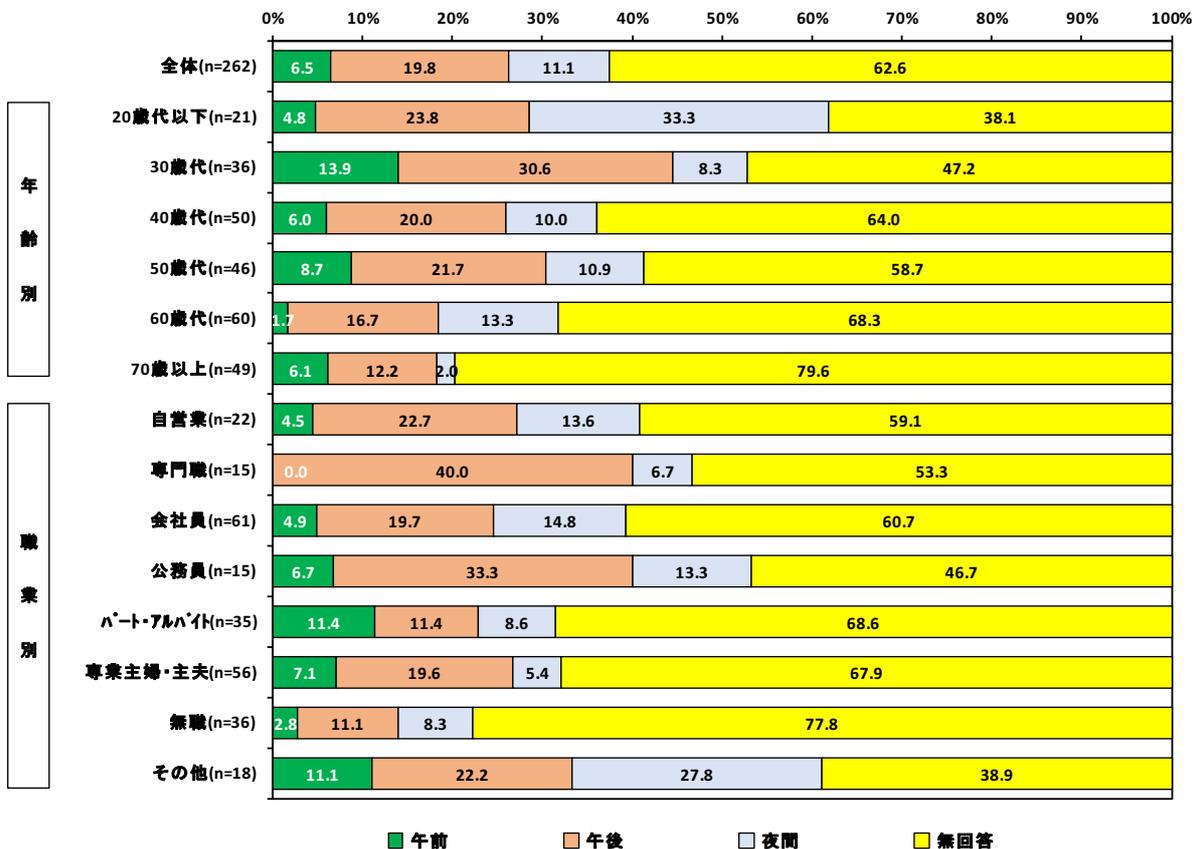


《土曜日》

■ 鑑賞

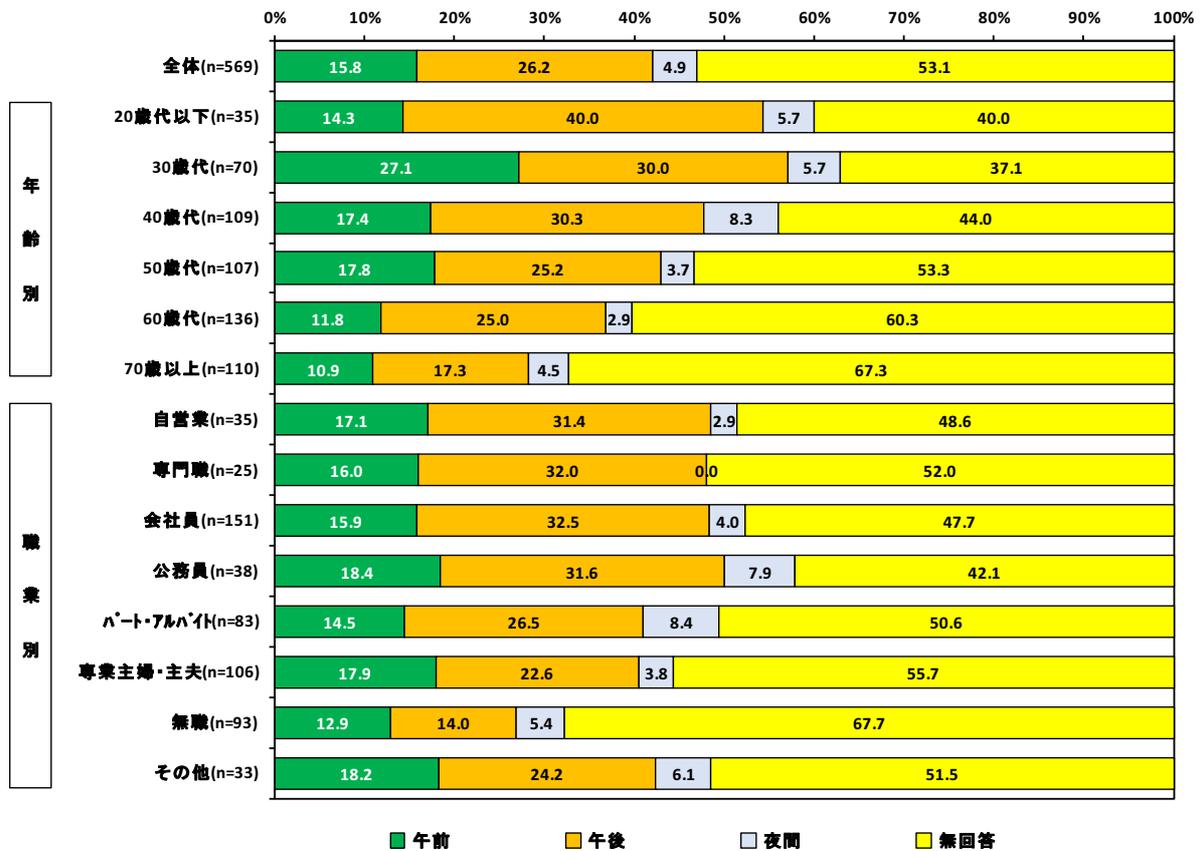


■ 活動

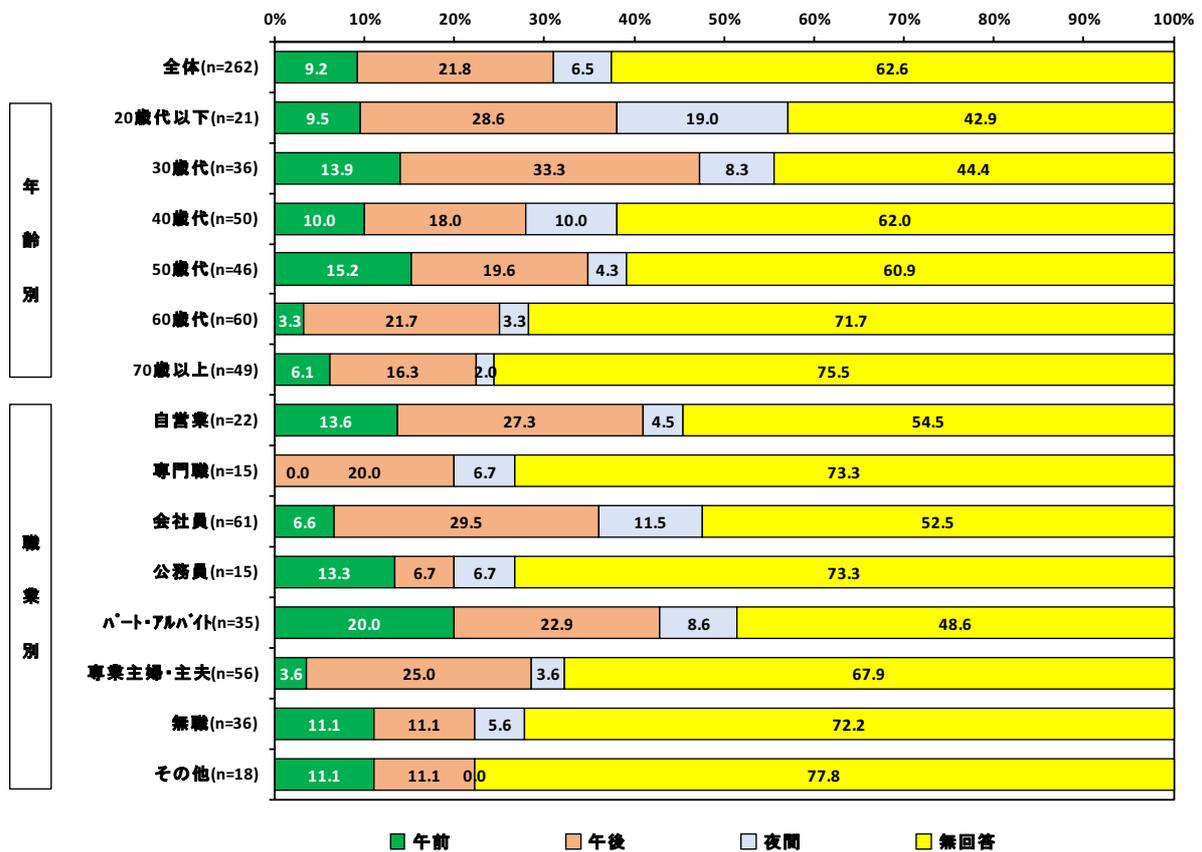


《日曜日・祝日》

■ 鑑賞



■ 活動



5 鑑賞、活動した場所

鑑賞、活動する場としては、両方とも「大分市」が圧倒的に多くなっています。

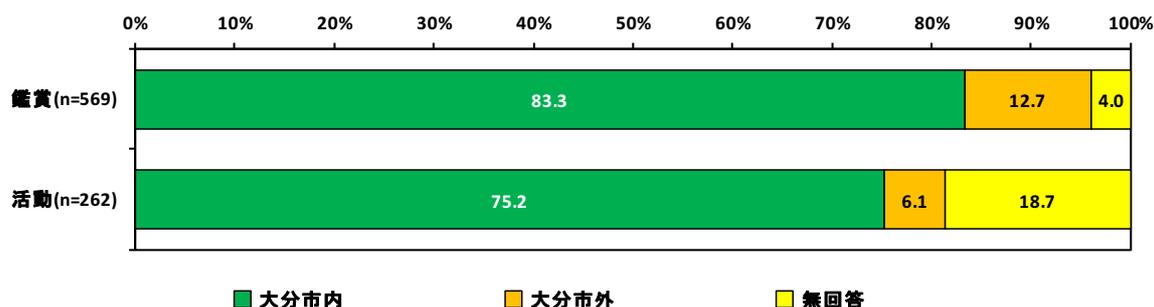
大分市外の市町村としては、鑑賞では「福岡市（県）」の多さが目立っています。また、鑑賞範囲の市町村も広範囲に広がっています。

鑑 賞	活 動
<ul style="list-style-type: none"> ・大分市内 …………… 83.3% (85.6%) ・大分市外 …………… 12.7% (7.3%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大分市内 …………… 75.2% (73.2%) ・大分市外 …………… 6.1% (5.5%)

【前回との比較】

- 鑑賞では、「大分市外」の割合が7.3%から12.7%に、5.4ポイント増加しています。

【設問6-③】主にどこで鑑賞、または活動をしましたか。（鑑賞、活動それぞれあてはまるもの1つに○）

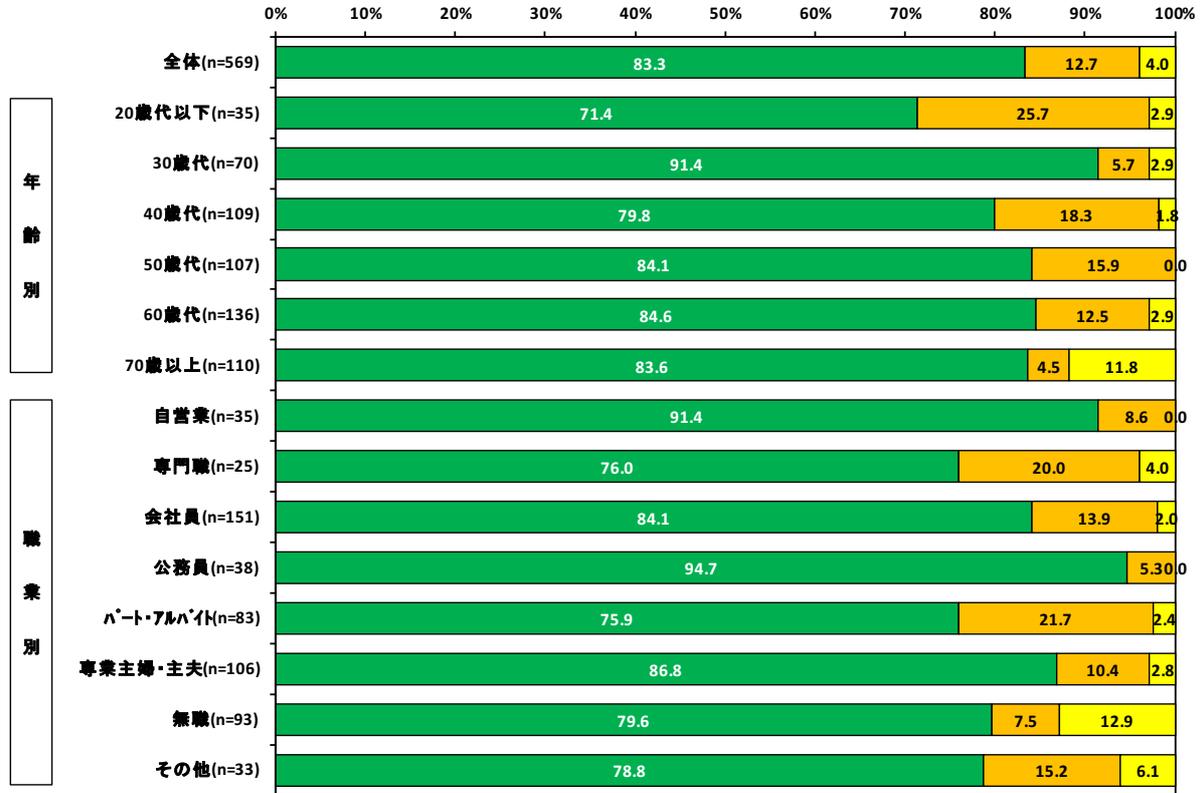


【大分市外市町村】

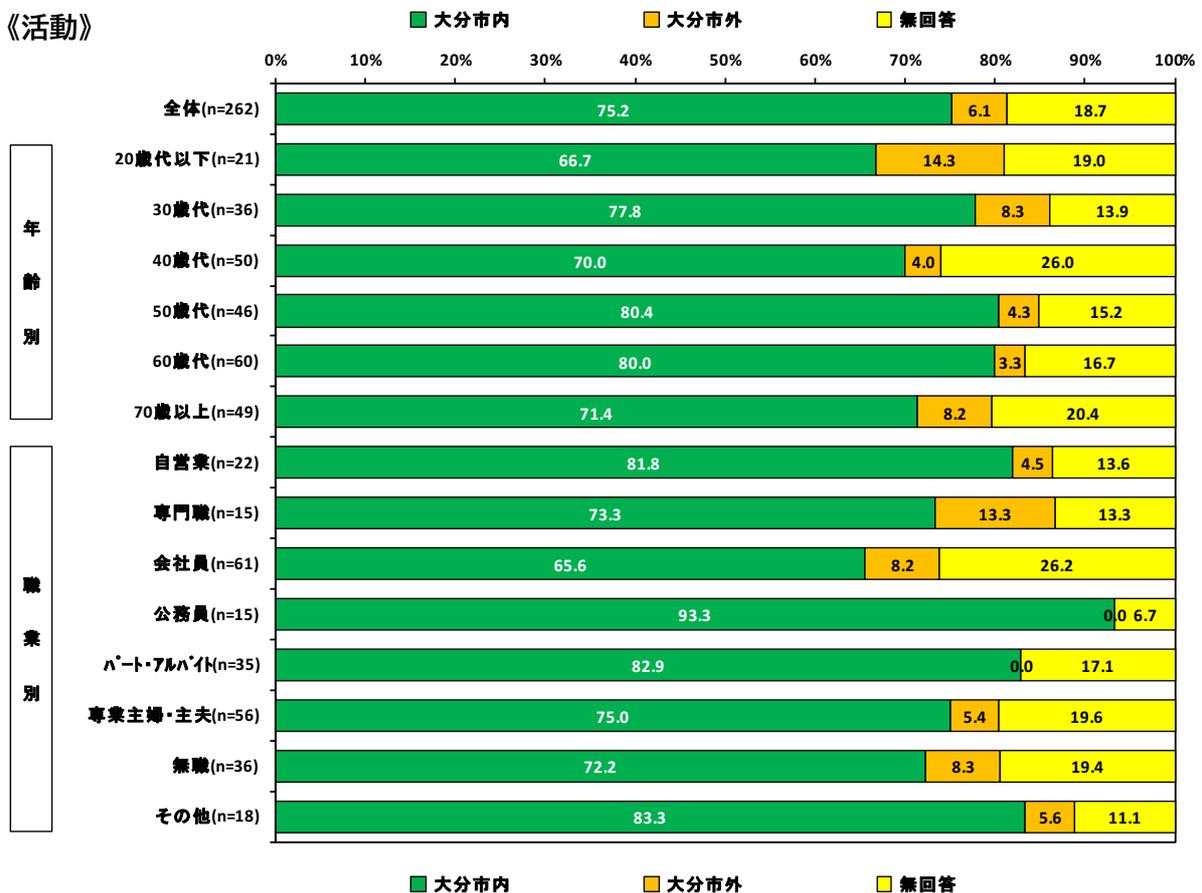
鑑 賞		活 動	
福岡市（県）(21)	清川村	佐世保	臼杵市（2）
東京都（10）	阿蘇市	山鹿市	熊本市（2）
大阪（6）	佐伯市	青森県	東京都（以下1）
由布市（5）	直入町	静岡県	唐津市
熊本市（県）(4)	有田市	奈良	川越市
豊後大野市（4）	佐賀市	福井県	岐阜市
豊後高田市（2）	高千穂町	明日香	国東市
別府市（2）	竹田市	ソウル	津久見市
鹿児島市（以下1）	津久見市		東京都
金沢市	中津市		狭間町
川越市	日出町		日田市
岐阜市	福島県		広島市
京都市	愛知県		豊後大野市

【設問6-③】主にどこで鑑賞、または活動をしましたか。(鑑賞、活動それぞれあてはまるもの1つに〇)

《鑑賞》



《活動》



6 鑑賞、活動の頻度

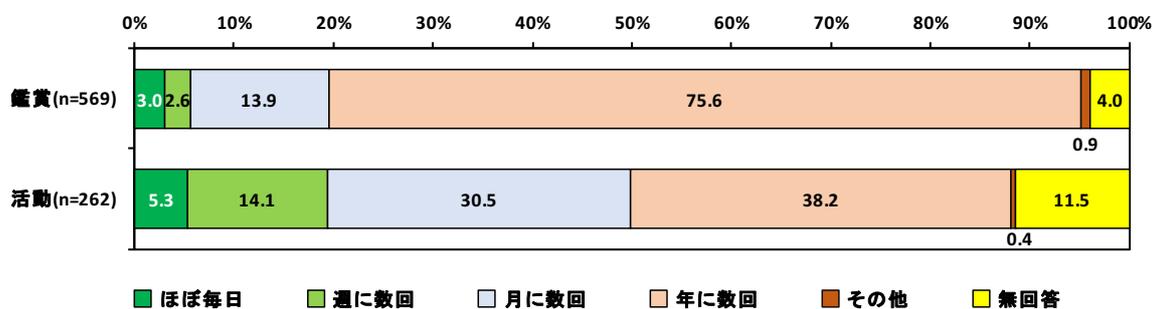
鑑賞の頻度としては、「年に数回」(75.6%)が圧倒的に多くなっていますが、活動では、週に1回以上が約5人に1人(「ほぼ毎日」5.3%+「週に数回」14.1%)となっており、これに、「月に数回」(30.5%)を加えた月1回以上活動している割合は49.9%とほぼ半数となっています。

鑑 賞	活 動
・ ほぼ毎日 …………… 3.0% (0.5%)	・ ほぼ毎日 …………… 5.3% (3.0%)
・ 週に数回 …………… 2.6% (3.0%)	・ 週に数回 …………… 14.1% (20.0%)
・ 月に数回 …………… 13.9% (16.3%)	・ 月に数回 …………… 30.5% (29.9%)
月に1回以上 19.5% (19.8%)	月に1回以上 49.9% (52.9%)
・ 年に数回 …………… 75.6% (72.4%)	・ 年に数回 …………… 38.2% (32.1%)

【前回との比較】

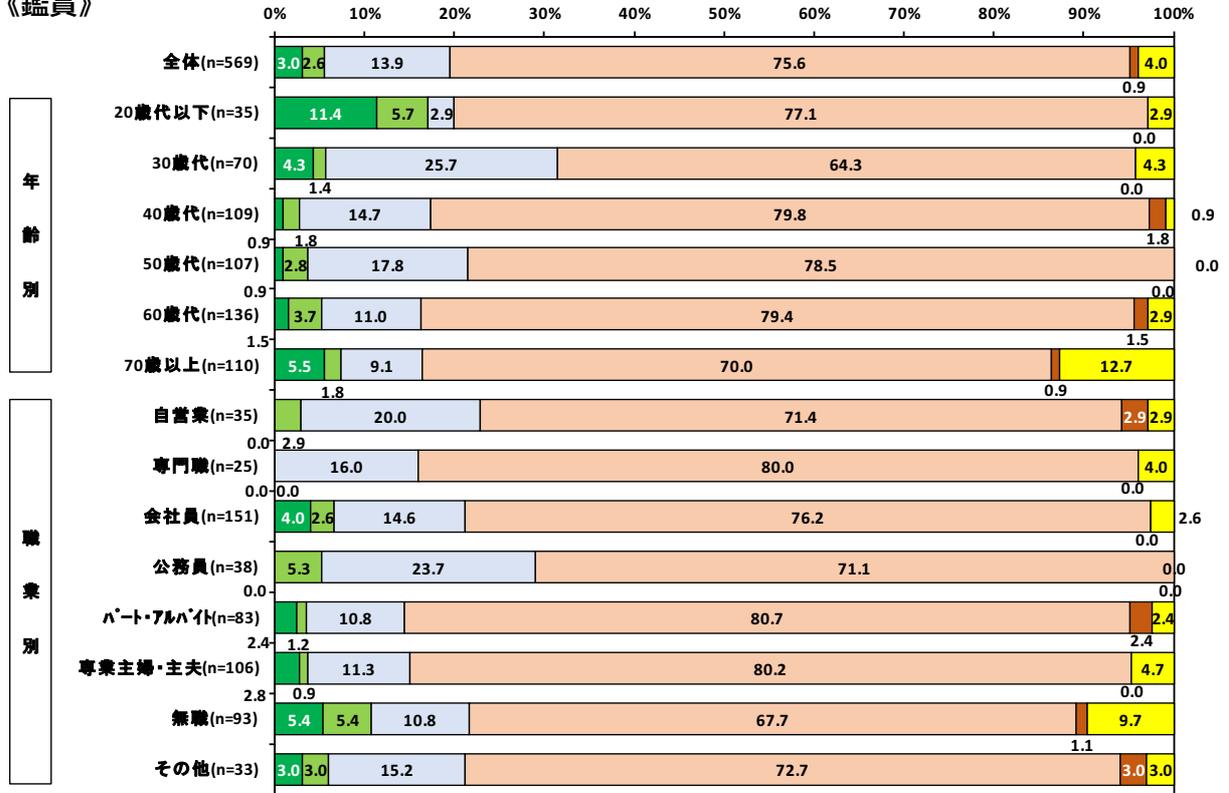
- 前回から割合の増減はあるものの、大きな変化はみられません。

【設問6-④】どのくらいの頻度で、文化・芸術の鑑賞、または活動をされていますか。(鑑賞、活動それぞれあてはまるもの1つに○)

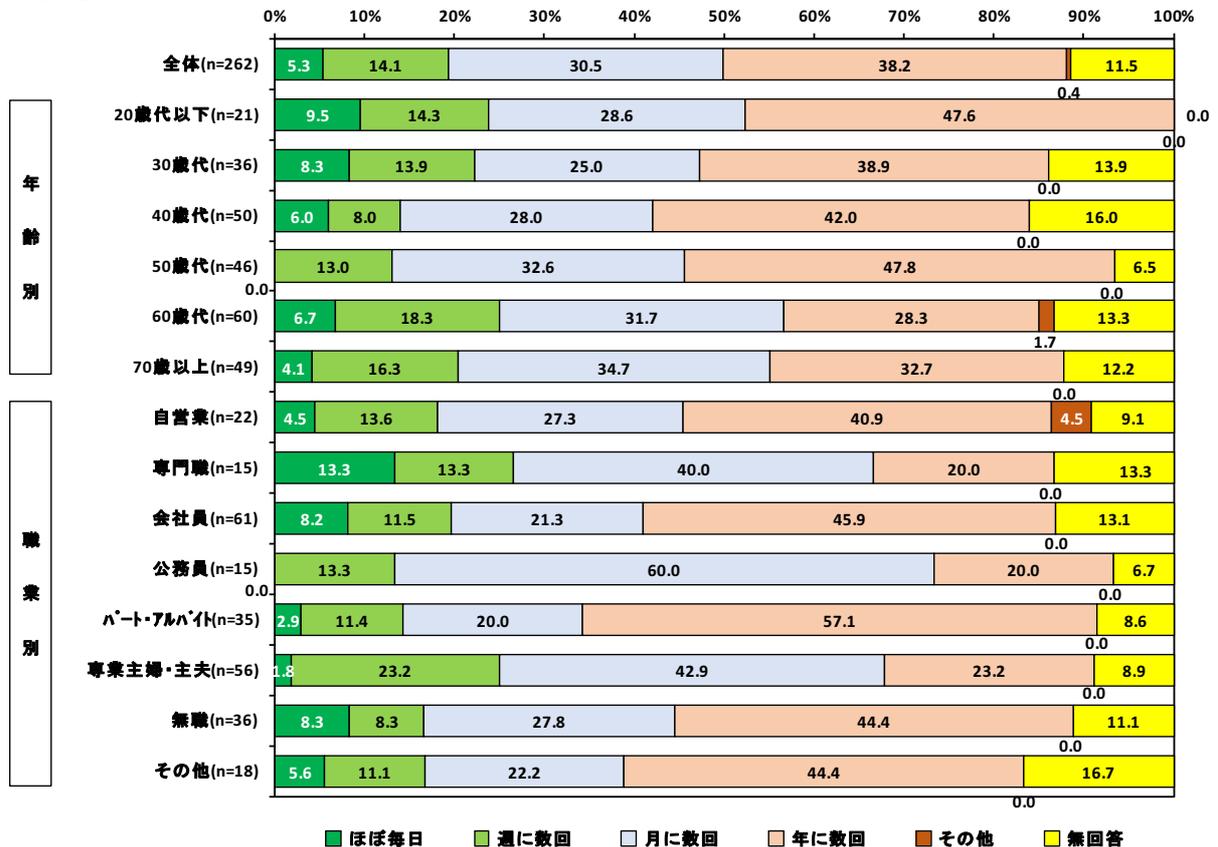


【設問6-④】どのくらいの頻度で、文化・芸術の鑑賞、または活動をされていますか。(鑑賞、活動それぞれあてはまるもの1つに○)

《鑑賞》



《活動》



7 鑑賞、活動する目的

鑑賞、活動する目的としては、両者とも「自分の趣味・余暇を楽しむため」が最も多く、次いで「自分の教養を高めるため」となっている点は共通しています。3番目には、鑑賞では「家族（子どもや親族）のため」、活動では「知人や友人を作ったり、交流したりするため」となっており、鑑賞と活動では異なった面もみられます。

鑑 賞	活 動
<ul style="list-style-type: none"> 自分の趣味・余暇を楽しむため …………… 79.6% (76.2%) 自分の教養を高めるため …… 33.0% (35.8%) 家族（子どもや親族）のため …………… 24.3% (21.6%) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の趣味・余暇を楽しむため …………… 65.3% (68.8%) 自分の教養を高めるため …… 24.8% (20.0%) 知人や友人を作ったり、 交流したりするため …… 23.7% (27.7%)

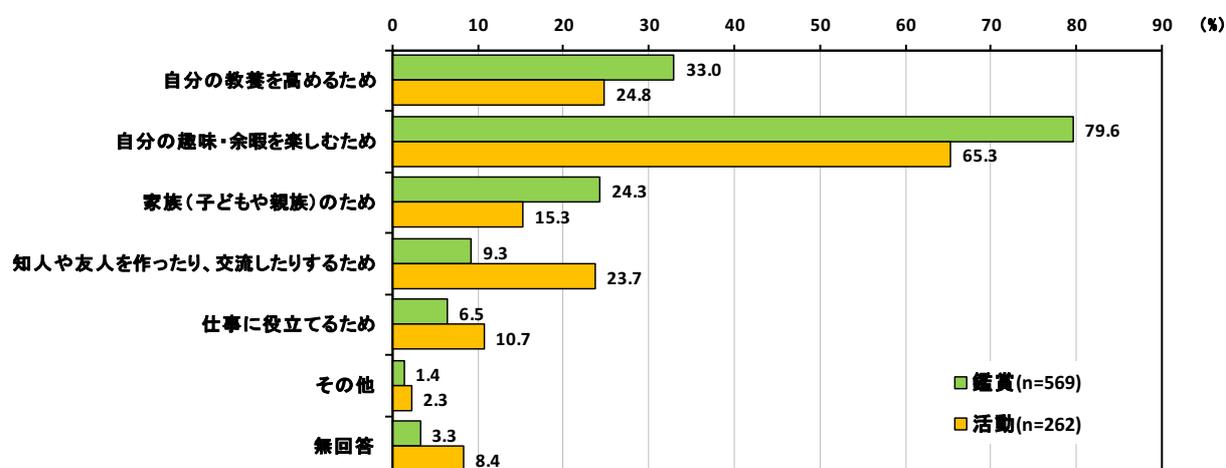
【前回との比較】

- 前回から割合の増減はあるものの、前回同様、鑑賞、活動とも「自分の趣味・余暇を楽しむため」が圧倒的に多くなっています。

【属性別特徴】

鑑 賞	● 年齢別にみると、20歳代以下では「自分の趣味・余暇を楽しむため」が9割台、30・40歳代では「家族（子どもや親族）のため」が4割台と、他の年齢層に比べ多くなっています。
活 動	● 年齢別にみると、20歳代以下では「自分の趣味・余暇を楽しむため」が8割台、30歳代では「家族（子どもや親族）のため」が4割台と、他の年齢層に比べ多くなっています。

【設問6-⑤】鑑賞、または活動をする目的はなんですか。（鑑賞、活動それぞれあてはまるものすべてに○）



【その他の内訳】

《鑑賞》

- ・ 自治会(当番制)
- ・ 催しの回数は多くないので、自身のその時の都合との関係。
- ・ 単に楽しむためです。
- ・ 友達からの誘い。
- ・ 日本の文化や人々についてもっと知りたい。
- ・ 好きだから。
- ・ 視野が広がり心が豊かになる。
- ・ 子どもの演奏に癒やされる。

《活動》

- ・ 自分から進んで外出するのが好まない。
- ・ 仲間として集まることで互いに心の平穏が保てる。
- ・ 個人宅で活動しています。
- ・ 美に触れると人は気持ちが明るくなったり心が変化します。一輪の花を身近なところに飾り楽しんで行きたい。お花を通して少しでも心が豊かになれますよう。
- ・ 継承のため
- ・ 仕事として

【設問6-⑤】鑑賞、または活動をする目的はなんですか。(鑑賞、活動それぞれあてはまるものすべてに○)

	サンプル数	鑑賞							活動								
		自分の教養を高めるため	自分の趣味・余暇を楽しむため	家族(子どもや親族)のため	知人や友人を作ったり、交流した	仕事に役立てるため	その他	無回答	自分の教養を高めるため	自分の趣味・余暇を楽しむため	家族(子どもや親族)のため	知人や友人を作ったり、交流した	仕事に役立てるため	その他	無回答		
全体	569	33.0	79.6	24.3	9.3	6.5	1.4	3.3	262	24.8	65.3	15.3	23.7	10.7	2.3	8.4	
年齢別	20歳代以下	35	37.1	91.4	5.7	14.3	2.9	0.0	2.9	21	33.3	85.7	4.8	28.6	4.8	0.0	0.0
	30歳代	70	41.4	78.6	48.6	7.1	12.9	0.0	1.4	36	33.3	69.4	47.2	11.1	22.2	0.0	5.6
	40歳代	109	32.1	76.1	40.4	7.3	4.6	1.8	0.0	50	16.0	70.0	16.0	20.0	6.0	0.0	8.0
	50歳代	107	25.2	81.3	29.9	9.3	5.6	0.9	0.9	46	28.3	47.8	10.9	19.6	15.2	2.2	8.7
	60歳代	136	36.0	86.8	14.7	10.3	9.6	0.7	0.7	60	18.3	68.3	6.7	33.3	8.3	3.3	10.0
	70歳以上	110	31.8	69.1	5.5	10.0	2.7	3.6	13.6	49	28.6	61.2	10.2	26.5	8.2	6.1	12.2
職業別	自営業	35	48.6	74.3	11.4	11.4	22.9	2.9	0.0	22	22.7	45.5	9.1	31.8	27.3	0.0	4.5
	専門職	25	32.0	84.0	36.0	20.0	16.0	0.0	0.0	15	26.7	60.0	26.7	26.7	40.0	6.7	6.7
	会社員	151	33.1	85.4	31.1	4.6	6.0	0.0	0.0	61	23.0	63.9	21.3	14.8	14.8	0.0	6.6
	公務員	38	39.5	76.3	34.2	15.8	13.2	2.6	0.0	15	33.3	66.7	13.3	33.3	20.0	6.7	6.7
	パート・アルバイト	83	27.7	80.7	28.9	8.4	3.6	1.2	1.2	35	14.3	65.7	22.9	17.1	0.0	0.0	8.6
	専業主婦・主夫	106	34.0	73.6	24.5	8.5	3.8	1.9	7.5	56	32.1	66.1	12.5	30.4	1.8	3.6	10.7
	無職	93	24.7	76.3	10.8	7.5	1.1	2.2	7.5	36	11.1	66.7	8.3	19.4	0.0	5.6	13.9
	その他	33	42.4	84.8	12.1	21.2	6.1	3.0	9.1	18	38.9	83.3	0.0	27.8	11.1	0.0	5.6

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

8 鑑賞も活動もしていない理由

鑑賞も活動もしていない理由としては、両者とも「時間的な余裕がない」が最も多くなっています。次いで鑑賞では「金銭的な余裕がない」、活動では「文化・芸術に関心がない」となっています。

鑑 賞	活 動
・時間的な余裕がない …… 39.9% (34.6%)	・時間的な余裕がない …… 38.4% (28.2%)
・金銭的な余裕がない※ …… 24.6% (21.8%)	・文化・芸術に関心がない …… 23.9% (25.6%)
・文化・芸術に関心がない …… 24.6% (28.2%)	・金銭的な余裕がない※ …… 13.8% (9.0%)

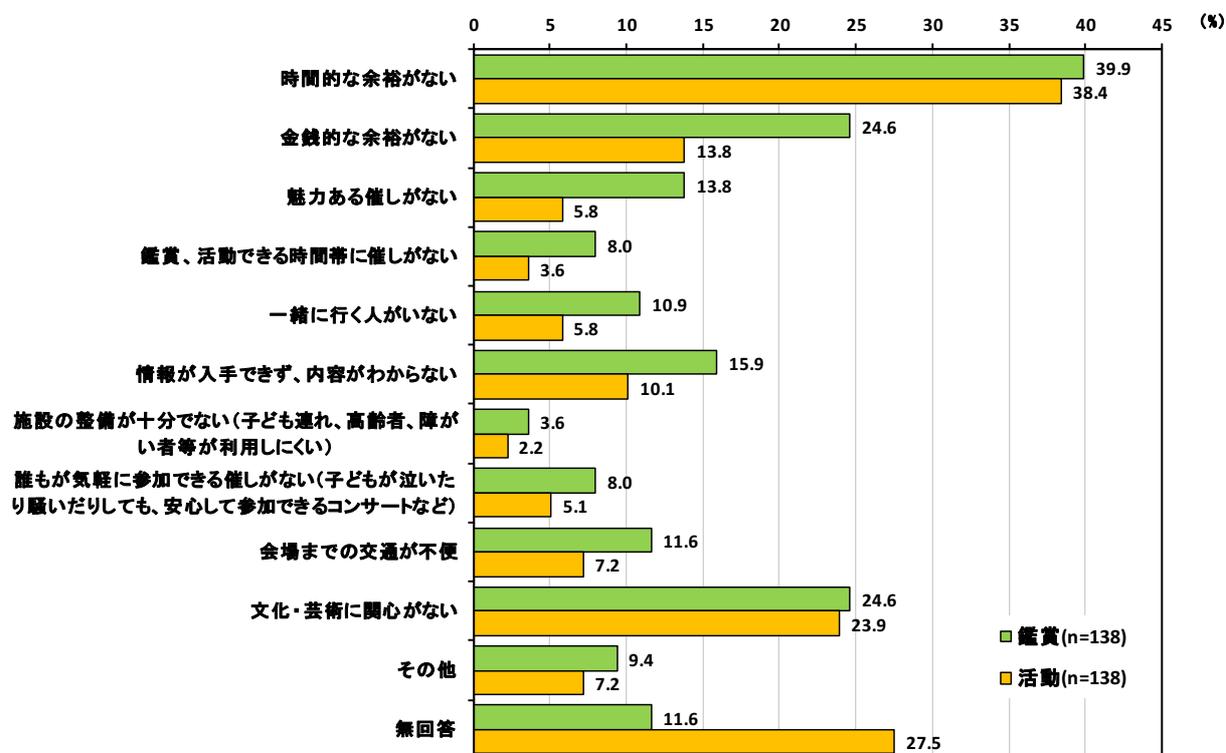
(※) 前回調査の選択肢は「料金が高い」に対応。

【前回との比較】

- 鑑賞、活動とも「時間的な余裕がない」の割合が増加しており、特に、活動では28.2%から38.4%に10.2ポイント増加しています。

設問5で「18. 鑑賞も活動もしていない」を選んだ方にお伺いします。

【設問7】鑑賞も活動もしなかった理由は何ですか。(鑑賞、活動それぞれあてはまるものすべてに○)



【その他の内訳】

《鑑賞》

- 精神障がいがあり、人が多いところや閉所、音などが苦手。
- 体調不良のため長時間の外出はできない。
- 術後の体調が優れなかった。
- 施設入所のため。
- テレビで見るから。
- ある程度は好きですが、現場へ行って熱中する程度ではない。
- 病後の療養中のため動けない。
- 家族の介護のため
- 入院中
- 視覚、聴覚に障害がある。
- 体力的に不安で通院が多くて無理です。

《活動》

- 精神障がいがあり人が多いところが苦手。
- 自分でする事には興味がない。
- 自分にできるものがない。
- 入院中
- 視覚、聴覚に障害がある。
- 体力的に不安で通院が多くて無理です。
- 病气入院のため。

■ 文化・芸術に関する情報について ■

9 情報の入手方法

文化・芸術に関する情報の入手先としては、「テレビ」、「インターネット」、「チラシ・パンフレット」が4割台で多く、次いで、「市報おおいた」、「友人・知人・家族」、「新聞」となっています。

・テレビ	49.0%	(49.7%)
・インターネット	42.3%	(38.4%)
・チラシ・パンフレット	40.1%	(46.1%)
・市報おおいた	35.2%	(37.3%)
・友人・知人・家族	32.4%	(38.4%)
・新聞	30.1%	(38.1%)

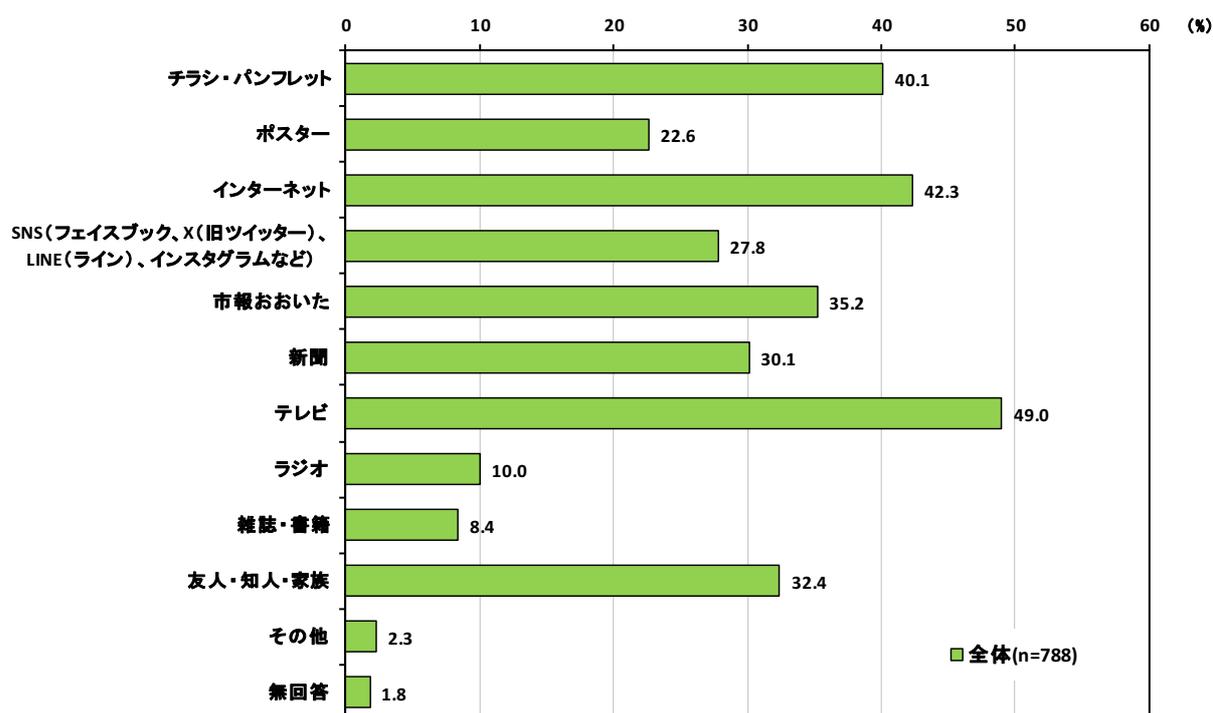
【前回との比較】

- 「インターネット」が38.4%から42.3%に3.9ポイント増加し、「チラシ・パンフレット」が46.1%から40.1%に6.0ポイント減少しています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30歳代以下では、「SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター）、LINE（ライン）、インスタグラムなど）」が6割台で最も多くなっています。また、50歳代以下では「インターネット」が5～6割台と多く、全体で最も多い「テレビ」を上回っています。50歳代以上では「テレビ」や「新聞」が多くなっています。

【設問8】文化・芸術に関する情報をどちらで入手されますか。（あてはまるものすべてに○）



【設問8】文化・芸術に関する情報をどちらで入手されますか。(あてはまるものすべてに○)

	サンプル数	チラシ・パンフレット	ポスター	インターネット	ムなど) SNS(フェイスブック、X(旧ツイッター)、LINE(ライン)、インスタグラム)	市報おおい	新聞	テレビ	ラジオ	雑誌・書籍	友人・知人・家族	その他	無回答	
全体	788	40.1	22.6	42.3	27.8	35.2	30.1	49.0	10.0	8.4	32.4	2.3	1.8	
年齢別	20歳代以下	46	32.6	37.0	63.0	65.2	4.3	2.2	41.3	6.5	6.5	30.4	0.0	2.2
	30歳代	97	44.3	23.7	53.6	67.0	27.8	7.2	44.3	5.2	7.2	26.8	1.0	1.0
	40歳代	130	47.7	26.2	56.9	34.6	36.2	16.2	41.5	6.2	5.4	34.6	3.1	0.8
	50歳代	145	40.7	26.9	55.9	26.9	37.2	33.1	54.5	14.5	6.2	33.1	2.1	1.4
	60歳代	179	38.5	17.9	41.9	20.7	34.1	33.0	55.3	12.3	12.8	34.1	2.2	0.0
	70歳以上	182	35.7	15.9	12.1	1.6	45.6	53.3	48.4	10.4	9.3	32.4	3.3	4.4
職業別	自営業	49	42.9	34.7	44.9	34.7	36.7	38.8	38.8	22.4	12.2	36.7	2.0	0.0
	専門職	34	52.9	23.5	50.0	52.9	17.6	23.5	44.1	14.7	14.7	50.0	0.0	0.0
	会社員	198	37.4	21.7	57.1	38.9	28.3	19.7	49.5	8.6	5.6	28.8	2.0	1.0
	公務員	48	54.2	25.0	64.6	29.2	37.5	39.6	54.2	10.4	12.5	41.7	0.0	2.1
	パート・アルバイト	103	39.8	24.3	46.6	38.8	38.8	23.3	46.6	8.7	7.8	32.0	1.9	1.0
	専業主婦・主夫	140	40.0	17.9	29.3	20.0	43.6	33.6	49.3	7.9	6.4	37.1	2.9	1.4
	無職	156	35.9	18.6	23.1	6.4	39.7	44.2	54.5	9.6	9.6	21.8	3.2	3.2
	その他	50	44.0	32.0	46.0	26.0	26.0	14.0	44.0	12.0	12.0	36.0	2.0	4.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

10 情報を発信するため必要な取組

より多くの人へ文化・芸術に関する情報を発信するために必要な取組としては、「テレビやラジオ、新聞等と連携した情報発信」が71.1%と多くなっています。次いで「インターネットによる情報発信」、「SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター）、LINE（ライン）、インスタグラムなど）による情報発信」となっています。

・テレビやラジオ、新聞等と連携した情報発信	71.1% (73.7%)
・インターネットによる情報発信	47.7% (45.6%)
・SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター）、LINE（ライン）、 インスタグラムなど）による情報発信	44.7% (31.7%)
・文化・芸術に関する情報を発信する拠点の整備及び増設	12.1% (12.9%)

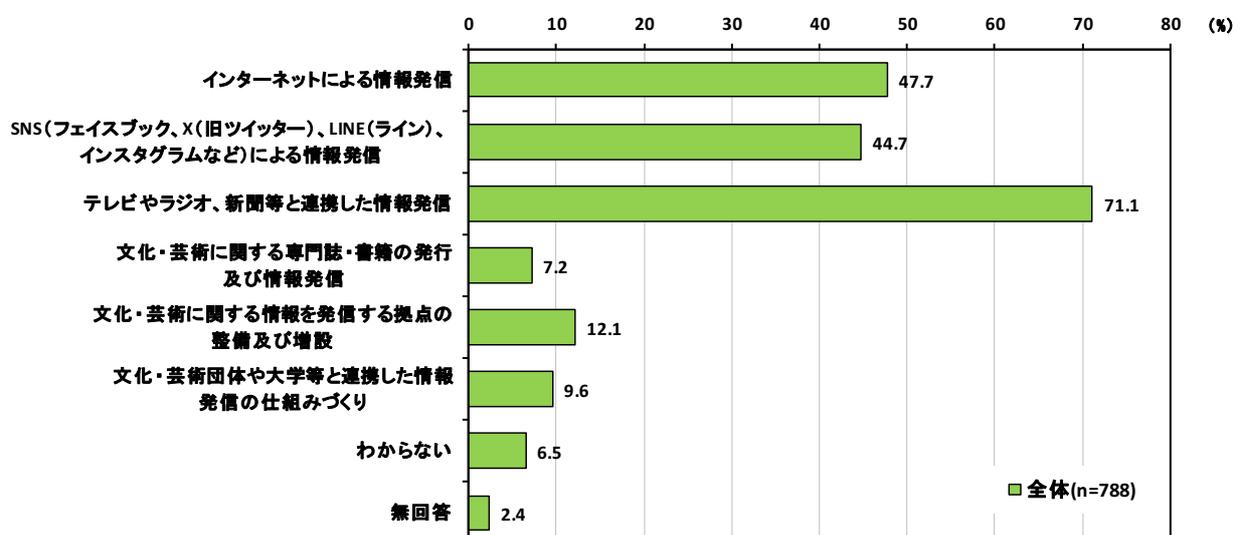
【前回との比較】

- 「SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター）、LINE（ライン）、インスタグラムなど）による情報発信」が31.7%から44.7%となり、13.0ポイント大幅に増加しています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「インターネットによる情報発信」や「SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター）、LINE（ライン）、インスタグラムなど）による情報発信」は、年齢が低い層で多くなっています。特に、30歳代以下では「SNS（フェイスブック、X（旧ツイッター）、LINE（ライン）、インスタグラムなど）による情報発信」が8割台に達し、60歳代以上では「テレビやラジオ、新聞等と連携した情報発信」が他の年齢層に比べ多くなっています。

【設問9】より多くの人へ文化・芸術に関する情報を発信するためには、どのような取組が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



【設問9】より多くの人へ文化・芸術に関する情報を発信するためには、どのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

		サンプル数	インターネットによる情報発信	SNS(フェイスブック、Twitter)、LINE(ライン)、インスタグラムなど)による情報発信	テレビやラジオ、新聞等と連携した情報発信	文化・芸術に関する専門誌・書籍の発行及び情報発信	文化・芸術に関する情報を発信する拠点の整備及び増設	文化・芸術団体や大学等と連携した情報発信の仕組みづくり	わからない	無回答
全体		788	47.7	44.7	71.1	7.2	12.1	9.6	6.5	2.4
年齢別	20歳代以下	46	67.4	89.1	50.0	8.7	13.0	26.1	0.0	0.0
	30歳代	97	63.9	82.5	54.6	7.2	10.3	9.3	3.1	1.0
	40歳代	130	55.4	59.2	66.9	5.4	6.9	6.9	4.6	1.5
	50歳代	145	55.9	48.3	73.8	7.6	14.5	13.1	5.5	1.4
	60歳代	179	52.0	38.5	80.4	8.4	15.6	7.3	4.5	1.7
	70歳以上	182	19.8	8.2	78.6	7.1	11.5	7.7	12.1	4.9
職業別	自営業	49	57.1	49.0	73.5	10.2	22.4	12.2	4.1	2.0
	専門職	34	61.8	64.7	58.8	11.8	20.6	20.6	2.9	2.9
	会社員	198	58.6	66.2	68.2	4.0	8.1	7.1	3.5	0.5
	公務員	48	58.3	52.1	70.8	6.3	10.4	12.5	8.3	0.0
	パート・アルバイト	103	50.5	49.5	71.8	9.7	11.7	12.6	3.9	1.9
	専業主婦・主夫	140	38.6	35.0	75.7	6.4	12.1	7.1	5.7	2.1
	無職	156	30.1	15.4	74.4	8.3	11.5	5.8	14.1	5.1
	その他	50	54.0	46.0	64.0	8.0	16.0	22.0	4.0	4.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

■ 文化・芸術にかかるボランティア活動について ■

11 この1年間に文化・芸術にかかるボランティアや寄付の経験

この1年間に文化・芸術にかかるボランティア（コンサートや文化祭などのスタッフ、ガイドボランティアなど）や寄付をした経験をみると、「したことがある」は8.1%となっています。

- ・したことがある 8.1% (12.4%)
- ・したことがない 91.5% (85.5%)

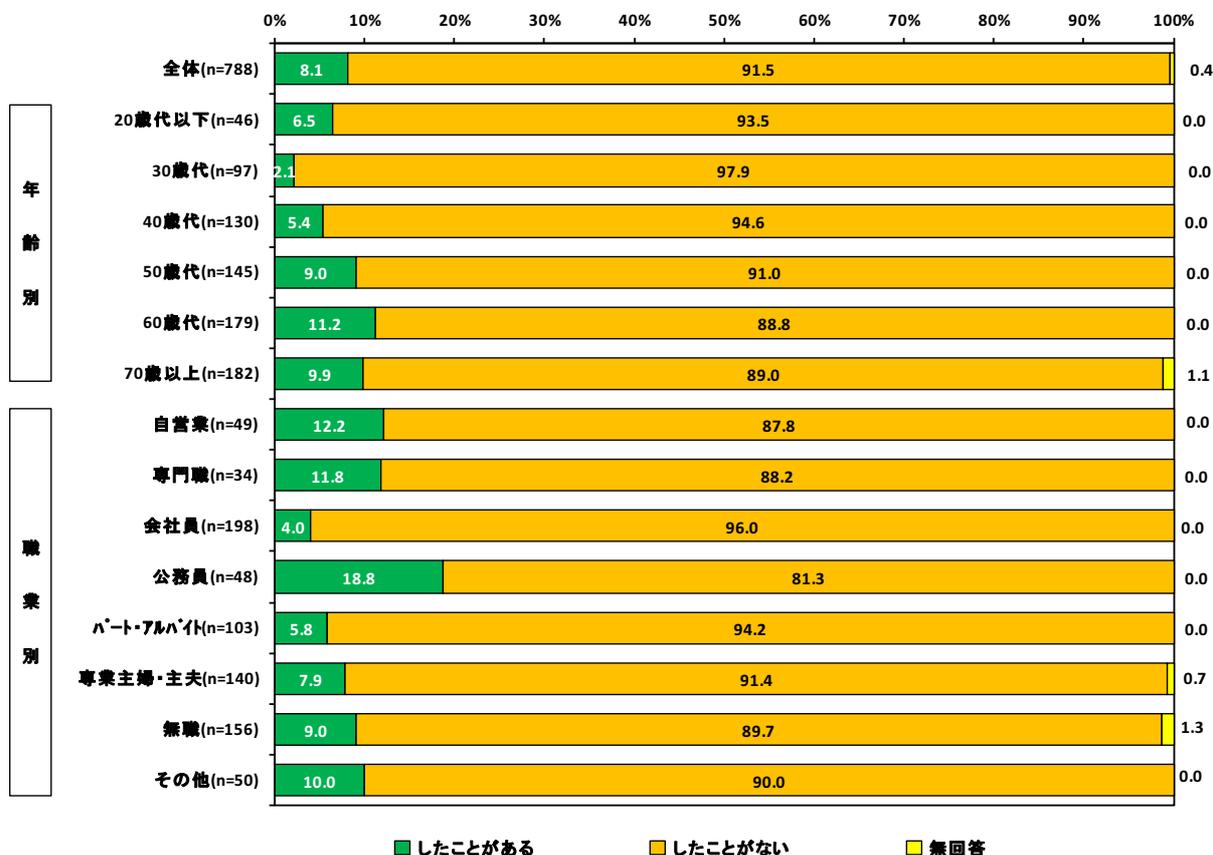
【前回との比較】

- 寄付したことがある割合が、12.4%から8.1%に、4.3ポイント減少しています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、寄付したことがある割合は、20歳代以下では6.5%ですが、30歳代で2.1%と最も少なく、年齢が高くなるほど多くなり、60歳代で11.2%と最も多くなっています。
- 職業別にみると、公務員で寄付したことがある割合が18.8%と多くなっています。

【設問10】この1年間に文化・芸術にかかるボランティア（コンサートや文化祭などのスタッフ、ガイドボランティアなど）や寄付をしたことがありますか。（あてはまるもの1つに○）



12 ボランティアや寄付の内容

したことがあるボランティアや寄付の内容としては、「催し物の企画・運営」が最も多く、次いで「文化・芸術活動への寄付や賛助会員等としての援助」、「文化財保護への寄付」となっています。

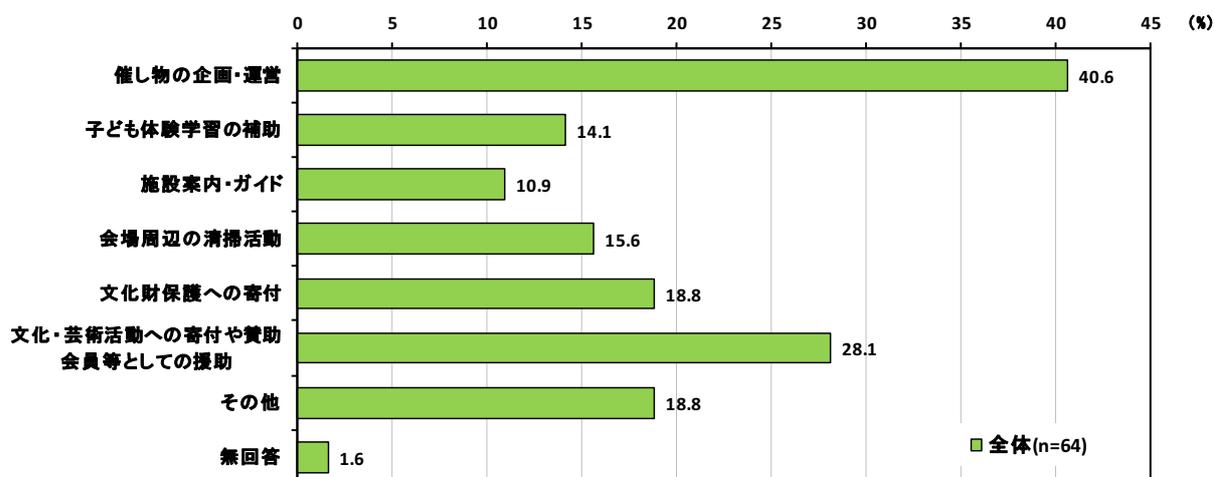
・催し物の企画・運営	40.6%	(33.7%)
・文化・芸術活動への寄付や賛助会員等としての援助	28.1%	(27.6%)
・文化財保護への寄付	18.8%	(14.3%)
・会場周辺の清掃活動	15.6%	(18.4%)
・子ども体験学習の補助	14.1%	(21.4%)

【前回との比較】

- 「催し物の企画・運営」が33.7%から40.6%に6.9ポイント増加していますが、「子ども体験学習の補助」は21.4%から14.1%に7.3ポイント減少しています。

設問10で「1. したことがある」と回答された方にお伺いします。

【設問11】どのようなボランティアや寄付を行いましたか。(あてはまるものすべてに○)



13 ボランティアや寄付をしなかった理由

ボランティアや寄付をしなかった理由としては、「情報が入手できず、内容がわからない」や「時間的・金銭的な余裕がない」が多くなっています

- ・情報が入手できず、内容がわからない 48.1% (43.3%)
- ・時間的・金銭的な余裕がない 40.2% (39.1%)
- ・関心がない 26.1% (21.3%)
- ・一緒にする人がいない 10.8% (10.9%)

【前回との比較】

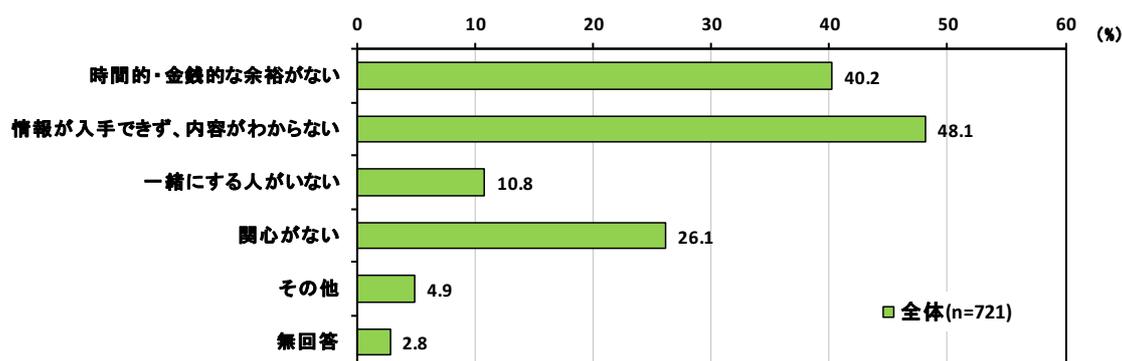
- 「情報が入手できず、内容がわからない」が43.3%から48.1%、「関心がない」が21.3%から26.1%に、ともに4.8ポイント増加しています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30歳代、40歳代では「時間的・金銭的な余裕がない」が5割弱、20歳代以下では「関心がない」が4割台と他の年齢層に比べ多くなっています。

設問10で「2. したことがない」と回答された方にお伺いします。

【設問12】 ボランティアや寄付をしなかった理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)



	サンプル数	時間的・金銭的な余裕がない	情報が入手できず、内容がわからない	一緒にする人がいない	関心がない	その他	無回答	
全体	721	40.2	48.1	10.8	26.1	4.9	2.8	
年齢別	20歳代以下	43	39.5	41.9	7.0	44.2	2.3	2.3
	30歳代	95	49.5	45.3	12.6	33.7	2.1	0.0
	40歳代	123	48.0	51.2	10.6	26.0	0.0	3.3
	50歳代	132	43.9	50.8	8.3	25.8	3.8	1.5
	60歳代	159	40.3	49.7	8.8	19.5	6.3	3.8
	70歳以上	162	26.5	45.7	15.4	24.1	10.5	3.7
	職業別	自営業	43	44.2	48.8	14.0	16.3	4.7
専門職		30	40.0	43.3	10.0	33.3	3.3	0.0
会社員		190	44.7	49.5	7.4	27.9	1.6	2.6
公務員		39	51.3	46.2	5.1	33.3	2.6	2.6
パート・アルバイト		97	52.6	57.7	16.5	16.5	5.2	3.1
専業主婦・主夫		128	32.0	53.9	9.4	25.0	7.0	1.6
無職		140	30.0	36.4	12.9	30.0	6.4	5.0
その他		45	37.8	42.2	11.1	31.1	6.7	2.2

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

14 参加したいボランティアや寄付

参加したいボランティア・寄付としては、「子ども体験学習の補助」が最も多く、次いで「会場周辺の清掃活動」となっています。

その一方で、「ボランティアをしたい気持ちがない」も少なくありません。

・子ども体験学習の補助	25.4%	(22.8%)
・会場周辺の清掃活動	20.4%	(19.1%)
・文化財の保護活動	18.5%	(21.9%)
・催し物の企画・運営	15.5%	(16.3%)

・ボランティアをしたい気持ちがない	27.8%	(21.4%)

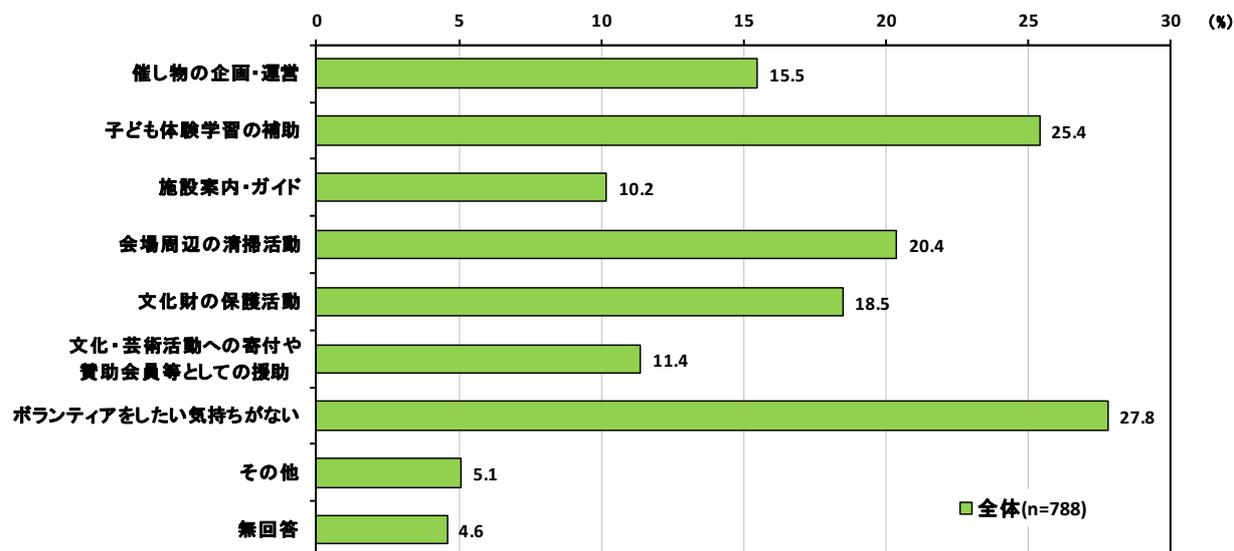
【前回との比較】

- 「ボランティアをしたい気持ちがない」が21.4%から27.8%に6.4ポイント減少しています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30歳代以下では「催し物の企画・運営」、30・40歳代では「子ども体験学習の補助」が他の年齢層に比べ多くなっています。

【設問13】どのような内容のボランティア・寄付に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)



【設問13】どのような内容のボランティア・寄付に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)

		サンプル数	催し物の企画・運営	子ども体験学習の補助	施設案内・ガイド	会場周辺の清掃活動	文化財の保護活動	文化・芸術活動への寄付や賛助会員等としての援助	ボランティアをしたい気持ちがない	その他	無回答
全体		788	15.5	25.4	10.2	20.4	18.5	11.4	27.8	5.1	4.6
年齢別	20歳代以下	46	28.3	26.1	8.7	15.2	13.0	8.7	30.4	2.2	2.2
	30歳代	97	21.6	42.3	7.2	9.3	13.4	7.2	35.1	3.1	1.0
	40歳代	130	19.2	34.6	10.8	21.5	24.6	11.5	25.4	1.5	0.8
	50歳代	145	14.5	26.9	11.0	21.4	20.0	9.7	29.0	3.4	3.4
	60歳代	179	14.5	23.5	15.1	25.1	17.3	16.2	22.3	5.6	3.4
	70歳以上	182	8.2	11.5	6.6	21.4	19.2	10.4	29.7	10.4	9.9
職業別	自営業	49	22.4	30.6	6.1	12.2	26.5	16.3	18.4	12.2	2.0
	専門職	34	23.5	41.2	14.7	14.7	23.5	14.7	26.5	2.9	2.9
	会社員	198	19.7	25.8	8.6	18.7	17.2	10.1	29.3	1.5	3.0
	公務員	48	20.8	43.8	14.6	22.9	14.6	12.5	20.8	0.0	2.1
	パート・アルバイト	103	12.6	34.0	16.5	24.3	19.4	12.6	25.2	2.9	1.9
	専業主婦・主夫	140	10.7	22.1	10.7	23.6	16.4	10.0	30.7	7.9	2.1
	無職	156	8.3	11.5	5.8	23.1	19.2	10.9	34.0	7.1	10.3
	その他	50	24.0	24.0	14.0	12.0	20.0	12.0	20.0	8.0	8.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

15 ボランティアや寄付がしやすくなるために必要なこと

ボランティアや寄付がしやすくなるために必要なこととしては、「ボランティアに関する情報提供の充実」が最も多くなっています。

・ボランティアに関する情報提供の充実	46.3% (48.3%)
・寄付金の収支の明確化	27.0% (27.6%)
・学校教育における文化・芸術への理解促進	22.7% (22.0%)
・寄付先（文化・芸術団体等）に関する情報提供の充実	21.3% (21.5%)
・ボランティアの育成・研修機会の充実	19.7% (21.7%)

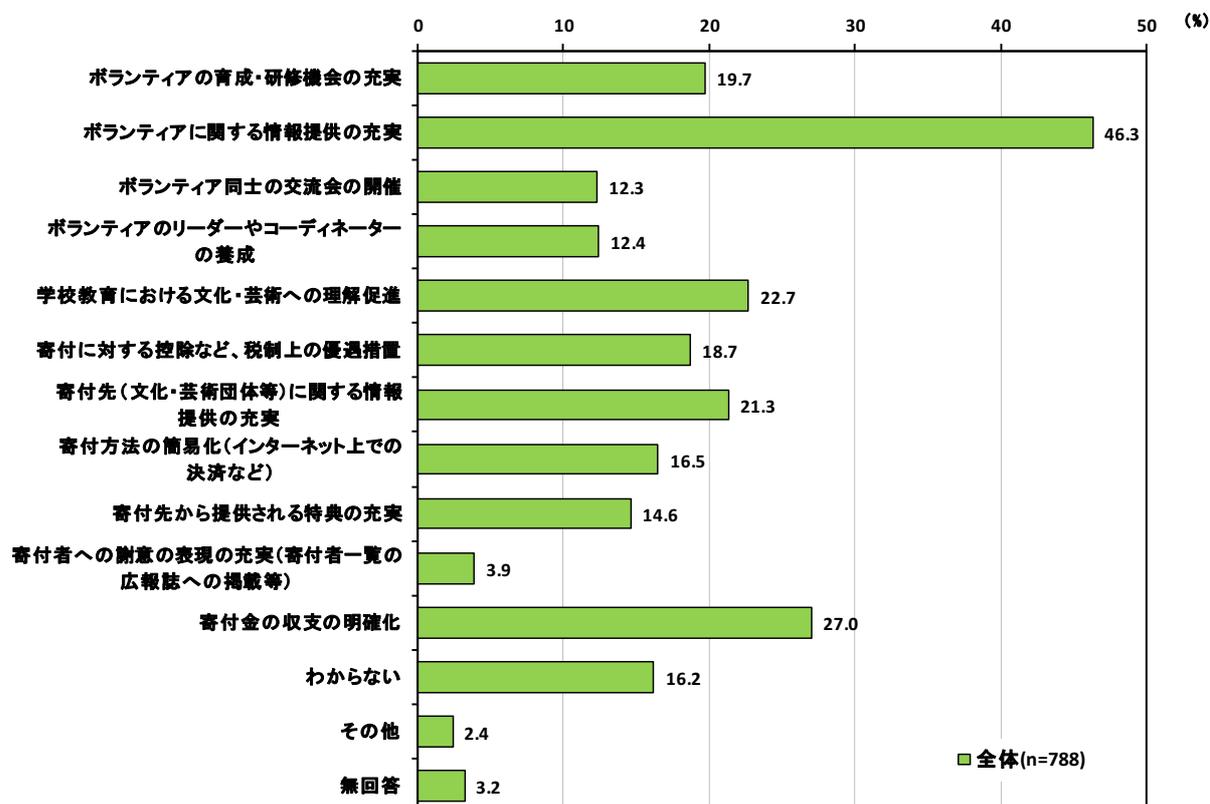
【前回との比較】

- 前回調査から大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、20歳代以下では「ボランティアに関する情報提供の充実」が60.9%と多く、「寄付方法の簡易化（インターネット上での決済など）」は年齢が低いほど多くなる傾向がみられ、20歳以下では34.8%と多くなっています。また、30歳代以下では「寄付先から提供される特典の充実」も他の年齢層に比べ多くなっています。

【設問14】 ボランティアや寄付がしやすくなるためには何が必要と思いますか。（あてはまるもの全てに○）



【設問14】ボランティアや寄付がしやすくなるためには何が必要と思いますか。(あてはまるものすべてに○)

		サンプル数	ボランティアの育成・研修機会の充実	ボランティアに関する情報提供の充実	ボランティア同士の交流会の開催	ボランティアのリーダーやコーディネーターの養成	学校教育における文化・芸術への理解促進	寄付に対する控除など、税制上の優遇措置	寄付先（文化・芸術団体等）に関する情報提供の充実	寄付先（文化・芸術団体等）に関する情報提供の充実	寄付先から提供される特典の充実	寄付方法の簡易化（インターネット上の決済など）	寄付金の収支の明確化	寄付者への謝意の表現の充実（寄付者一覧の広報誌への掲載等）	寄付先から提供される特典の充実	わからない	その他	無回答
全体		788	19.7	46.3	12.3	12.4	22.7	18.7	21.3	16.5	14.6	3.9	27.0	16.2	2.4	3.2		
年齢別	20歳代以下	46	19.6	60.9	10.9	8.7	23.9	23.9	30.4	34.8	26.1	2.2	28.3	4.3	2.2	0.0		
	30歳代	97	13.4	40.2	14.4	11.3	24.7	19.6	25.8	26.8	24.7	2.1	26.8	17.5	5.2	0.0		
	40歳代	130	16.2	53.8	15.4	10.8	26.9	23.1	19.2	21.5	16.9	2.3	31.5	13.1	2.3	0.8		
	50歳代	145	24.1	48.3	11.7	16.6	22.8	25.5	20.0	22.8	20.0	4.8	29.0	10.3	3.4	2.1		
	60歳代	179	23.5	46.4	10.6	16.2	25.7	16.8	23.5	12.3	9.5	3.9	27.9	15.6	2.2	3.4		
	70歳以上	182	19.2	39.0	12.1	8.8	16.5	10.4	17.0	2.7	6.0	6.0	22.0	25.3	0.5	7.1		
職業別	自営業	49	18.4	46.9	10.2	12.2	28.6	26.5	20.4	18.4	8.2	8.2	30.6	18.4	2.0	0.0		
	専門職	34	23.5	44.1	23.5	20.6	23.5	38.2	23.5	26.5	29.4	8.8	20.6	11.8	5.9	0.0		
	会社員	198	20.2	44.9	13.1	12.1	21.2	20.7	23.7	20.7	17.7	2.0	30.8	11.6	1.5	2.0		
	公務員	48	27.1	47.9	22.9	16.7	29.2	16.7	22.9	27.1	20.8	0.0	12.5	10.4	8.3	0.0		
	パート・アルバイト	103	12.6	61.2	11.7	10.7	27.2	19.4	19.4	16.5	20.4	5.8	24.3	11.7	3.9	1.0		
	専業主婦・主夫	140	17.9	45.7	7.1	10.7	23.6	12.1	20.0	14.3	8.6	2.1	27.9	19.3	1.4	3.6		
	無職	156	22.4	34.0	12.8	10.9	17.3	11.5	18.6	6.4	8.3	5.8	26.3	26.9	0.6	7.7		
	その他	50	20.0	60.0	8.0	16.0	22.0	26.0	22.0	20.0	16.0	2.0	32.0	8.0	4.0	4.0		

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの（「無回答」は除く）

■ 子どもや次世代の人材育成について ■

16 子どものころから文化・芸術に触れる機会の必要性

子どもからの文化・芸術に触れる機会の必要性については、「思う」が65.0%と多く、これに「ある程度思う」(30.1%)を加えると、『思う度』が95.1%となっています。

・ 思う	65.0% (68.0%)
・ ある程度は思う	30.1% (26.7%)
	『思う度』 95.1% (94.7%)
・ あまり思わない	1.4% (1.9%)
・ 思わない	0.5% (0.1%)
	『思わない度』 ・ 1.9% (2.0%)

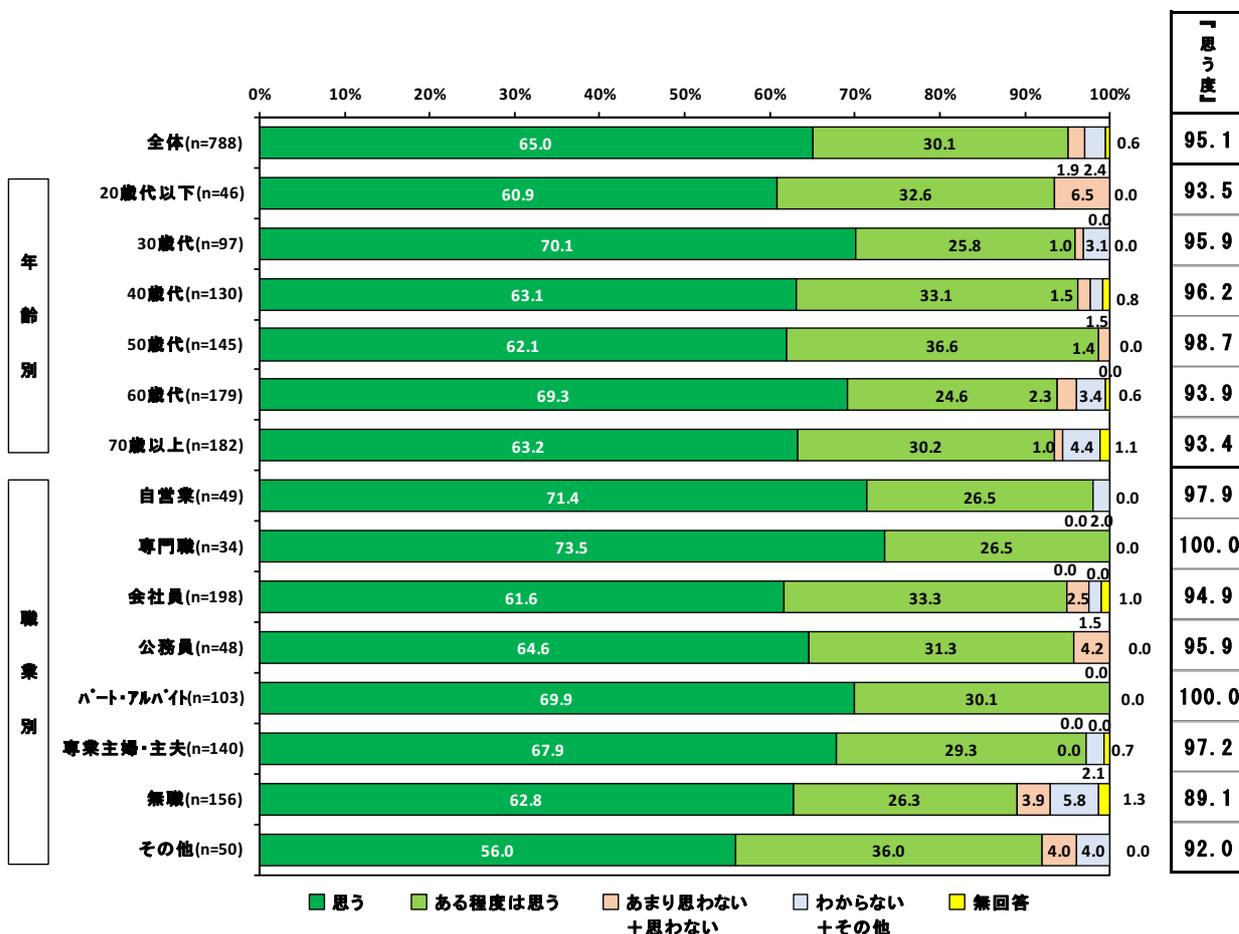
【前回との比較】

- 前回調査から大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30歳代で「思う」が70.1%と唯一7割台となっています。

【設問15】子どもからの文化・芸術に触れる機会は必要だと思いますか。(あてはまるもの1つに○)



17 子どもたちが文化・芸術に親しむ機会を充実させるために必要なこと

子どもたちが文化・芸術に親しむ機会を充実させるため必要なこととしては、「学校における鑑賞・創作体験（出張公演などを含む）を充実させる」が特に多くなっています。

- ・学校における鑑賞・創作体験（出張公演などを含む）を充実させる …… 76.2% (72.6%)
- ・地域の文化施設（ホールや美術館等）における、子ども向けの鑑賞や学習（ワークショップ等）の機会を充実させる …… 55.0% (54.5%)
- ・子どもたちが、気軽に利用できる施設を充実させる …… 44.9% (45.4%)
- ・子どもたちの鑑賞料・参加料を安くする …… 43.5% (44.2%)
- ・地域の伝統的な行事（祭り、祭礼等）への参加の機会を充実させる …… 43.4% (46.2%)

【前回との比較】

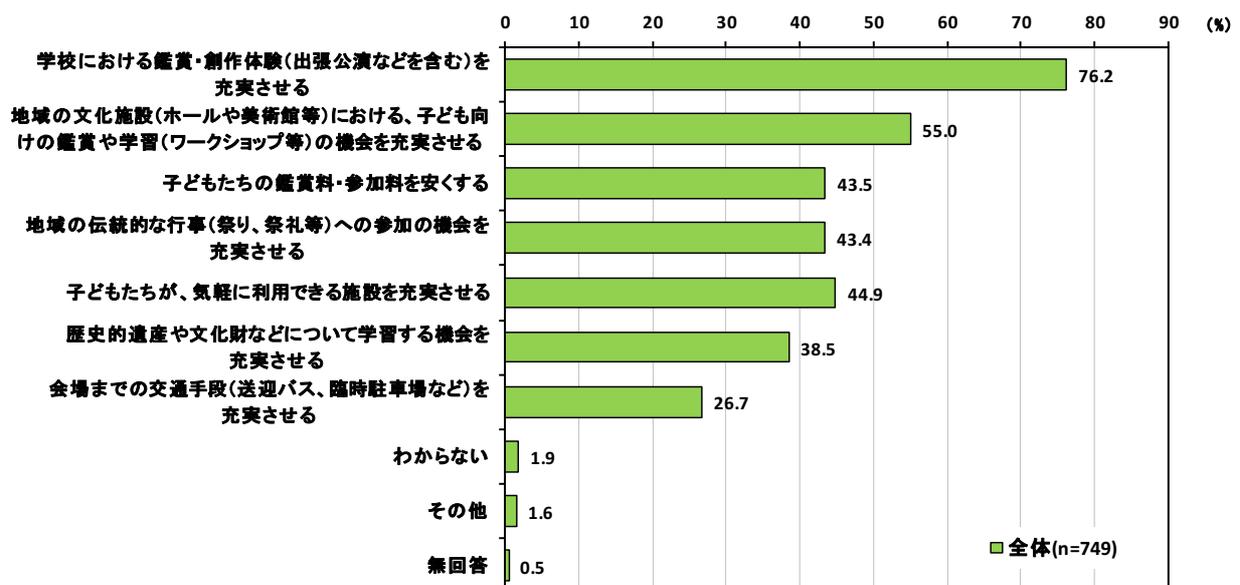
- 前回調査から割合の増減はありますが、大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30～50 歳代では「学校における鑑賞・創作体験（出張公演などを含む）を充実させる」が8割台、40 歳代以下では「子どもたちの鑑賞料・参加料を安くする」、「子どもたちが、気軽に利用できる施設を充実させる」が5割台と他の年齢層に比べ多くなっています。

設問15で「1. 思う」、「2. ある程度は思う」と回答された方にお伺いします。

【設問16】子どもたちが文化・芸術に親しむ機会を充実させるために、どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。（あてはまるものすべてに○）



設問15で「1. 思う」、「2. ある程度は思う」と回答された方にお伺いします。

【設問16】子どもたちが文化・芸術に親しむ機会を充実させるために、どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

	サンプル数	学校における鑑賞・創作体験(出張公演などを含む)を充実させる	地域の文化施設(ホールや美術館等)における、子ども向けの鑑賞や学習(ワークショップ等)の機会を充実させる	子どもたちの鑑賞料・参加料を安くする	地域の伝統的な行事(祭り、祭礼等)への参加の機会を充実させる	子どもたちが、気軽に利用できる施設を充実させる	歴史的遺産や文化財などについて学習する機会を充実させる	会場までの交通手段(送迎バス、臨時駐車場など)を充実させる	わからない	その他	無回答	
全体	749	76.2	55.0	43.5	43.4	44.9	38.5	26.7	1.9	1.6	0.5	
年齢別	20歳以下	43	74.4	37.2	51.2	37.2	53.5	23.3	20.9	2.3	0.0	0.0
	30歳代	93	81.7	53.8	50.5	38.7	52.7	29.0	25.8	3.2	3.2	0.0
	40歳代	125	80.0	56.8	51.2	40.0	54.4	44.0	36.8	0.0	3.2	0.0
	50歳代	143	83.2	55.9	49.7	32.9	37.1	30.8	26.6	0.7	2.1	0.0
	60歳代	168	78.6	60.7	41.1	46.4	41.7	46.4	23.2	2.4	0.0	0.0
	70歳以上	170	64.7	53.5	30.6	55.9	41.8	43.5	24.7	2.4	1.2	1.8
職業別	自営業	48	77.1	50.0	35.4	39.6	39.6	39.6	27.1	4.2	4.2	0.0
	専門職	34	73.5	64.7	52.9	35.3	61.8	29.4	41.2	0.0	0.0	0.0
	会社員	188	78.7	50.5	47.3	41.0	41.0	30.3	22.9	2.7	1.1	0.0
	公務員	46	82.6	80.4	50.0	50.0	60.9	34.8	32.6	0.0	4.3	0.0
	パート・アルバイト	103	83.5	56.3	48.5	40.8	44.7	39.8	33.0	1.0	1.9	0.0
	専業主婦・主夫	136	78.7	55.9	41.9	44.9	44.9	44.9	27.9	0.7	2.2	1.5
	無職	139	64.7	54.7	36.7	46.8	42.4	43.9	20.9	3.6	0.7	1.4
	その他	46	76.1	41.3	39.1	43.5	45.7	45.7	23.9	0.0	0.0	0.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

18 子どもたちが文化・芸術に親しむことで、期待する効果

子どもたちが文化・芸術に親しむことで、期待する効果としては、「日本の文化を知り、国や自分の住んでいる地域に対する愛着を持つようになる」をはじめとして、「美しさなどへの感性が育まれる」、「他国の地域の人々及び文化など、多様な価値観を学ぶ機会の一つとなる」が半数を超えています。

・日本の文化を知り、国や自分の住んでいる地域に対する愛着を持つようになる	64.6% (68.4%)
・美しさなどへの感性が育まれる	63.6% (57.7%)
・他国の地域の人々及び文化など、多様な価値観を学ぶ機会の一つとなる	52.1% (51.9%)
・文化・芸術活動を将来続けていくきっかけとなる	44.1% (42.2%)
・他者の気持ちを理解したり思いやったりするようになる	42.6% (47.0%)

【前回との比較】

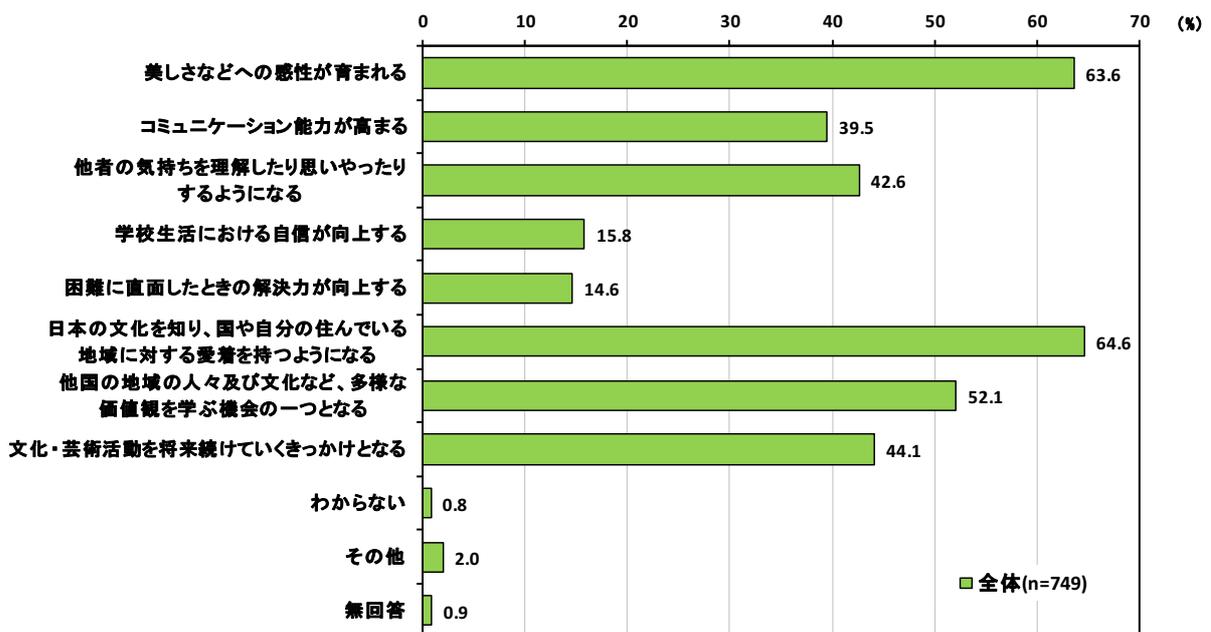
- 前回調査から割合の増減はありますが、大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、20歳以下では「文化・芸術活動を将来続けていくきっかけとなる」が5割台、30歳代では「美しさなどへの感性が育まれる」が7割台、30・40歳代では「他国の地域の人々及び文化など、多様な価値観を学ぶ機会の一つとなる」が6割台、70歳以上では「他者の気持ちを理解したり思いやったりするようになる」が5割台と他の年齢層に比べ多くなっています。

設問15で「1. 思う」、「2. ある程度は思う」と回答された方にお伺いします。

【設問17】子どもたちが文化・芸術に親しむことで、期待する効果は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



設問15で「1. 思う」、「2. ある程度は思う」と回答された方にお伺いします。

【設問17】子どもたちが文化・芸術に親しむことで、期待する効果は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	サンプル数	美しさなどへの感性が育まれる	コミュニケーション能力が高まる	他者の気持ちを理解したり思いやりったりするようになる	学校生活における自信が向上する	困難に直面したときの解決力が向上する	日本の文化を知り、国や自分の住んでいる地域に対する愛着を持つようになる	他国の地域の人々及び文化など、多様な価値観を学ぶ機会の一つとなる	文化・芸術活動を将来続けていくきっかけとなる	わからない	その他	無回答	
全体	749	63.6	39.5	42.6	15.8	14.6	64.6	52.1	44.1	0.8	2.0	0.9	
年齢別	20歳代以下	43	51.2	27.9	30.2	11.6	7.0	51.2	48.8	51.2	0.0	0.0	4.7
	30歳代	93	75.3	35.5	44.1	11.8	14.0	64.5	66.7	43.0	1.1	3.2	0.0
	40歳代	125	69.6	39.2	39.2	20.0	8.8	61.6	60.8	43.2	0.0	3.2	0.0
	50歳代	143	63.6	39.2	33.6	14.7	10.5	59.4	49.0	39.2	0.7	2.1	1.4
	60歳代	168	66.1	42.9	45.2	14.9	16.7	69.0	57.1	46.4	1.8	2.4	0.6
	70歳以上	170	54.7	41.2	51.8	16.5	21.8	70.6	36.5	45.3	0.6	0.6	1.2
職業別	自営業	48	56.3	41.7	31.3	18.8	14.6	60.4	43.8	39.6	6.3	4.2	4.2
	専門職	34	67.6	38.2	38.2	11.8	14.7	73.5	61.8	58.8	0.0	2.9	0.0
	会社員	188	64.4	44.1	38.3	13.8	12.8	59.0	54.8	39.9	0.0	1.6	0.5
	公務員	46	82.6	41.3	41.3	26.1	8.7	69.6	67.4	43.5	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト	103	64.1	37.9	44.7	15.5	13.6	62.1	54.4	49.5	1.0	5.8	1.0
	専業主婦・主夫	136	70.6	42.6	48.5	15.4	17.6	74.3	51.5	42.6	0.7	0.7	0.7
	無職	139	54.0	34.5	46.0	15.1	18.0	66.9	41.7	41.0	0.7	0.7	0.7
	その他	46	56.5	28.3	47.8	17.4	13.0	56.5	56.5	52.2	0.0	2.2	2.2

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

19 次世代の文化・芸術の担い手の育成や支援に必要なこと

子どもに限らない、次世代の文化・芸術の担い手の育成や支援としては、「音楽会、公演、展覧会など身近で気軽に参加できる文化・芸術イベントの提供」が特に多くなっています。

- ・ 音楽会、公演、展覧会など身近で気軽に参加できる
文化・芸術イベントの提供 …………… 62.9% (64.2%)
- ・ さまざまなアーティストや専門家と触れ合える機会の提供 …………… 40.7% (43.0%)
- ・ 世界的に活躍する芸術家等による質の高い文化・芸術に触れる機会 ……… 39.8% (37.0%)
- ・ 小中学校等における学校教育の充実 …………… 38.3% (39.3%)
- ・ 文化・芸術活動の発表の機会や練習場所の提供 …………… 29.7% (27.9%)

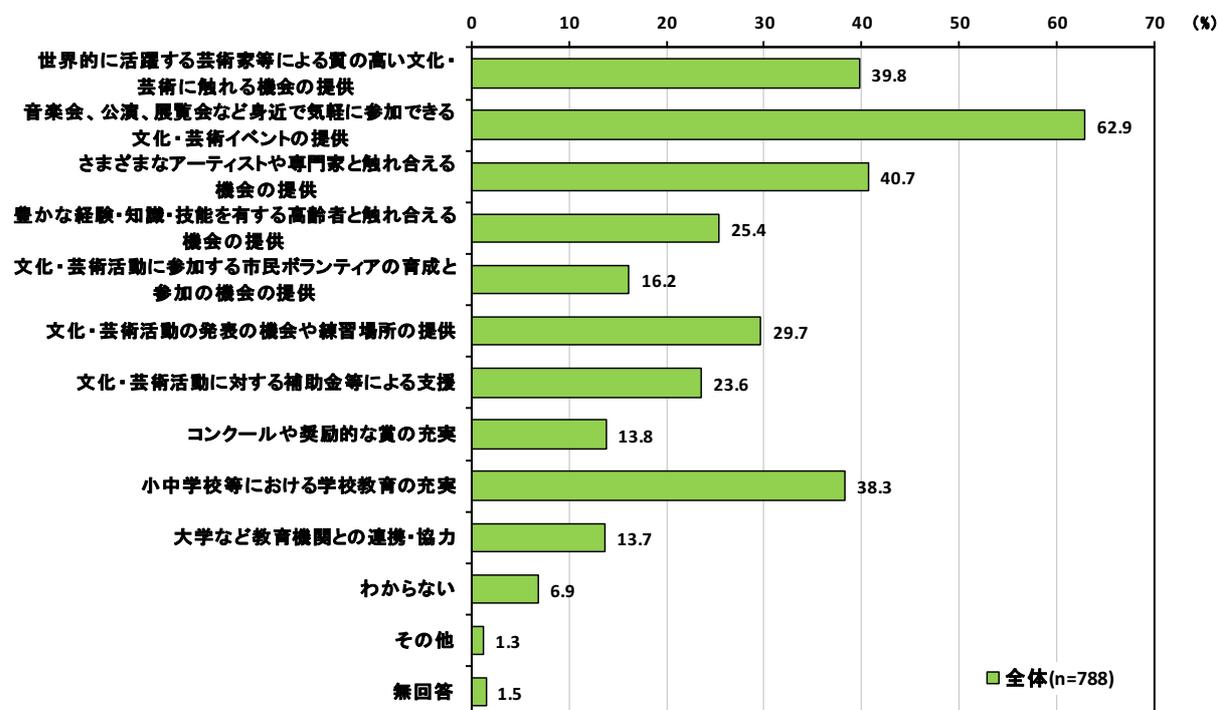
【前回との比較】

- 前回調査から割合の増減はありますが、大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、40歳代では「さまざまなアーティストや専門家と触れ合える機会の提供」が50.8%と他の年齢層に比べ多くなっています。

【設問18】 子どもに限らない、次世代の文化・芸術の担い手の育成や支援について、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



【設問18】子どもに限らない、次世代の文化・芸術の担い手の育成や支援について、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

	サンプル数	世界的に活躍する芸術家等による質の高い文化・芸術に触れる機会の提供	音楽会、公演、展覧会など身近で気軽に参加できる文化・芸術イベントの提供	さまざまなアーティストや専門家と触れ合える機会の提供	豊富な経験・知識・技能を有する高齢者と触れ合える機会の提供	文化・芸術活動に参加する市民ボランティアの育成と参加の機会の提供	文化・芸術活動の発表の機会や練習場の提供	文化・芸術活動に対する補助金等による支援	コンクールや奨励的な賞の充実	小中学校等における学校教育の充実	大学など教育機関との連携・協力	わからない	その他	無回答	
全体	788	39.8	62.9	40.7	25.4	16.2	29.7	23.6	13.8	38.3	13.7	6.9	1.3	1.5	
年齢別	20歳代以下	46	45.7	63.0	37.0	13.0	6.5	28.3	19.6	8.7	39.1	26.1	4.3	0.0	0.0
	30歳代	97	40.2	55.7	44.3	15.5	10.3	28.9	22.7	13.4	44.3	11.3	10.3	1.0	0.0
	40歳代	130	43.8	62.3	50.8	21.5	12.3	30.8	26.2	18.5	43.1	16.9	3.1	0.8	0.8
	50歳代	145	45.5	63.4	46.2	24.8	13.8	31.7	22.8	15.2	33.1	15.9	2.8	1.4	0.0
	60歳代	179	41.9	65.4	41.9	31.3	24.0	29.6	23.5	14.5	35.2	11.2	6.1	2.2	3.4
	70歳以上	182	30.8	65.9	28.6	29.7	19.2	28.6	25.3	10.4	40.1	10.4	11.0	1.1	2.7
職業別	自営業	49	44.9	57.1	34.7	22.4	18.4	38.8	16.3	22.4	32.7	12.2	10.2	2.0	0.0
	専門職	34	52.9	70.6	55.9	32.4	20.6	29.4	29.4	8.8	38.2	17.6	2.9	0.0	0.0
	会社員	198	42.9	56.6	44.4	17.7	11.1	26.8	19.7	11.6	33.8	9.6	4.5	0.0	2.0
	公務員	48	54.2	64.6	58.3	22.9	8.3	50.0	31.3	18.8	37.5	16.7	6.3	4.2	0.0
	パート・アルバイト	103	46.6	72.8	49.5	26.2	22.3	34.0	34.0	19.4	41.7	18.4	1.9	1.9	0.0
	専業主婦・主夫	140	40.0	68.6	32.1	30.0	11.4	21.4	19.3	10.0	43.6	12.1	7.1	1.4	2.9
	無職	156	26.3	58.3	34.6	26.9	21.8	26.9	20.5	11.5	38.5	13.5	13.5	1.3	2.6
	その他	50	34.0	62.0	36.0	36.0	22.0	34.0	36.0	16.0	44.0	24.0	4.0	2.0	0.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

■ 文化財や歴史的な価値のあるもの（歴史的遺産）について ■

20 保存して、活用していく取組への大切さ

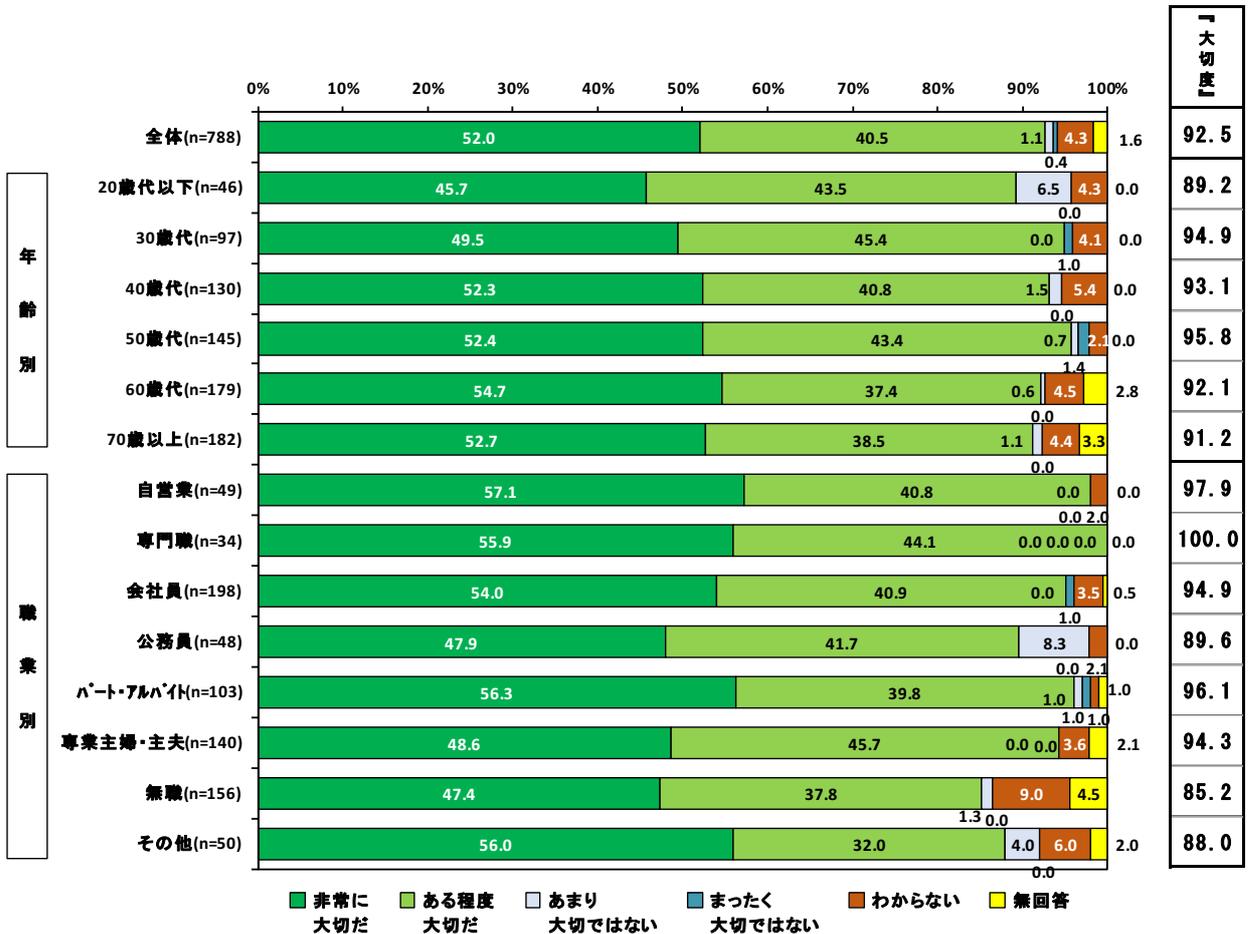
文化財や歴史的な価値のあるもの（歴史的遺産）を保存して、活用していく取組については、「非常に大切だ」が52.0%、「ある程度大切だ」が40.5%、合計した『大切度』は92.5%となっています。

・非常に大切だ	52.0%	(53.9%)
・ある程度大切だ	40.5%	(40.1%)
『大切度』		92.5% (94.0%)
・あまり大切ではない	1.1%	(1.5%)
・まったく大切ではない	0.4%	(-%)
『大切ではない度』		1.5% (1.5%)

【前回との比較】

- 前回調査から大きな変化はみられません。

【設問19】文化財や歴史的な価値のあるもの（歴史的遺産）を保存して、活用していく取組についてどう思いますか。（あてはまるもの1つに○）



21 保存・活用することが大切だと思う理由

文化財や歴史的な価値のあるもの（歴史的遺産）を保存・活用することが大切だと思う理由としては、「歴史的な事実を伝えるものとして、価値あるものだから」が最も多く、次いで、「貴重な建物・展示資料などは作り出すことができない唯一無二のもだから」、「過去から未来へ受け継がれていくものだから」となっています。

- ・歴史的な事実を伝えるものとして、価値あるものだから ……68.2% (64.7%)
- ・貴重な建物・展示資料などは作り出すことができない
唯一無二のもだから ……67.8% (71.7%)
- ・過去から未来へ受け継がれていくものだから ……54.0% (54.6%)
- ・地域で生まれ育まれ、受け継がれてきた、地域の特徴（アイデンティティー）を
示すものだから ……47.6% (48.3%)
- ・まちの魅力につながるから ……28.8% (28.3%)

【前回との比較】

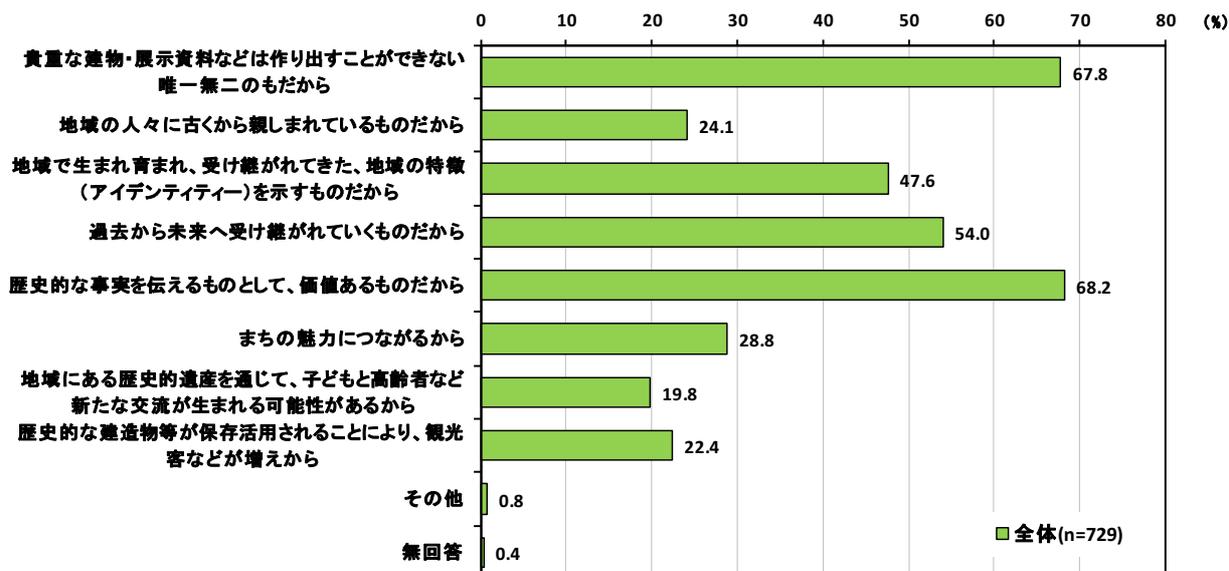
- 前回調査から割合の増減はありますが、大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、60歳代以上で「地域で生まれ育まれ、受け継がれてきた、地域の特徴（アイデンティティー）を示すものだから」が5割台と他の年齢層に比べ多くなっています。

設問19で「1. 非常に大切だ」、「2. ある程度大切だ」と回答された方にお伺いします。

【設問20】文化財や歴史的な価値のあるもの（歴史的遺産）を保存・活用することが大切だと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



設問19で「1. 非常に大切だ」、「2. ある程度大切だ」と回答された方にお伺いします。

【設問20】文化財や歴史的な価値のあるもの（歴史的遺産）を保存・活用することが大切だと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	サンプル数	貴重な建物・展示資料などはない唯一無二のもだから出す	地域の人々に古くから親しまれているものだから	地域で生まれ育まれ、受け継がれてきた、地域の特徴（アイデンティティ）を示すものだから	過去から未来へ受け継がれていくものだから	歴史的な事実を伝えるものとして、価値あるものだから	まちの魅力につながるから	地域に高年齢者など新たな交流が生み出される可能性があるから	歴史的な建造物等が保存活用されることにより、観光客などが増えるから	その他	無回答	
全体	729	67.8	24.1	47.6	54.0	68.2	28.8	19.8	22.4	0.8	0.4	
年齢別	20歳代以下	41	61.0	24.4	46.3	41.5	70.7	34.1	17.1	26.8	0.0	0.0
	30歳代	92	60.9	25.0	44.6	55.4	70.7	28.3	13.0	29.3	1.1	0.0
	40歳代	121	71.1	19.8	40.5	53.7	67.8	37.2	14.9	22.3	0.0	0.0
	50歳代	139	65.5	24.5	41.7	56.8	61.9	29.5	14.4	19.4	2.2	0.0
	60歳代	165	75.8	22.4	52.7	53.9	71.5	27.9	21.2	23.6	0.6	1.2
	70歳以上	166	64.5	28.3	54.2	54.2	67.5	22.3	29.5	18.7	0.6	0.6
職業別	自営業	48	66.7	18.8	41.7	62.5	60.4	33.3	4.2	18.8	0.0	0.0
	専門職	34	61.8	23.5	47.1	61.8	64.7	29.4	20.6	26.5	0.0	0.0
	会社員	188	66.0	19.7	39.9	48.4	67.6	27.1	13.8	22.9	0.5	0.5
	公務員	43	74.4	32.6	53.5	58.1	72.1	41.9	18.6	30.2	4.7	0.0
	パート・アルバイト	99	72.7	33.3	43.4	62.6	68.7	33.3	21.2	23.2	0.0	0.0
	専業主婦・主夫	132	68.2	21.2	56.1	47.7	70.5	23.5	19.7	16.7	0.0	0.8
	無職	133	65.4	26.3	51.1	53.4	69.9	24.1	31.6	23.3	0.8	0.8
	その他	44	72.7	22.7	50.0	65.9	65.9	36.4	20.5	27.3	2.3	0.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの（「無回答」は除く）

22 保存・活用することが大切だと思わない理由

文化財や歴史的な価値のあるもの（歴史的遺産）を保存・活用することが大切だと思わない理由としては、「保存するための経費がかかるから」が最も多く、次いで「文化財・歴史などに興味がないから」、「大分市に歴史的な遺産があると思わないから」となっています。

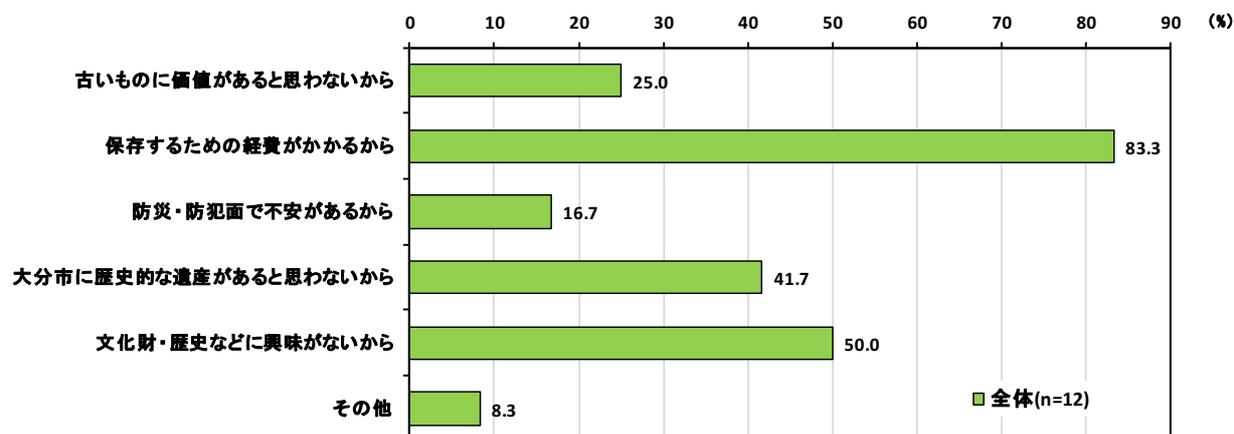
- ・ 保存するための経費がかかるから ……………83.3% (66.7%)
- ・ 文化財・歴史などに興味がないから ……………50.0% (16.7%)
- ・ 大分市に歴史的な遺産があると思わないから ……………41.7% (16.7%)
- ・ 古いものに価値があると思わないから ……………25.0% (16.7%)
- ・ 防災・防犯面で不安があるから ……………16.7% (41.7%)

【前回との比較】

- 前回調査と割合にかなり差がありますが、回答者数が12人と少ないため、上記に示すのみとします。

設問19で「3. あまり大切ではない」、「4. まったく大切ではない」と回答された方にお伺いします。

【設問21】文化財や歴史的な価値のあるもの（歴史的遺産）を保存・活用することが大切だと思わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



23 保護・活用するために必要な取組

文化財や歴史的な価値のあるもの（歴史的遺産）を保護・活用するために必要な取組としては、「市民が文化財に触れる機会を充実させる」が最も多く、次いで「文化財保存技術を継承する者を育成する」となっています。

- ・市民が文化財に触れる機会を充実させる ……67.8% (66.9%)
- ・文化財保存技術を継承する者を育成する ……45.4% (45.0%)
- ・市民を対象に、文化財に対する理解を深める講座や催しを行う ……35.7% (36.9%)
- ・文化財の修理を積極的に支援する ……33.0% (29.8%)
- ・保存すべき文化財を積極的に指定する ……28.6% (29.7%)

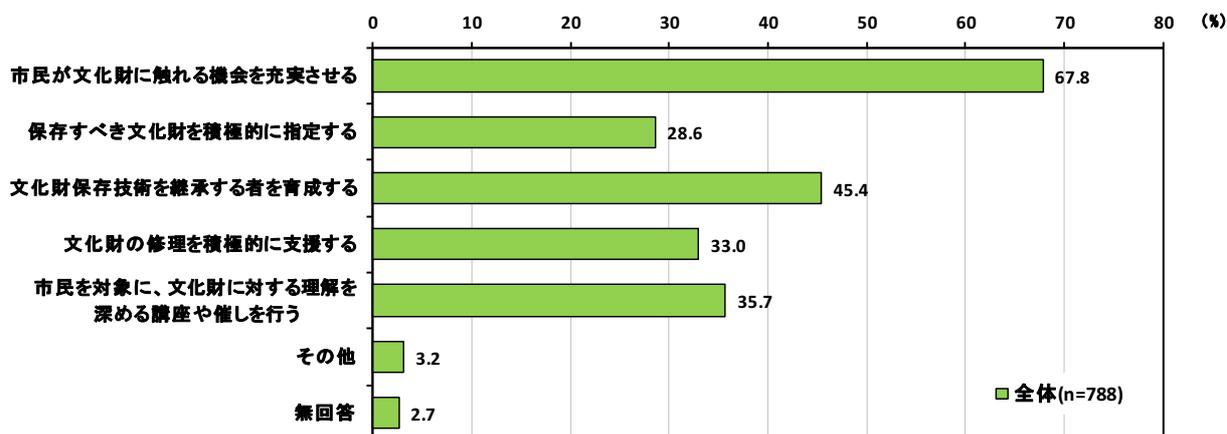
【前回との比較】

- 前回調査から割合の増減はありますが、大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、60歳代以上では「市民を対象に、文化財に対する理解を深める講座や催しを行う」が他の年齢層に比べ多くなっています。

【設問 2 2】文化財や歴史的な価値のあるもの（歴史的遺産）を保護・活用するためには、どのような取組が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



【設問22】文化財や歴史的な価値のあるもの（歴史的遺産）を保護・活用するためには、どのような取組が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

	サンプル数	市民が文化財に触れる機会を充実させる	保存すべき文化財を積極的に指定する	文化財保存技術を継承する者を育成する	文化財の修理を積極的に支援する	市民を対象に、文化財に対する理解を深める講座や催しを行う	その他	無回答	
全体	788	67.8	28.6	45.4	33.0	35.7	3.2	2.7	
年齢別	20歳代以下	46	67.4	32.6	39.1	30.4	21.7	2.2	0.0
	30歳代	97	71.1	20.6	40.2	34.0	24.7	1.0	2.1
	40歳代	130	66.2	30.8	50.0	33.1	36.9	4.6	0.8
	50歳代	145	62.8	30.3	41.4	31.7	33.1	4.8	1.4
	60歳代	179	69.8	27.4	47.5	35.8	41.9	2.8	3.4
	70歳以上	182	71.4	29.7	48.4	31.3	41.8	2.7	4.4
職業別	自営業	49	61.2	36.7	46.9	38.8	38.8	8.2	0.0
	専門職	34	82.4	29.4	35.3	44.1	44.1	2.9	0.0
	会社員	198	66.7	30.8	43.9	30.8	26.8	1.5	1.5
	公務員	48	70.8	25.0	35.4	35.4	35.4	12.5	0.0
	パート・アルバイト	103	75.7	17.5	50.5	29.1	42.7	2.9	1.9
	専業主婦・主夫	140	65.7	25.0	48.6	28.6	37.9	2.9	2.1
	無職	156	65.4	30.1	46.8	35.9	37.2	1.3	7.7
	その他	50	68.0	44.0	44.0	38.0	40.0	2.0	0.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの（「無回答」は除く）

■ 大分市の文化・芸術施策について ■

24 大分市の文化・芸術施策について

「第2次大分市文化・芸術振興計画（おおいた文化・芸術推進プラン2024）」で掲げる3つの基本目標の基本施策・取組項目は以下の通りです。

は ぐ く む	1. 多彩な文化・芸術に触れる機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・市内各地で多彩な文化・芸術事業の展開 ・質の高い魅力的な文化・芸術事業の展開 ・市民の特性に合わせた効果的な情報発信
	2. 次世代を担う子どもたちの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが文化・芸術に触れる機会の提供 ・子どもたちの文化・芸術活動の発表の機会の提供 ・子どもたちが歴史・伝統文化を学ぶ機会の提供
	3. 文化・芸術環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の利便性の向上 ・市民交流・情報発信の拠点づくり
た か え る	4. 主体的・創造的な文化・芸術活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術活動の場・発表の機会の提供 ・自主的な文化・芸術活動の支援 ・文化・芸術情報の集積・発信・活用
	5. 多様な市民の文化・芸術活動の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の文化・芸術活動等の支援 ・障がい者の文化・芸術活動等の支援 ・県や関係施設等と連携・協力
	6. 文化・芸術を支える基盤づくり <ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術を担う人材の育成・活用 ・公共施設の適切な運営・維持管理 ・産学官（市内の企業や文化・芸術系の高校・短期大学・大学、関係機関等）との連携・協力
つ な ぐ	7. 文化財・伝統文化・食文化の保存・継承・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保護・保全・活用 ・伝統文化の保存・継承 ・食文化の継承・協力
	8. 地域・都市・国際交流の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術による地域内交流の促進 ・文化・芸術関連自治体との都市交流の推進 ・文化・芸術による国際交流の推進
	9. 文化・芸術の創造性を生かした新たな価値の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術の幅広い関連分野への活用 ・文化・芸術によるにぎわいの創出・地域経済の活性化 ・魅力ある文化・芸術資源の活用・国内外への情報発信

基本施策・取組項目について満足度と重要度を尋ねました。

下図は、平均スコアの高い順に並べて、満足度と重要度の関係を示したものです。

これをみると、満足度でトップの「文化財・伝統文化・食文化の保存・継承・活用」は、重要度でも2位につけています。

重要度でトップの「次世代を担う子どもたちの育成」は、満足度では最も低い評価となっています。

基本目標の『はぐくむ』に含まれる項目は、満足度の順位から重要度の順位が3項目ともアップしています。

基本目標の『ささえる』に含まれる項目は、「文化・芸術を支える基盤づくり」は満足度の順位から重要度の順位がアップしていますが、他の2項目は満足度の順位から重要度の順位がダウンしています。

基本目標の『つなぐ』に含まれている項目は、満足度の順位から重要度の順位が3項目ともダウンしています。

■ 平均スコア・満足度・重要度の関係 ■ (平均スコアの高い順)

(上段：平均スコア 下段：満足率)

【満足度】	
文化財・伝統文化・食文化の保存・継承・活用	0.028 (13.4%)
地域・都市・国際交流の充実	▲0.214 (9.5%)
文化・芸術の創造性を生かした新たな価値の創出	▲0.377 (9.7%)
多彩な文化・芸術に触れる機会の充実	▲0.466 (11.9%)
主体的・創造的な文化・芸術活動の支援	▲0.619 (9.5%)
文化・芸術を支える基盤づくり	▲0.695 (9.1%)
多様な市民の文化・芸術活動の促進	▲0.745 (9.6%)
文化・芸術環境の充実	▲0.933 (13.4%)
次世代を担う子どもたちの育成	▲1.004 (10.3%)

※平均スコア 満足10点 やや満足5点 普通0点
やや不満-5点 不満-10点

※満足率(%) = 「満足(%)」 + 「やや満足(%)」

(上段：平均スコア 下段：重要率)

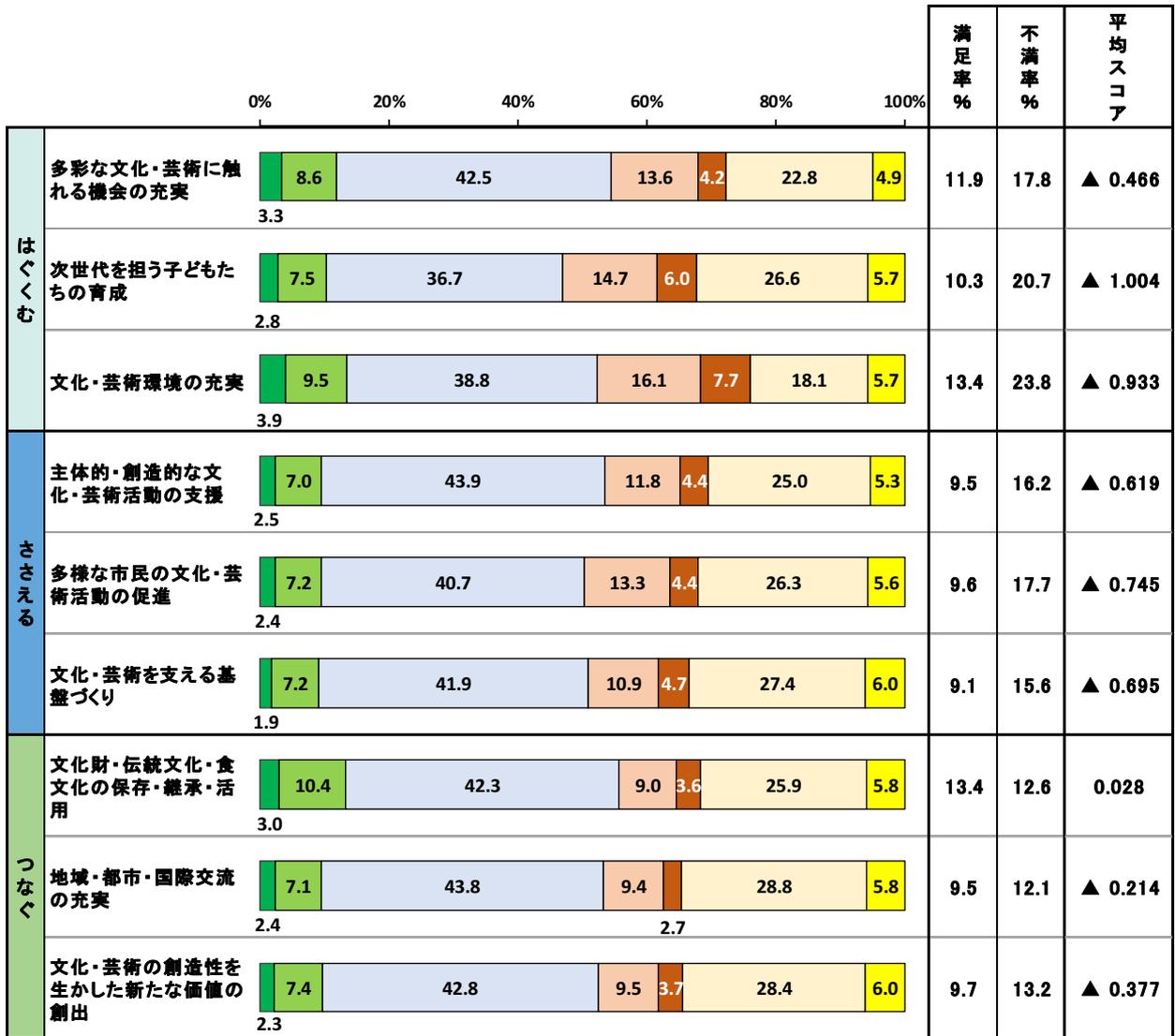
【需要度】	
次世代を担う子どもたちの育成	6.101 (63.1%)
文化財・伝統文化・食文化の保存・継承・活用	5.654 (48.0%)
多彩な文化・芸術に触れる機会の充実	5.032 (54.7%)
文化・芸術を支える基盤づくり	4.968 (52.4%)
文化・芸術環境の充実	4.890 (54.0%)
文化・芸術の創造性を生かした新たな価値の創出	4.347 (47.2%)
主体的・創造的な文化・芸術活動の支援	4.215 (48.4%)
多様な市民の文化・芸術活動の促進	4.140 (48.0%)
地域・都市・国際交流の充実	3.863 (44.8%)

※平均スコア 重要10点 やや重要5点 普通0点
あまり重要でない-5点 重要でない-10点

※重要率(%) = 「重要(%)」 + 「やや重要(%)」

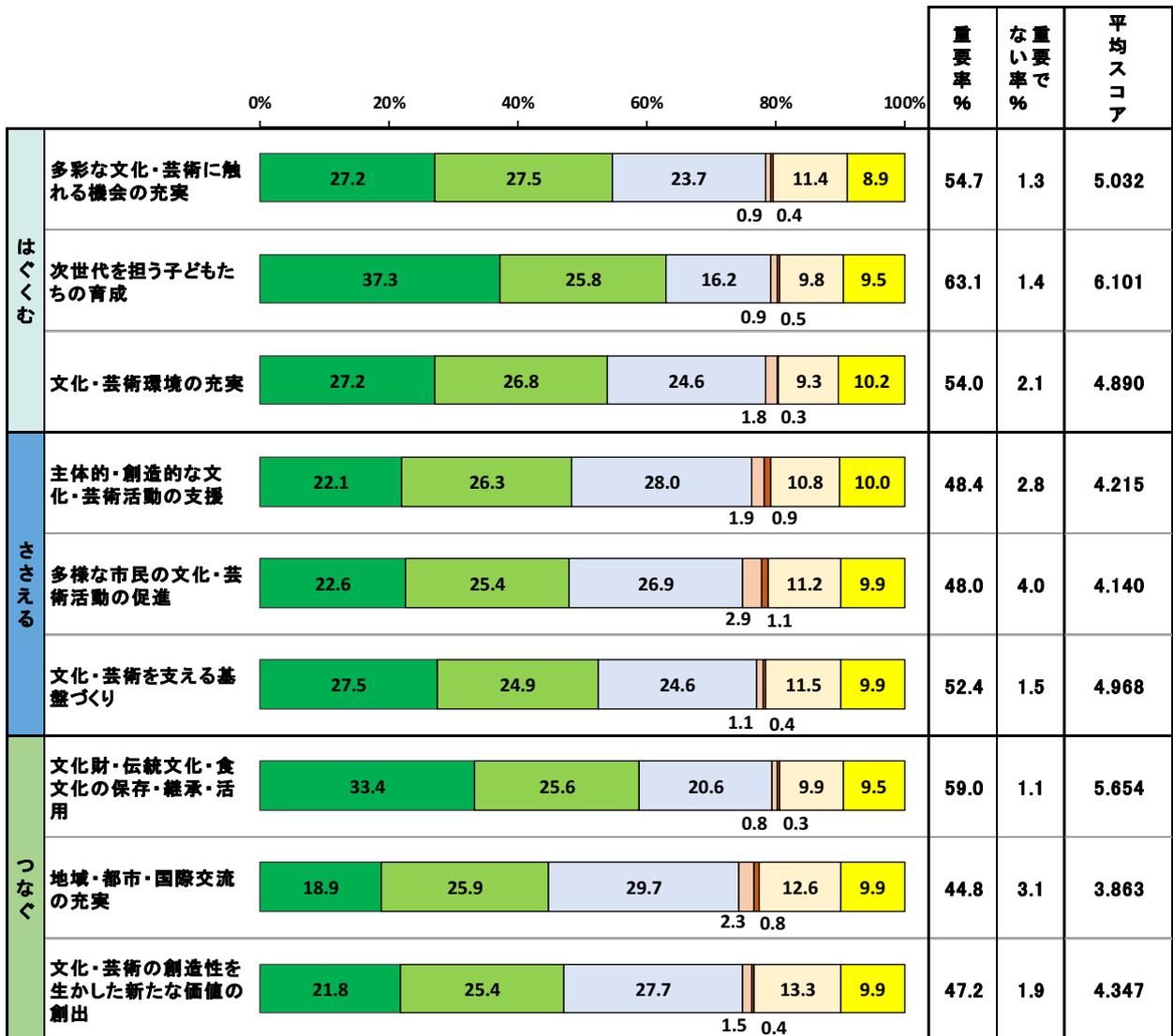
【設問 2 3】大分市の文化・芸術の現状についてお伺いします。次のことがらについて、満足度と重要度を 1～6 の中からそれぞれ選び、○をつけてください。

■ 満足度 (n=788) ■



■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない ■ 無回答

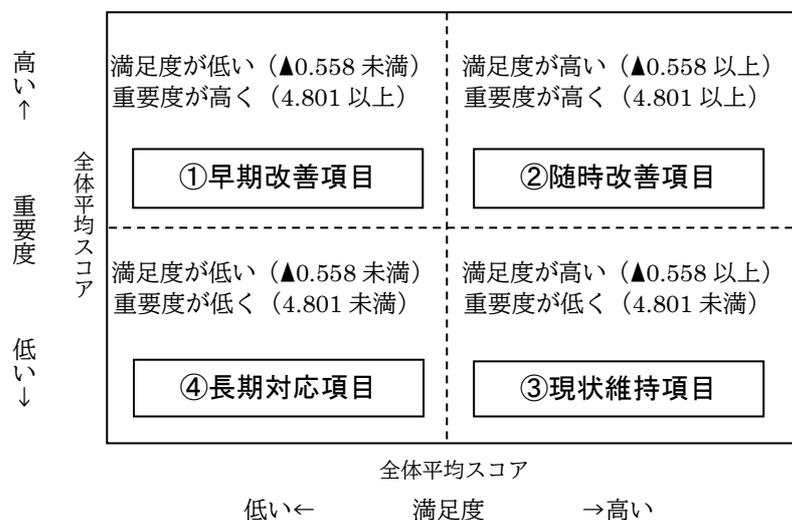
■ 重要度 (n=788) ■



■ 重要
 ■ やや重要
 ■ 普通
 ■ あまり重要でない
 ■ 重要でない
 ■ わからない
 ■ 無回答

また、満足度と重要度の平均スコアから、9つの取組を4つのグループに分類します。なお、この分類は、相対的なものであり、平均点に近くなるほど隣接する領域の要素も含まれてくるため施策の方向性を明確に位置付けるものではありません。

■分類基準■



① 早期改善項目

満足度は低いですが、重要度が高いもので、早期の改善が望まれるものと言えます。

- 次世代を担う子どもたちの育成
- 文化・芸術環境の充実
- 文化・芸術を支える基盤づくり

② 随時改善項目

満足度と重要が共に高いもので、必要に応じて改善を図りながら、維持が望まれるものと言えます。

- 文化財・伝統文化・食文化の保存・継承・活用
- 多彩な文化・芸術に触れる機会の充実

③ 現状維持項目

満足度が高く、重要度が低いもので、推移をみながら維持が望まれるものと言えます。

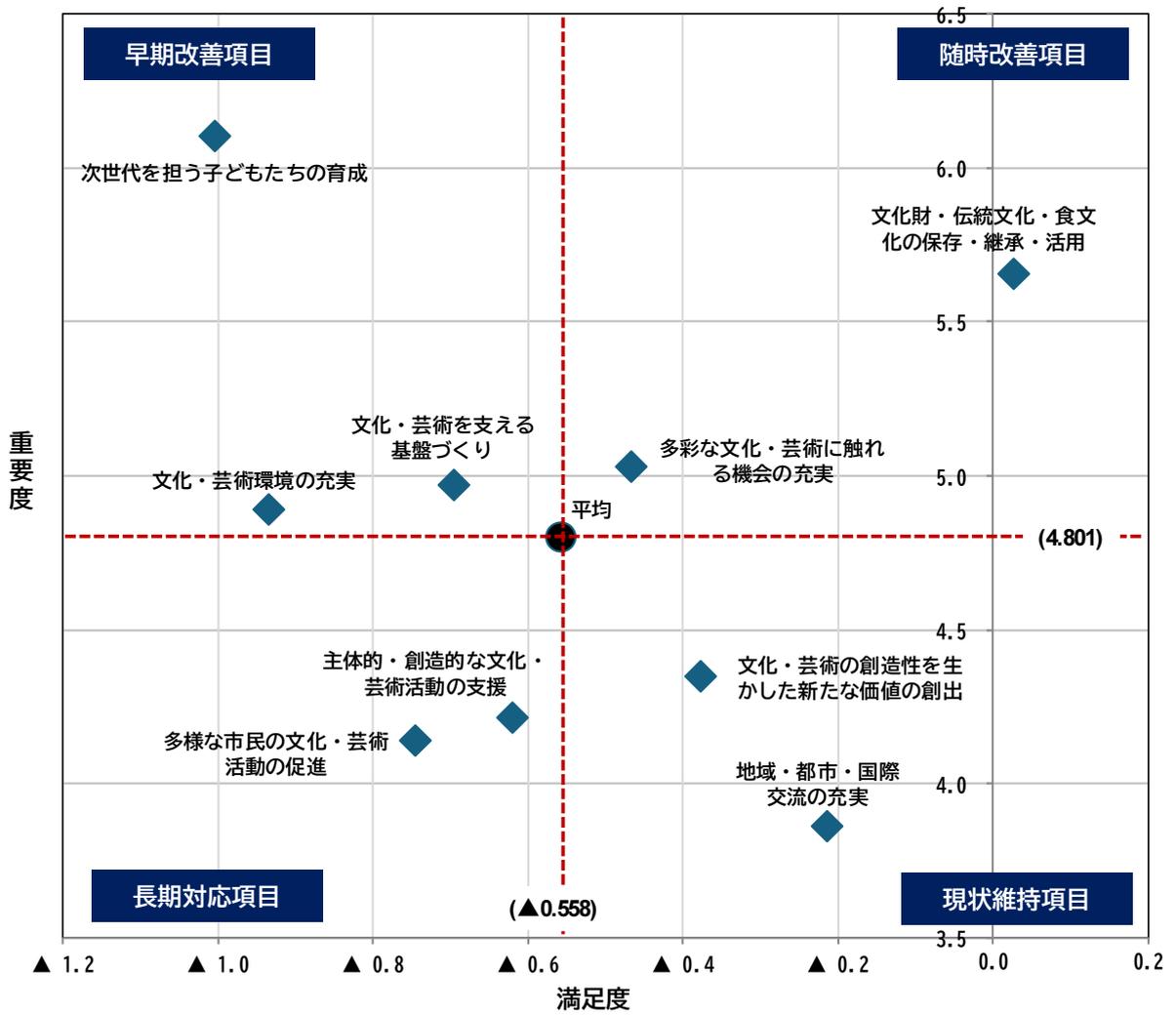
- 文化・芸術の創造性を生かした新たな価値の創出
- 地域・都市・国際交流の充実

④ 長期対応項目

満足度と重要度が共に低いもので、推移をみながら改善が望まれるものと言えます。

- 多様な市民の文化・芸術活動の促進
- 主体的・創造的な文化・芸術活動の支援

■満足度・重要度の平均スコアによる散布図■



25 大分市が日本における南蛮文化発祥の地であることの認知状況

大分市が日本における南蛮文化発祥の地であることについては、「知っている」が 34.5%、「聞いたことはある」が 32.9%、合計する『認知率』は 67.4%となっています。

・知っている	34.5% (41.7%)
・聞いたことはある	32.9% (33.4%)
『認知率』 67.4% (75.1%)	
・知らない	29.9% (21.4%)

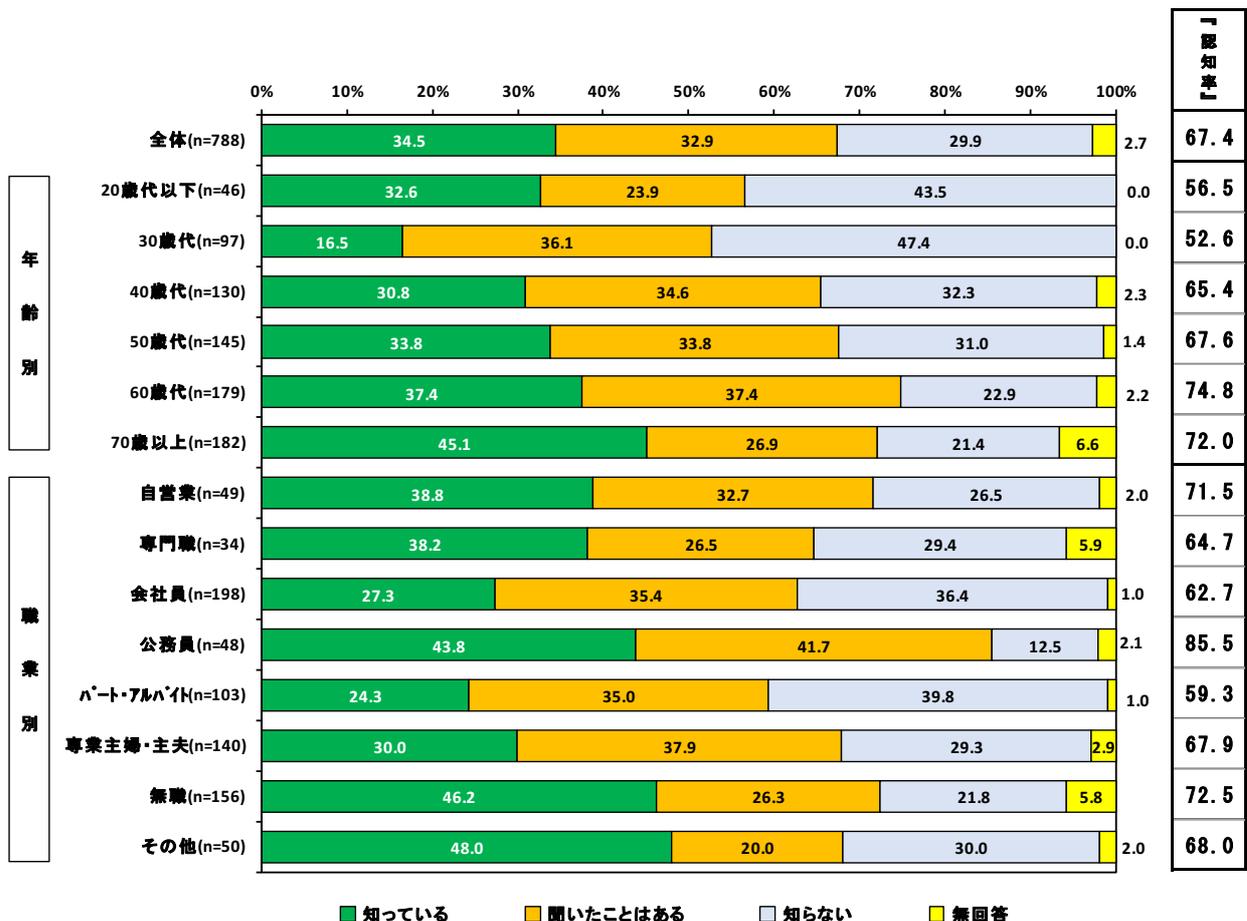
【前回との比較】

- 「知っている」が 41.7% から 34.5% に 7.2 ポイント減少しており、そのため『認知率』は 75.1% から 67.4% に 7.7 ポイント減少しています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、『認知率』は、30 歳代以下で 5 割台と少なく、40 歳代以降は年齢が高くなるほど多くなり、70 歳以上では 72.0% となっています。

【設問 2 4】大分市が日本における南蛮文化発祥の地であることを知っていますか。(あてはまるもの 1 つに○)



26 知っていること

大分市が日本における南蛮文化発祥の地であることに関して、聞いたことがあるのとしては、「西洋美術発祥の地」が最も多く、次いで「西洋音楽発祥の地」、「育児院、コレジオ（高等教育機関）の設立」となっています。

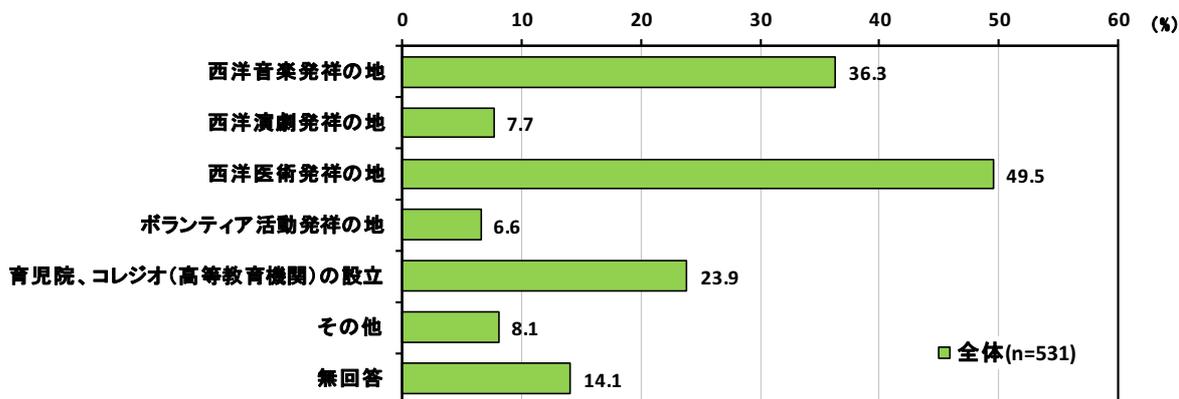
- ・西洋美術発祥の地 49.5% (53.0%)
- ・西洋音楽発祥の地 36.3% (37.7%)
- ・育児院、コレジオ（高等教育機関）の設立 23.9% (27.4%)
- ・西洋演劇発祥の地 7.7% (9.9%)
- ・ボランティア活動発祥の地 6.6% (6.6%)

【前回との比較】

- 前回調査から割合の増減はありますが、大きな変化はみられません。

設問24で「1. 知っている」、「2. 聞いたことはある」と回答された方にお伺いします。

【設問25】大分市が日本における南蛮文化発祥の地であることに関して、次のうち知っている、聞いたことがあるのはどれですか。（あてはまるものすべてに○）



	サンプル数	西洋音楽発祥の地	西洋演劇発祥の地	西洋美術発祥の地	ボランティア活動発祥の地	育児院、コレジオ(高等教育機関)の設立	その他	無回答	
全体	531	36.3	7.7	49.5	6.6	23.9	8.1	14.1	
年齢別	20歳代以下	26	30.8	3.8	38.5	11.5	19.2	11.5	15.4
	30歳代	51	39.2	2.0	33.3	5.9	17.6	9.8	17.6
	40歳代	85	30.6	3.5	40.0	7.1	23.5	15.3	17.6
	50歳代	98	31.6	13.3	52.0	8.2	28.6	7.1	10.2
	60歳代	134	40.3	7.5	53.7	5.2	23.1	6.7	11.2
	70歳以上	131	41.2	9.2	58.8	6.1	24.4	3.8	15.3
職業別	自営業	35	45.7	8.6	51.4	2.9	20.0	8.6	11.4
	専門職	22	36.4	9.1	59.1	4.5	27.3	9.1	9.1
	会社員	124	24.2	8.1	41.1	6.5	21.0	11.3	17.7
	公務員	41	63.4	7.3	51.2	4.9	31.7	2.4	7.3
	パート・アルバイト	61	29.5	6.6	44.3	8.2	18.0	8.2	18.0
	専業主婦・主夫	95	36.8	6.3	48.4	7.4	21.1	9.5	12.6
	無職	113	38.9	9.7	57.5	7.1	26.5	4.4	14.2
	その他	34	44.1	5.9	58.8	8.8	38.2	5.9	8.8

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

27 文化・芸術が盛んなまちという意識

大分市が文化・芸術が盛んなまちと思っているかどうかをみると、「思う」が1.4%、「ある程度思う」が32.5%、合計した『思う度』は33.9%、『思わない度』は50.5%（「あまり思わない」41.5% + 「思わない」9.0%）となっており、『思う度』より16.6ポイント多くなっています。

・ 思う	1.4%	(3.3%)
・ ある程度思う	32.5%	(38.4%)
『思う度』		33.9% (41.7%)
・ あまり思わない	41.5%	(37.7%)
・ 思わない	9.0%	(6.7%)
『思わない度』		50.5% (44.4%)

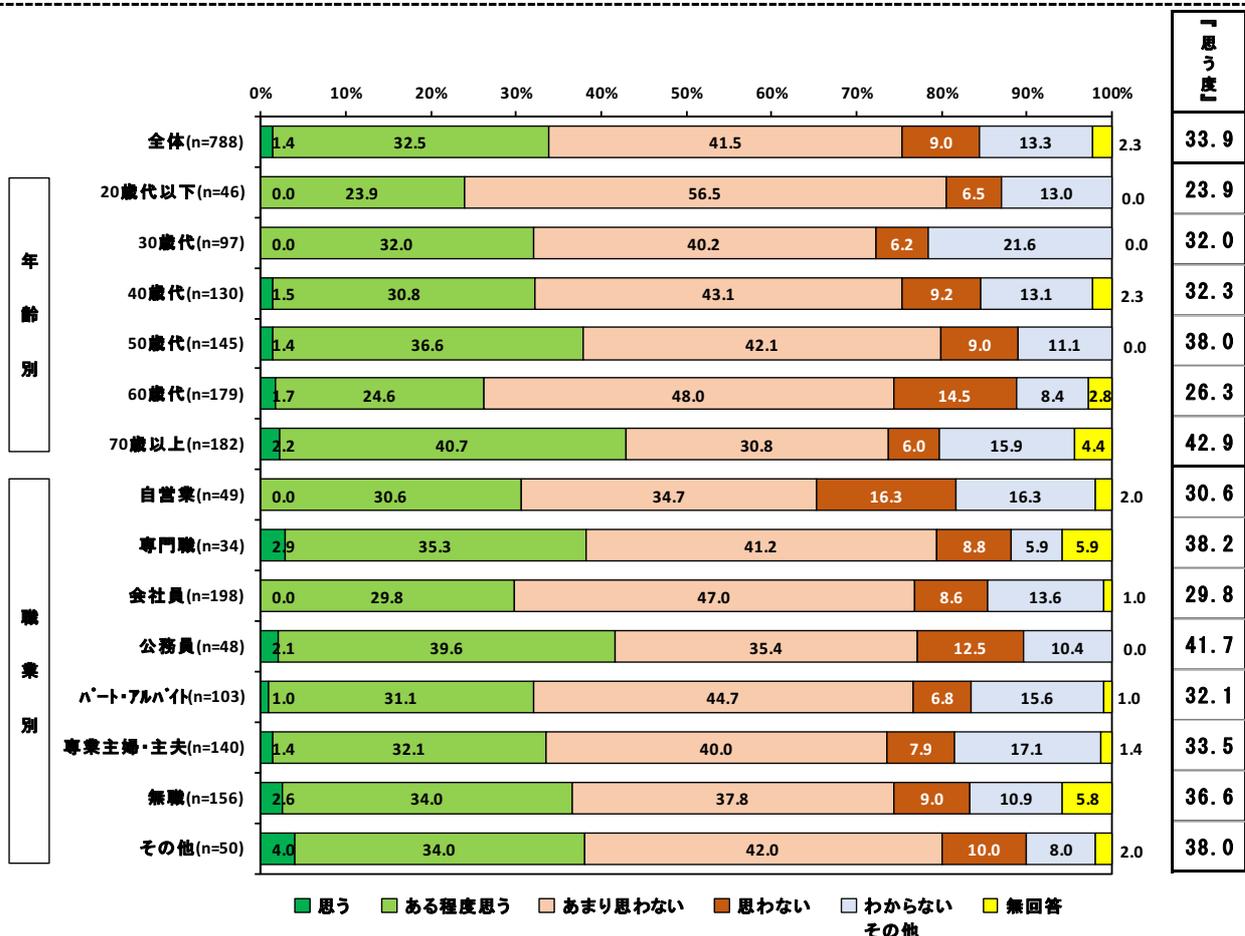
【前回との比較】

- 『思う度』が41.7%から33.9%に7.8ポイント減少し、『思わない度』が44.4%から50.5%に6.1ポイント増加しています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、『思う度』が『思わない度』を上回っているのは70歳代以上のみとなっています。中でも、20歳代以下で『思わない度』（63.0%）が『思う度』（23.9%）を39.1ポイント、60歳代で『思わない度』（62.5%）が『思う度』（26.3%）を36.2ポイントも上回っています。

【設問26】大分市は、文化・芸術が盛んなまちだと思いますか？（あてはまるもの1つに○）



28 文化・芸術が盛んなまちであると感じるところ

大分市の文化・芸術が盛んなまちであると感じるところとしては、「ホールや美術館など文化施設が充実している」が最も多くなっています。

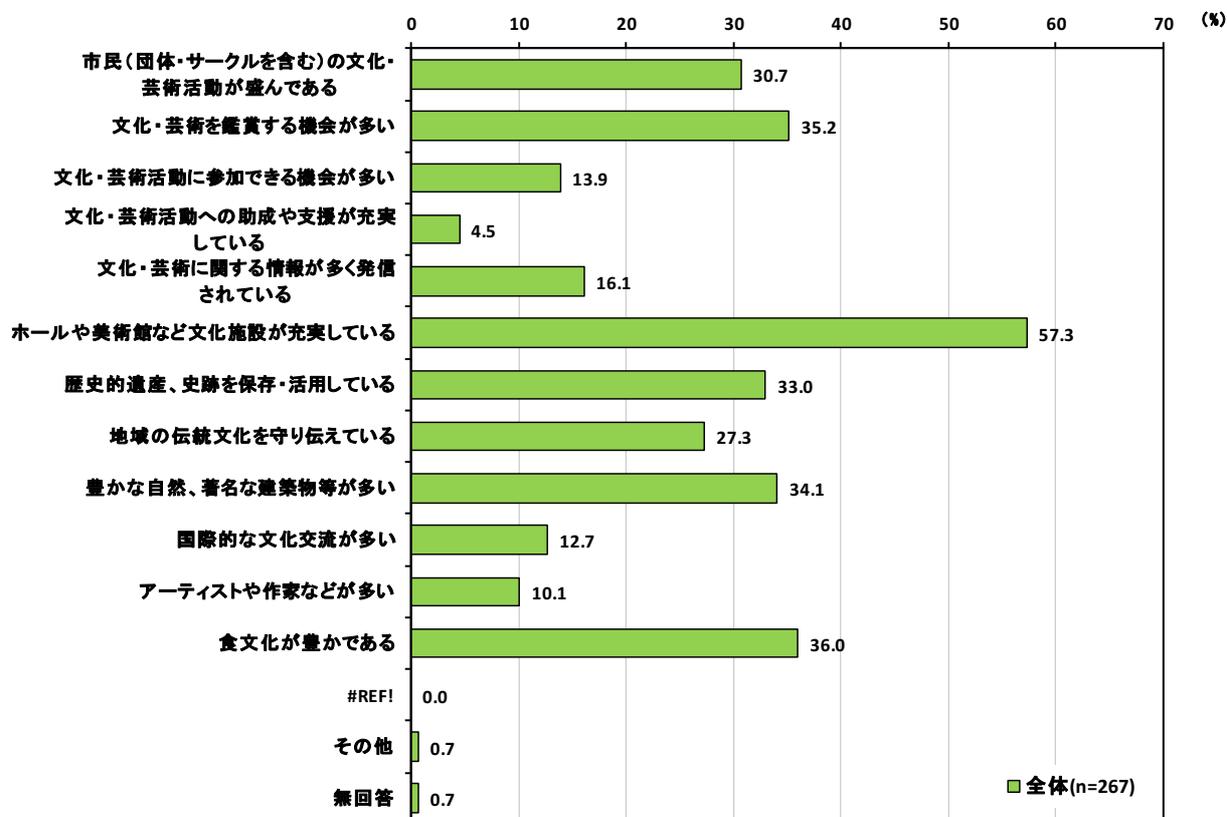
・ホールや美術館など文化施設が充実している	57.3% (63.0%)
・食文化が豊かである	36.0% (44.5%)
・文化・芸術を鑑賞する機会が多い	35.2% (37.0%)
・豊かな自然、著名な建築物等が多い	34.1% (30.0%)
・歴史的遺産、史跡を保存・活用している	33.0% (33.3%)

【前回との比較】

- 「ホールや美術館など文化施設が充実している」が63.0%から57.3%に5.7ポイント減、「食文化が豊かである」が44.5%から36.0%に8.5ポイント減と、上位2項目での減少が大きくなっています。

設問26で「1. 思う、2. ある程度思う」と回答された方にお伺いします。

【設問27】大分市の文化・芸術が盛んなまちであると感じるところは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



設問26で「1. 思う、2. ある程度思う」と回答された方にお伺いします。

【設問27】大分市の文化・芸術が盛んなまちであると感じるところは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	サンプル数	市民(団体・サークルを含む)の文化・芸術活動が盛んである	文化・芸術を鑑賞する機会が多い	文化・芸術活動に参加できる機会が多い	文化・芸術活動への助成や支援が充実している	文化・芸術に関する情報が多く発信されている	ホールや美術館など文化施設が充実している	歴史的遺産、史跡を保存・活用している	地域の伝統文化を守り伝えている	豊かな自然、著名な建築物等が多い	国際的な文化交流が多い	アーティストや作家などが多い	食文化が豊かである	その他	無回答	
全体	267	30.7	35.2	13.9	4.5	16.1	57.3	33.0	27.3	34.1	12.7	10.1	36.0	0.7	0.7	
年齢別	20歳代以下	11	18.2	27.3	9.1	9.1	0.0	54.5	27.3	0.0	18.2	9.1	0.0	27.3	0.0	0.0
	30歳代	31	25.8	29.0	12.9	9.7	12.9	61.3	51.6	22.6	29.0	12.9	19.4	32.3	0.0	0.0
	40歳代	42	21.4	45.2	14.3	0.0	11.9	57.1	26.2	23.8	16.7	9.5	16.7	28.6	2.4	0.0
	50歳代	55	23.6	29.1	18.2	5.5	14.5	63.6	25.5	21.8	40.0	14.5	7.3	25.5	0.0	0.0
	60歳代	47	31.9	36.2	12.8	8.5	17.0	48.9	34.0	23.4	44.7	19.1	8.5	48.9	0.0	0.0
	70歳以上	78	43.6	38.5	11.5	1.3	21.8	56.4	34.6	41.0	37.2	10.3	7.7	43.6	1.3	2.6
職業別	自営業	15	13.3	33.3	6.7	6.7	6.7	66.7	20.0	33.3	6.7	20.0	13.3	40.0	0.0	0.0
	専門職	13	23.1	46.2	30.8	7.7	0.0	69.2	30.8	23.1	30.8	23.1	7.7	30.8	0.0	0.0
	会社員	59	23.7	25.4	10.2	1.7	15.3	62.7	33.9	20.3	37.3	13.6	16.9	32.2	0.0	0.0
	公務員	20	35.0	25.0	25.0	5.0	15.0	55.0	30.0	15.0	20.0	10.0	5.0	20.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト	33	24.2	39.4	9.1	3.0	15.2	60.6	39.4	36.4	27.3	9.1	12.1	21.2	3.0	3.0
	専業主婦・主夫	47	46.8	42.6	17.0	6.4	14.9	59.6	23.4	21.3	42.6	10.6	8.5	44.7	0.0	2.1
	無職	57	26.3	42.1	5.3	3.5	28.1	50.9	36.8	36.8	40.4	10.5	7.0	40.4	1.8	0.0
	その他	19	47.4	31.6	36.8	10.5	10.5	47.4	42.1	21.1	36.8	21.1	5.3	52.6	0.0	0.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

29 文化施設の充実状況

大分市内の文化施設（公設、民間問わず）は充実していると思うかどうかをみると、「充実している」が5.1%、「ある程度充実している」が27.5%、合計した『充実度』は32.6%となっています。一方、『不足度』は14.4%（「やや不足している」8.9%+「不足している」5.5%）となっています。また、35.5%は「普通」としています。

・ 充実している	5.1% (10.9%)
・ ある程度充実している	27.5% (32.1%)
『充実度』 32.6% (43.0%)	
・ やや不足している	8.9% (8.0%)
・ 不足している	5.5% (5.1%)
『不足度』 14.4% (13.1%)	
・ 普通	35.5% (30.8%)
・ わからない・その他	14.6% (10.1%)

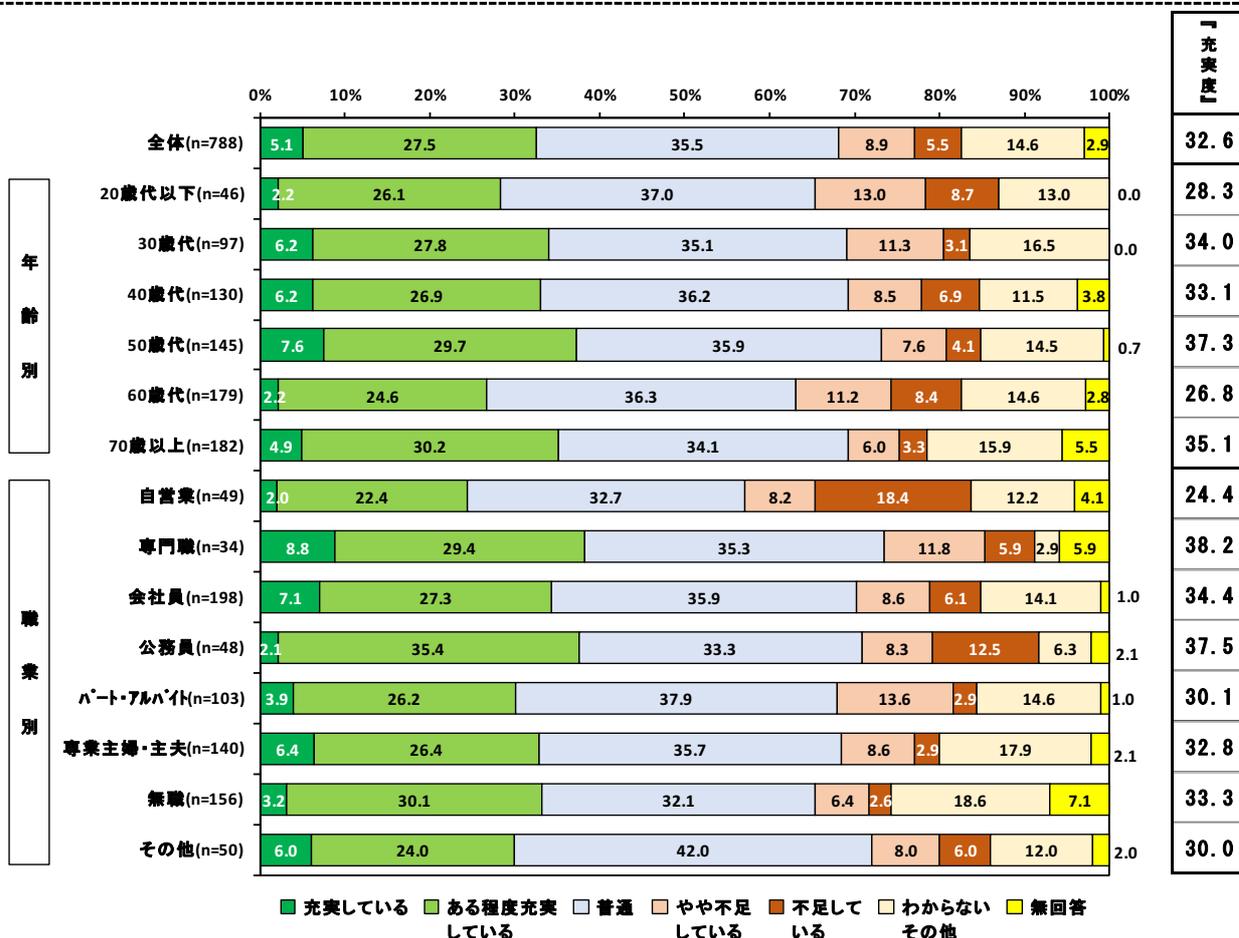
【前回との比較】

- 『充実度』が43.0%から32.6%に10.4ポイント減少していますが、『不足度』は前回調査と同程度で、『充実度』の減少は「普通」や「わからない・その他」が増えたことが影響しています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、20歳代以下、60歳代で『充実度』が2割台と少なくなっています。

【設問28】大分市内の文化施設（公設、民間問わず）は充実していると思いますか。（あてはまるもの1つに○）



30 文化施設の利用促進の方法

文化施設の利用を促進する方法としては、「施設利用等に関する情報発信を充実させる」が最も多く、次いで「文化・芸術事業や催し等の情報提供を充実させる」、「文化施設が身近な場所にできる（増える）」となっています。

- ・施設利用等に関する情報発信を充実させる …… 54.1% (52.5%)
- ・文化・芸術事業や催し等の情報提供を充実させる …… 42.3% (41.6%)
- ・文化施設が身近な場所にできる（増える） …… 40.5% (42.2%)
- ・全国的・国際的に著名な芸術家の作品や実演が鑑賞できる …… 32.0% (32.6%)
- ・多言語化、バリアフリー、Wi-Fi など文化・芸術行事や
文化施設の環境が整備される …… 22.7% (27.8%)

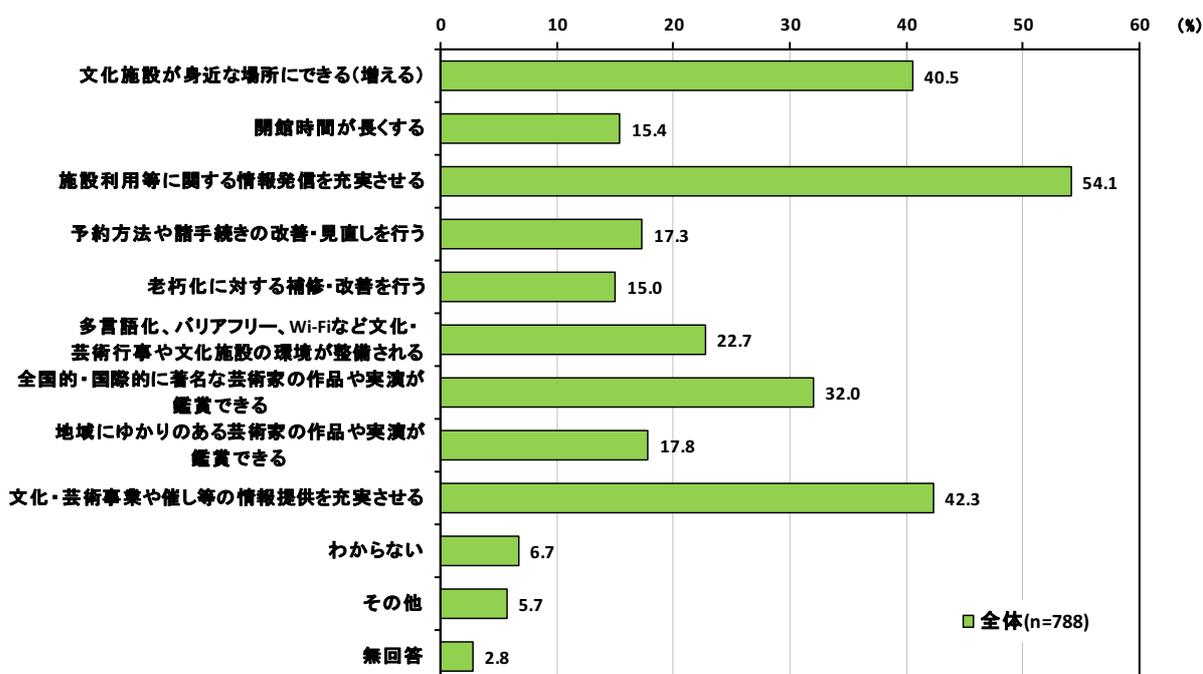
【前回との比較】

- 前回調査から割合の増減はありますが、大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、20 歳代以下では「文化施設が身近な場所にできる（増える）」(60.9%)、「多言語化、バリアフリー、Wi-Fi など文化・芸術行事や文化施設の環境が整備される」(47.8%) が他の年齢層に比べてかなり多くなっています。

【設問 30】 どうすれば文化施設の利用が促進されると思いますか。(あてはまるものすべてに○)



【設問30】 どうすれば文化施設の利用が促進されると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

	サンプル数	文化施設が身近な場所にできる(増える)	開館時間が長くなる	施設利用等に関する情報発信を充実させる	予約方法や諸手続きの改善・見直しを行う	老朽化に対する補修・改善を行う	多言語化、バリアフリー、Wi-Fiなど文化・芸術行事や文化施設の環境が整備される	全国的・国際的に著名な芸術家の作品や実演が鑑賞できる	地域にゆかりのある芸術家の作品や実演が鑑賞できる	文化・芸術事業や催し等の情報提供を充実させる	わからない	その他	無回答	
全体	788	40.5	15.4	54.1	17.3	15.0	22.7	32.0	17.8	42.3	6.7	5.7	2.8	
年齢別	20歳代以下	46	60.9	34.8	34.8	21.7	15.2	47.8	23.9	8.7	39.1	0.0	6.5	0.0
	30歳代	97	46.4	11.3	57.7	22.7	14.4	25.8	39.2	13.4	38.1	7.2	7.2	0.0
	40歳代	130	33.1	16.9	57.7	13.1	16.9	19.2	33.1	13.1	50.0	3.1	10.0	1.5
	50歳代	145	37.2	19.3	58.6	23.4	12.4	26.9	35.2	20.0	43.4	4.1	6.9	0.0
	60歳代	179	41.3	14.0	55.9	11.7	19.0	24.6	38.0	21.8	45.3	6.1	3.4	4.5
	70歳以上	182	41.2	10.4	50.0	17.0	12.6	13.2	20.9	20.3	36.3	12.6	3.3	5.5
職業別	自営業	49	40.8	24.5	57.1	18.4	24.5	24.5	34.7	26.5	36.7	8.2	6.1	2.0
	専門職	34	35.3	20.6	44.1	17.6	20.6	35.3	35.3	23.5	55.9	0.0	5.9	2.9
	会社員	198	35.9	18.7	58.6	19.2	12.6	28.3	32.3	14.1	42.4	5.1	8.1	1.5
	公務員	48	47.9	16.7	52.1	20.8	14.6	29.2	50.0	10.4	35.4	2.1	8.3	0.0
	パート・アルバイト	103	41.7	11.7	57.3	19.4	15.5	19.4	36.9	19.4	54.4	5.8	4.9	1.0
	専業主婦・主夫	140	45.0	7.9	50.7	12.1	16.4	19.3	27.9	15.7	40.0	7.1	3.6	3.6
	無職	156	35.9	12.8	51.3	13.5	13.5	14.7	25.6	19.9	36.5	12.2	4.5	6.4
	その他	50	52.0	26.0	52.0	24.0	8.0	28.0	30.0	24.0	42.0	4.0	6.0	2.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

31 主に利用している文化施設

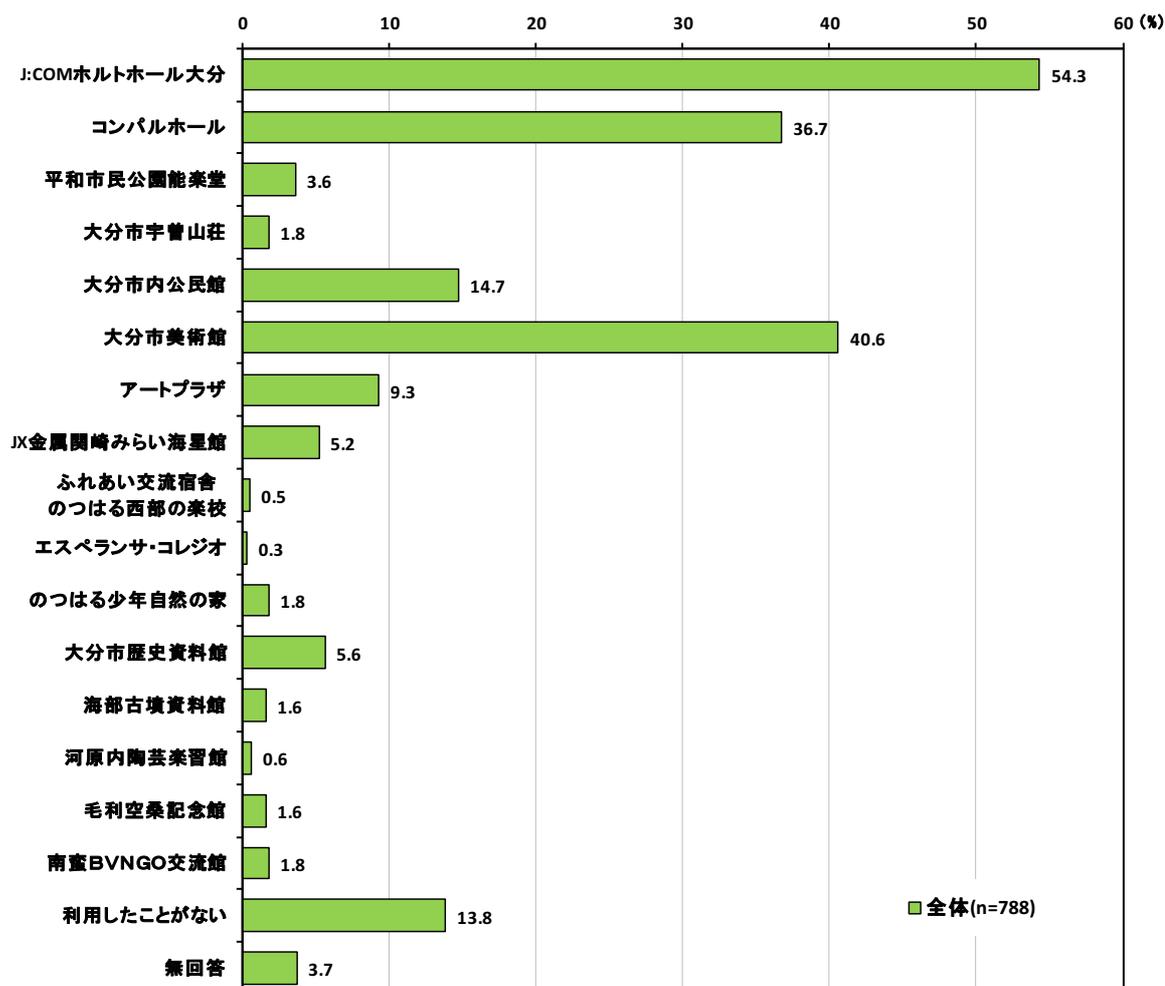
大分市の文化施設で主に利用している施設としては、「J:COM ホルトホール大分」、「大分市美術館」、「コンパルホール」の3つが多くなっています。

・ J:COM ホルトホール大分	54.3% (60.7%)
・ 大分市美術館	40.6% (43.6%)
・ コンパルホール	36.7% (43.1%)
・ 大分市内公民館	14.7% (15.7%)
・ アートプラザ	9.3% (13.0%)

【前回との比較】

- 「J:COM ホルトホール大分」が60.7%から54.3%、「コンパルホール」が43.1%から36.7%に、ともに6.4ポイント減少しています。

【設問31】以下の大分市の文化施設で主に利用しているのはどこですか。(最大3つまで○)



【設問31】以下の大分市の文化施設で主に利用しているのはどこですか。(最大3つまで○)

	サンプル数	J:COMホルトホール大分	コンパルホール	平和市民公園能楽堂	大分市宇曾山荘	大分市内公民館	大分市美術館	アートプラザ	JX金属関崎みらい海星館	ふれあい交流宿舎のつはる西部の楽校	エスペランサ・コレジオ	のつはる少年自然の家	大分市歴史資料館	海部古墳資料館	河原内陶芸楽習館	毛利空桑記念館	南蛮BVNGO交流館	利用したことがない	無回答	
全体	788	54.3	36.7	3.6	1.8	14.7	40.6	9.3	5.2	0.5	0.3	1.8	5.6	1.6	0.6	1.6	1.8	13.8	3.7	
年齢別	20歳代以下	46	58.7	39.1	0.0	2.2	6.5	26.1	2.2	8.7	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	19.6	0.0	
	30歳代	97	59.8	35.1	2.1	2.1	10.3	39.2	8.2	7.2	0.0	1.0	4.1	5.2	1.0	1.0	2.1	2.1	12.4	1.0
	40歳代	130	61.5	34.6	0.8	1.5	12.3	43.8	8.5	2.3	2.3	0.0	3.8	3.1	1.5	0.0	0.8	3.8	9.2	1.5
	50歳代	145	57.9	36.6	2.8	2.1	13.8	46.9	9.0	5.5	0.0	0.7	1.4	5.5	1.4	1.4	0.0	2.1	9.7	2.1
	60歳代	179	54.2	35.2	6.1	1.7	15.6	47.5	8.9	5.0	0.6	0.0	1.7	6.1	0.6	1.1	2.2	1.7	15.6	3.9
	70歳以上	182	44.5	40.7	5.5	1.1	21.4	31.3	12.1	5.5	0.0	0.0	0.0	7.7	3.3	0.0	3.3	0.5	17.0	7.7
職業別	自営業	49	53.1	40.8	10.2	0.0	16.3	51.0	20.4	2.0	0.0	2.0	12.2	4.1	0.0	0.0	4.1	10.2	0.0	
	専門職	34	67.6	38.2	0.0	0.0	5.9	47.1	17.6	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	2.9	8.8	2.9	
	会社員	198	54.0	28.3	3.0	1.5	7.6	42.9	1.0	4.5	0.5	0.0	1.0	5.6	0.5	1.0	1.0	4.0	15.7	2.5
	公務員	48	85.4	54.2	2.1	4.2	14.6	54.2	10.4	10.4	0.0	2.1	6.3	2.1	0.0	2.1	2.1	0.0	2.1	0.0
	パート・アルバイト	103	62.1	36.9	1.9	3.9	17.5	40.8	15.5	5.8	1.0	0.0	3.9	6.8	1.9	1.0	1.9	1.0	4.9	3.9
	専業主婦・主夫	140	51.4	37.9	2.9	0.7	22.1	42.1	7.9	3.6	1.4	0.0	0.7	4.3	0.7	0.7	3.6	0.0	13.6	5.0
	無職	156	41.7	37.8	5.1	0.6	15.4	30.8	9.0	7.1	0.0	0.0	0.6	6.4	3.2	0.0	1.9	0.6	23.1	6.4
	その他	50	50.0	44.0	2.0	4.0	18.0	30.0	16.0	6.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	2.0	16.0	2.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

【大分市内の公民館内訳】

- ・鶴崎(7) ・植田(7) ・大南(7) ・東部(7) ・南大分(7) ・西部(6)
- ・南部(6) ・坂ノ市(4) ・明治(4) ・野津原(3) ・大在(3) ・明野(2)
- ・大道(2) ・春日(以下1) ・佐賀関 ・桜坂 ・丹生 ・判田 ・富士見ヶ丘
- ・別保 ・曲 ・光吉台中央 ・八幡 ・吉野 ・東野台

32 施設の利用環境

施設の利用環境についてみると、「満足」が22.5%、「やや満足」が27.4%、合計した『満足度』は49.9%となっています。一方、『不満度』は7.5%（「やや不満」6.0%+「不満」1.5%）となっています。

また、「普通」は41.7%となっています。

・満足	22.5%	(23.6%)
・やや満足	27.4%	(30.7%)
『満足度』		49.9% (54.3%)
・やや不満	6.0%	(6.2%)
・不満	1.5%	(0.9%)
『不満度』		7.5% (7.1%)

【前回との比較】

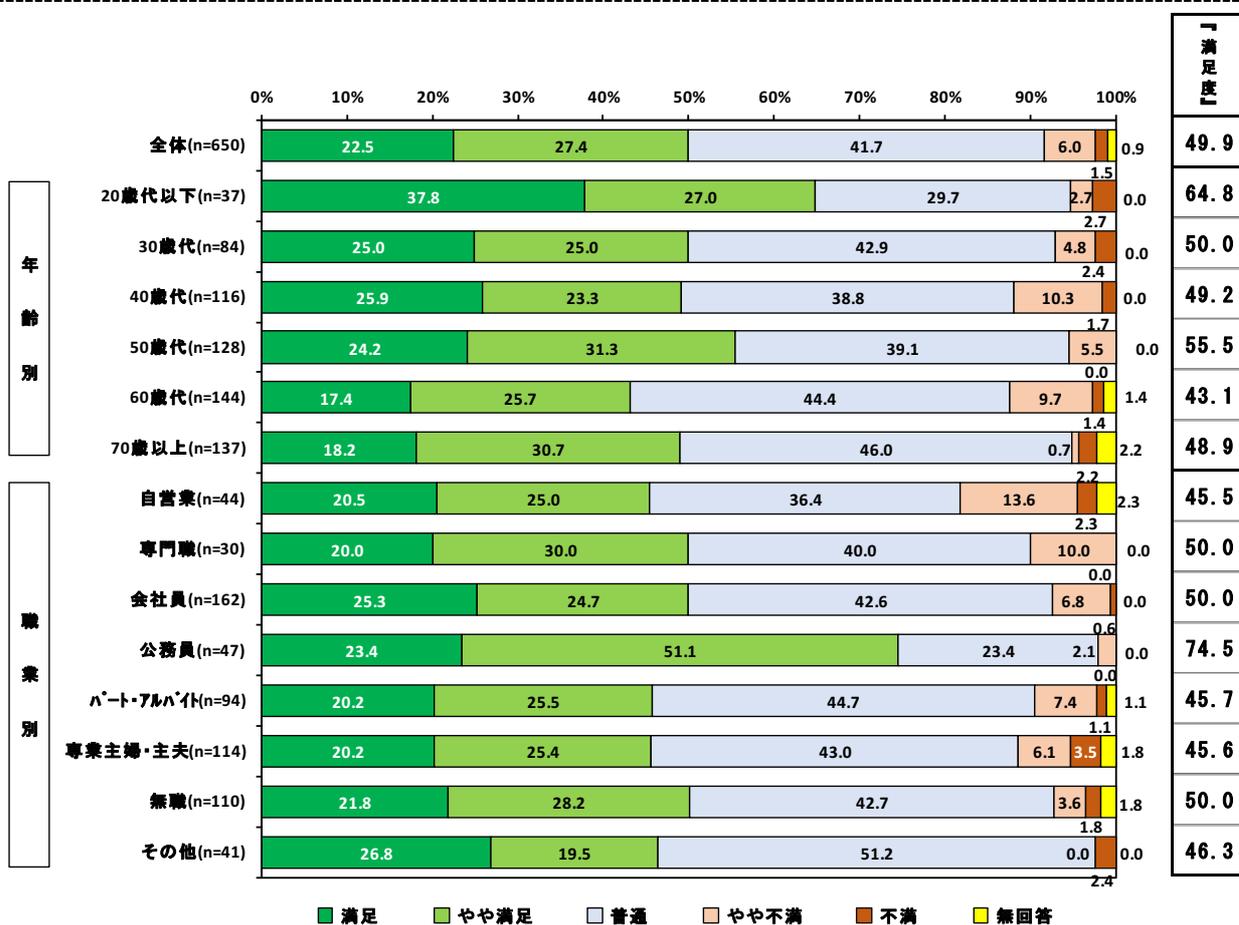
- 『満足度』は54.3%から49.9%に、4.4ポイント減少しています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、20歳代以下の『満足度』が64.8%と最も多く、60歳代の43.1%が最も少なくなっています。

設問31で利用していると回答された文化施設についてお伺いします。

【設問32】施設の利用環境はいかがですか。（あてはまるもの1つに○）



33 ユニバーサルデザインへの配慮

大分市の文化施設（ホールや美術館等）は、障がい者や高齢者が利用しやすいような、ユニバーサルデザインに配慮されていると思うかどうかについてみると、「思う」が9.4%、「ある程度思う」が47.8%、合計した『思う度』は57.2%となっています。一方、『思わない度』は9.3%（「あまり思わない」8.0%+「思わない」1.3%）となっています。

また、「わからない・その他」が29.7%となっています。

・ 思う	9.4%	(7.8%)
・ ある程度思う	47.8%	(45.8%)
『思う度』		57.2% (53.6%)
・ あまり思わない	8.0%	(10.0%)
・ 思わない	1.3%	(2.0%)
『思わない度』		9.3% (12.0%)

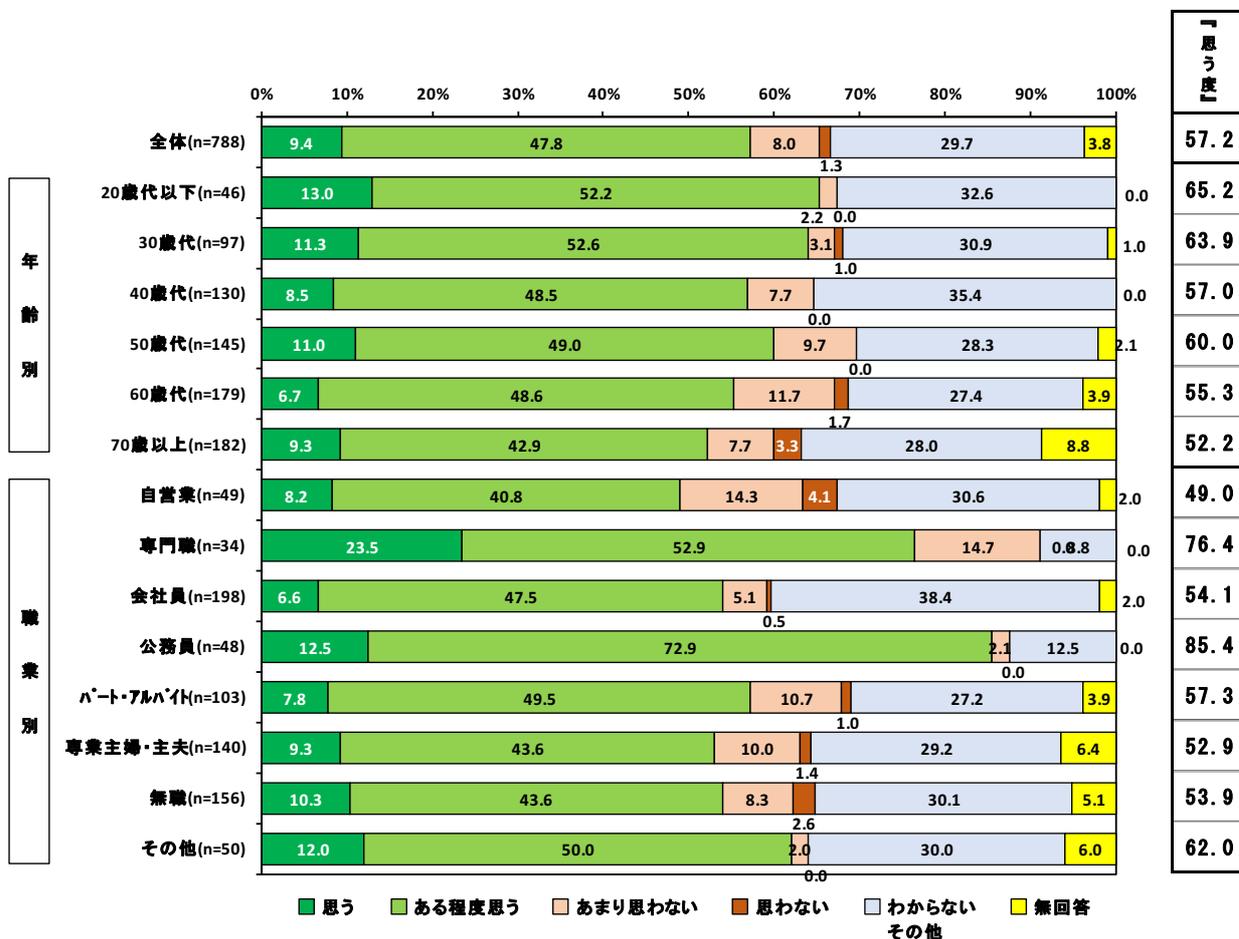
【前回との比較】

- 前回調査から割合の増減はありますが、大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、20歳代以下で『思う度』が65.2%と最も多く、60歳代で55.3%と最も少なくなっています。

【設問33】 大分市の文化施設（ホールや美術館等）は、障がい者や高齢者が利用しやすいような、ユニバーサルデザインに配慮されていると思いますか。（あてはまるもの1つに○）



34 文化・芸術施策で充実させてほしい分野

大分市の文化・芸術施策で充実させてほしい分野としては、「ポピュラー音楽（ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲など）」をはじめとして、「食文化（食イベント、郷土料理など）」、「美術（絵画、彫刻、工芸、デザイン、写真など）」などが多くあげられています。

・ポピュラー音楽（ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲など）	38.1%	(32.1%)
・食文化（食イベント、郷土料理など）	37.7%	(36.5%)
・美術（絵画、彫刻、工芸、デザイン、写真など）	36.5%	(30.6%)
・メディア芸術（映画、漫画、アニメーションなど）	28.4%	(22.4%)
・演劇（現代劇、ミュージカルなど）	27.7%	(23.6%)

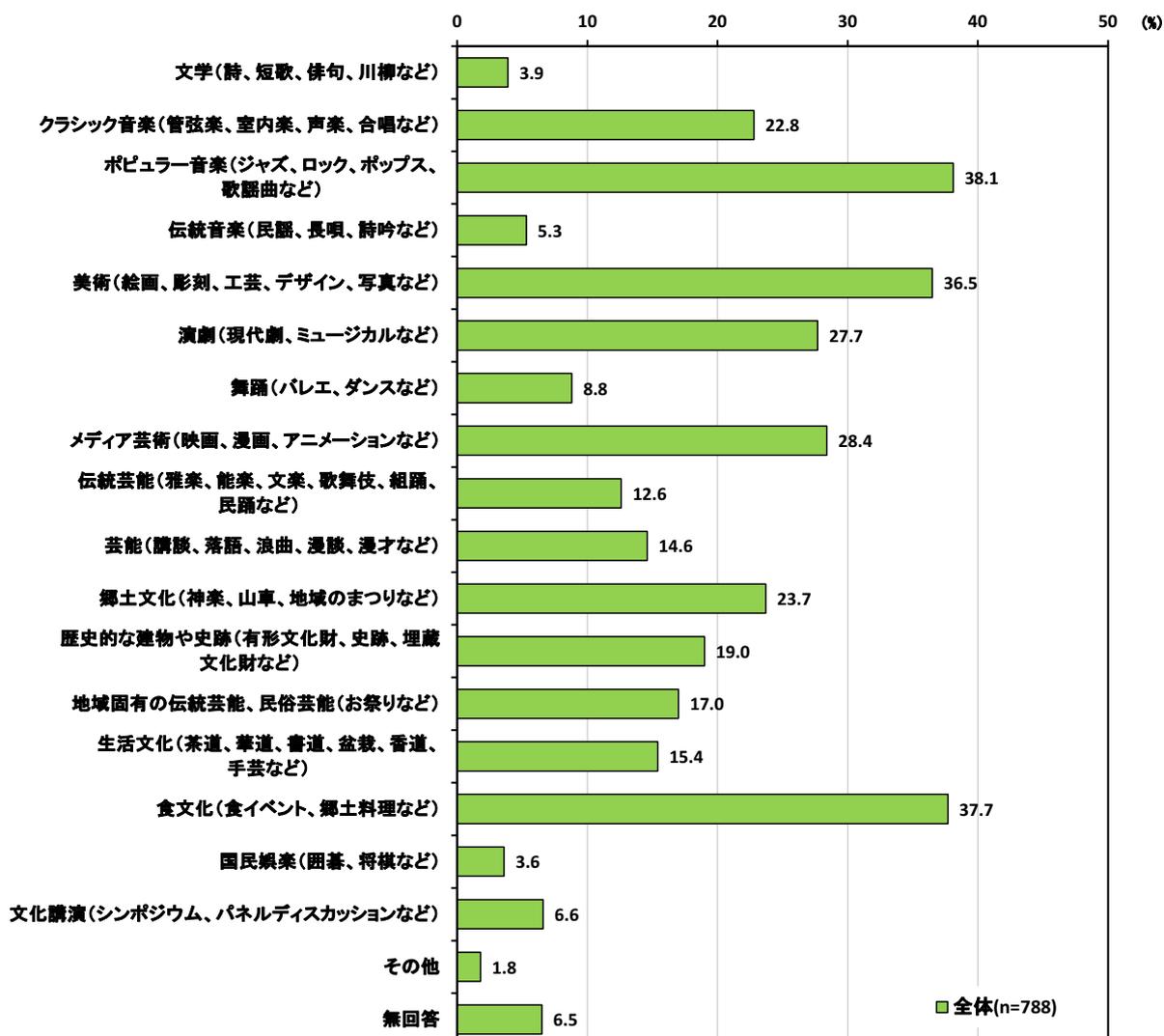
【前回との比較】

- 前回調査から割合の増減はありますが、大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、年齢が低いほど「メディア芸術（映画、漫画、アニメーションなど）」は多く、20歳代以下では52.2%と半数を超えています。

【設問35】大分市の文化・芸術施策で、あなたが充実させてほしい分野は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



【設問35】大分市の文化・芸術施策で、あなたが充実させてほしい分野は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	サンプル数	文学(詩、短歌、俳句、川柳など)	クラシック音楽(管弦楽、室内楽、声楽、合唱など)	ポピュラー音楽(ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲など)	伝統音楽(民謡、長唄、詩吟など)	美術(絵画、彫刻、工芸、デザイン、写真など)	演劇(現代劇、ミュージカルなど)	舞踊(バレエ、ダンスなど)	メディア芸術(映画、漫画、アニメーションなど)	伝統芸能(雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊、民謡など)	芸能(講談、落語、浪曲、漫談、漫才など)	郷土文化(神楽、山車、地域のまつりなど)
全体	788	3.9	22.8	38.1	5.3	36.5	27.7	8.8	28.4	12.6	14.6	23.7
年齢別	20歳代以下	46	6.5	19.6	41.3	2.2	30.4	32.6	10.9	52.2	17.4	15.2
	30歳代	97	3.1	23.7	40.2	6.2	38.1	30.9	9.3	43.3	9.3	18.6
	40歳代	130	2.3	25.4	45.4	4.6	39.2	24.6	11.5	38.5	16.2	33.8
	50歳代	145	2.1	20.7	49.0	3.4	37.2	33.8	9.7	33.8	6.9	15.9
	60歳代	179	3.4	25.7	37.4	1.7	41.9	32.4	9.5	24.0	11.2	26.3
	70歳以上	182	7.1	21.4	24.7	11.0	29.7	18.7	4.9	8.8	17.0	25.3
職業別	自営業	49	6.1	16.3	36.7	4.1	44.9	28.6	12.2	30.6	14.3	38.8
	専門職	34	5.9	44.1	58.8	8.8	47.1	55.9	26.5	29.4	17.6	35.3
	会社員	198	3.5	18.7	42.9	4.0	36.4	29.8	7.1	40.9	10.6	22.7
	公務員	48	4.2	41.7	41.7	2.1	41.7	27.1	12.5	31.3	10.4	16.7
	パート・アルバイト	103	3.9	21.4	42.7	3.9	38.8	30.1	14.6	25.2	12.6	23.3
	専業主婦・主夫	140	3.6	23.6	35.7	4.3	30.0	32.1	5.7	22.9	11.4	17.9
	無職	156	3.8	21.2	30.1	8.3	35.3	17.9	5.8	15.4	14.1	25.6
	その他	50	4.0	24.0	26.0	4.0	38.0	18.0	4.0	36.0	18.0	24.0

	サンプル数	歴史的な建物や史跡(有形文化財、史跡、埋蔵文化財など)	地域固有の伝統芸能、民俗芸能(お祭りなど)	生活文化(茶道、華道、書道、盆栽、香道、手芸など)	食文化(食イベント、郷土料理など)	国民娯楽(囲碁、将棋など)	文化講演(シンポジウム、パネルディスカッションなど)	スポーツ(プロスポーツ、選手と交流、生涯スポーツ・競技スポーツへの支援など)	その他	無回答
全体	788	19.0	17.0	15.4	37.7	3.6	6.6	1.8	6.5	9.6
年齢別	20歳代以下	46	15.2	17.4	19.6	41.3	2.2	0.0	0.0	-
	30歳代	97	16.5	19.6	15.5	47.4	3.1	1.0	5.2	4.9
	40歳代	130	20.8	17.7	17.7	48.5	6.2	4.6	2.3	1.5
	50歳代	145	22.8	11.7	12.4	38.6	0.7	5.5	3.4	7.6
	60歳代	179	19.0	16.8	16.2	32.4	3.4	10.1	2.2	9.3
	70歳以上	182	17.0	19.8	14.8	29.1	4.4	10.4	3.3	13.2
職業別	自営業	49	28.6	18.4	12.2	28.6	2.0	10.2	2.0	3.6
	専門職	34	20.6	11.8	23.5	47.1	0.0	5.9	2.9	-
	会社員	198	17.7	14.6	11.6	41.9	1.0	1.0	1.5	7.3
	公務員	48	18.8	12.5	12.5	33.3	10.4	4.2	2.1	-
	パート・アルバイト	103	16.5	23.3	19.4	44.7	2.9	7.8	1.9	8.5
	専業主婦・主夫	140	17.9	16.4	17.9	40.0	2.9	10.0	2.1	11.2
	無職	156	21.2	16.7	14.7	28.8	7.7	9.6	1.3	17.1
	その他	50	20.0	20.0	18.0	34.0	0.0	8.0	2.0	4.7

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

35 文化・芸術を鑑賞、活動しやすい曜日・時間帯

鑑賞、活動とも、土曜日、日曜日・祝祭日は「午後」が最も多いが、平日は「夜間」が最も多くなっている。

鑑 賞	活 動
《平日》 ・午前 …………… 15.9% (13.7%) ・午後 …………… 17.4% (21.9%) ・夜間 …………… 17.9% (17.7%) 《土曜日》 ・午前 …………… 14.3% (13.1%) ・午後 …………… 32.0% (32.7%) ・夜間 …………… 7.7% (7.8%) 《日曜日・祝祭日》 ・午前 …………… 18.3% (18.1%) ・午後 …………… 28.7% (32.7%) ・夜間 …………… 3.7% (3.5%)	《平日》 ・午前 …………… 13.8% (13.7%) ・午後 …………… 13.8% (17.6%) ・夜間 …………… 17.8% (16.8%) 《土曜日》 ・午前 …………… 13.3% (14.2%) ・午後 …………… 23.7% (24.4%) ・夜間 …………… 8.1% (7.5%) 《日曜日・祝祭日》 ・午前 …………… 15.5% (17.8%) ・午後 …………… 21.8% (23.5%) ・夜間 …………… 4.6% (3.3%)

【前回との比較】

- 前回調査から割合の増減はありますが、大きな変化はみられません。

また、ご自身の長期休暇や子どもの夏休みなどで、文化・芸術を鑑賞、または活動しやすい時期はありますか。(ご自由にお書きください)

《期間について》

- ・夏休み (36) ・冬休み (14) ・春休み (11) ・GW (10) ・秋 (9) ・春 (5)
- ・盆 (5) ・年始年末 (4) ・長期休暇 (3) ・正月 (2)

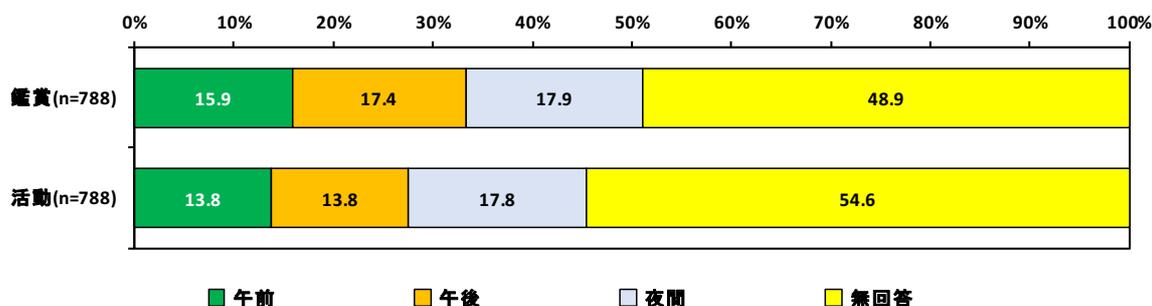
《具体的理由の記入のあったもの》(抜粋)

- ・ ゴールデンウィークは周りが外へ行動するので、なるべく遠くに行かず近場でどこか出かけようと考えてるので、家族と一緒に行動できるゴールデンウィークです。
- ・ ゴールデンウィークや学校休みの時など連れて行っているが、市報などの募集では人数が限られているので、野外のフリー参加イベントを増やしてほしい。例えば空き缶を使った楽器作り、手形アートなど。
- ・ シニア世代なのでお子様の夏冬休み以外の人の少ない時期に行きたいと思います。
- ・ 休みの日に何か面白そうなのをやっているならば見に行く。
- ・ 夏季は夏バテしやすいので動きづらいが冬季は比較的活動しやすい。
- ・ 夏休みなど長期休暇を利用したプログラムがよいと思う。子どもが興味を示さないとダメだし、宿題もあったり、部活動もあったりしてなかなか難しい部分もある。
- ・ 夏休みは連れて行きやすい子と共に。私だけの場合は夜間が活動しやすい。
- ・ 鑑賞については特に秋に多くしてもらいたい。活動は今のところ考えていません。
- ・ 仕事中心の日々退職すればやりたいことはありますが今は多忙のため余裕がありません。
- ・ 子どもの夏休み時期等は、鑑賞、活動する機会がある。子どもの課題の中に、鑑賞活動、文化施設の活用が含まれると利用に繋がる。
- ・ 子どもの休みに併せて、ある程度活動しやすい時期に文化に触れさせたい。
- ・ 弱者高齢者にはしのぎやすい時期、季節がよい。

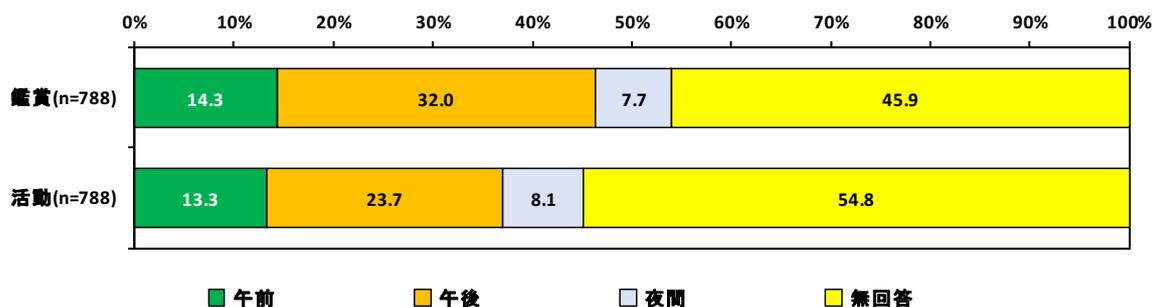
- 主に日曜日が休みなので週末中心が活動しやすい。午後に仕事が終わった以降の方がよい。
- 就労世代が休みの日に貴重な時間をなかなか文化や芸術に充てられない。短時間になりがち。
- 親の介護をしているので、仕事休みでゆっくり午後から。
- 世間一般の連休と仕事の連休が同じなので、その時期は人混みを避けるために鑑賞は控えて、活動や他のことをして過ごします。普通の休日の方が鑑賞も活動もしやすいです。
- 土・日が仕事なのでイベント参加出来ない。平日にもイベントしてほしい。
- 冬だと外出しにくいので暖かい季節だと鑑賞しようかなと思います。
- 当日先着順の少人数参加枠は交通手段等の問題で諦めることが多くあるため、大きな広場等で途中から通りすがりでも参加しやすいものは、日時間問わず助かる。よく利用できる。
- 平日の休みにも活動できるといいと思う。子どもは土日だが金曜日の夕方もよいと思う。
- 保育園や学校行事、年度初めと末以外がよい
- 忙しくてもどうしても見ておきたい、聴いておきたいものは出て行くので、時期、時間はあまり関係ありません。

【設問36】 文化・芸術を鑑賞、または活動する場合、どの曜日及び時間帯が鑑賞、活動しやすいですか。(鑑賞、活動それぞれ最も多いケースの番号1つに○)

《平日》



《土曜日》



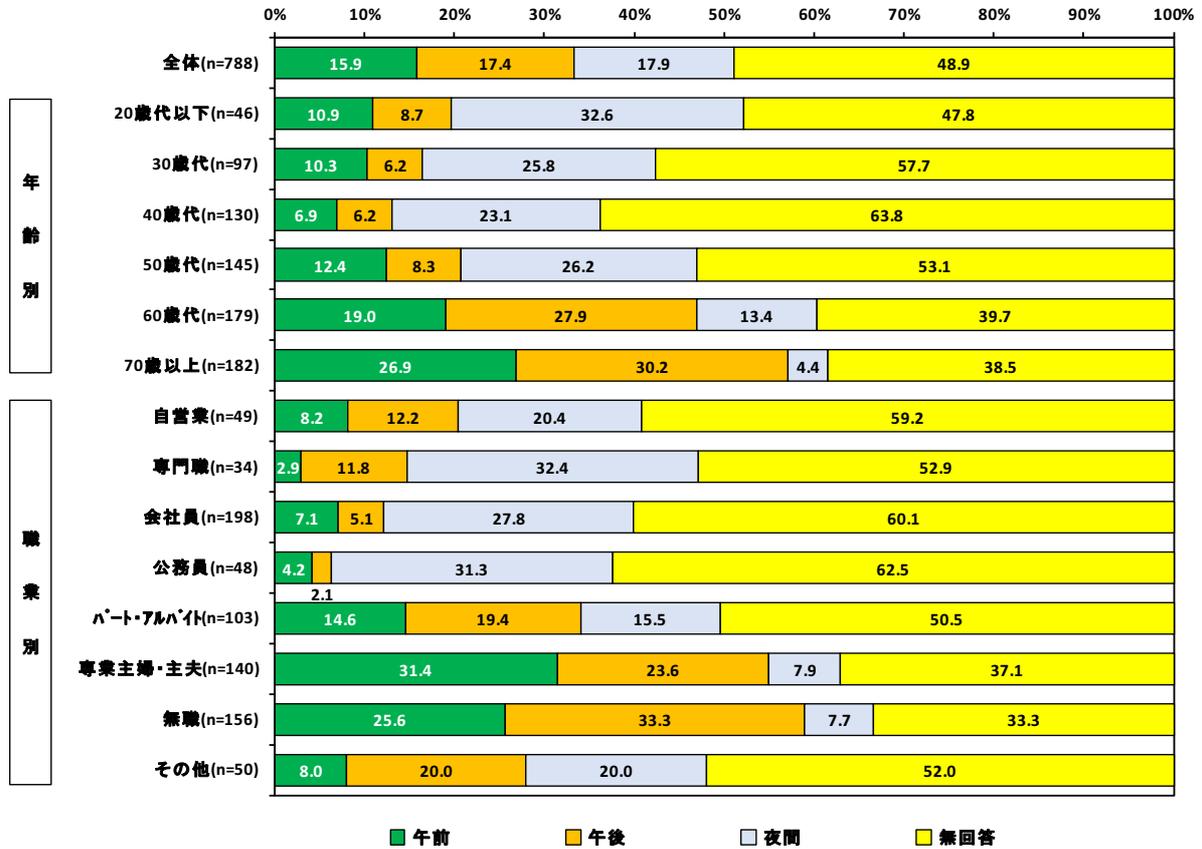
《日曜日・祝日》



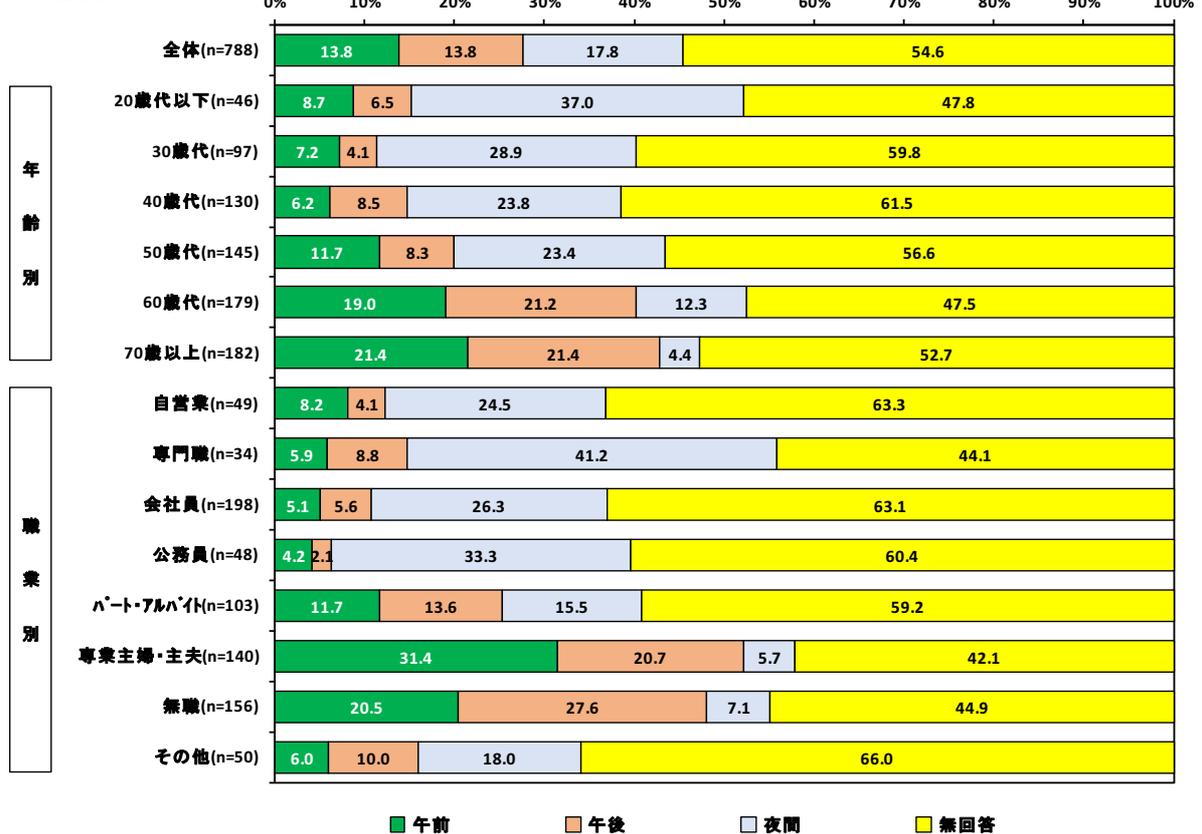
【設問36】 文化・芸術を鑑賞、または活動する場合、どの曜日及び時間帯が鑑賞、活動しやすいですか。(鑑賞、活動それぞれ最も多いケースの番号1つに○)

〈平日〉

■ 鑑賞

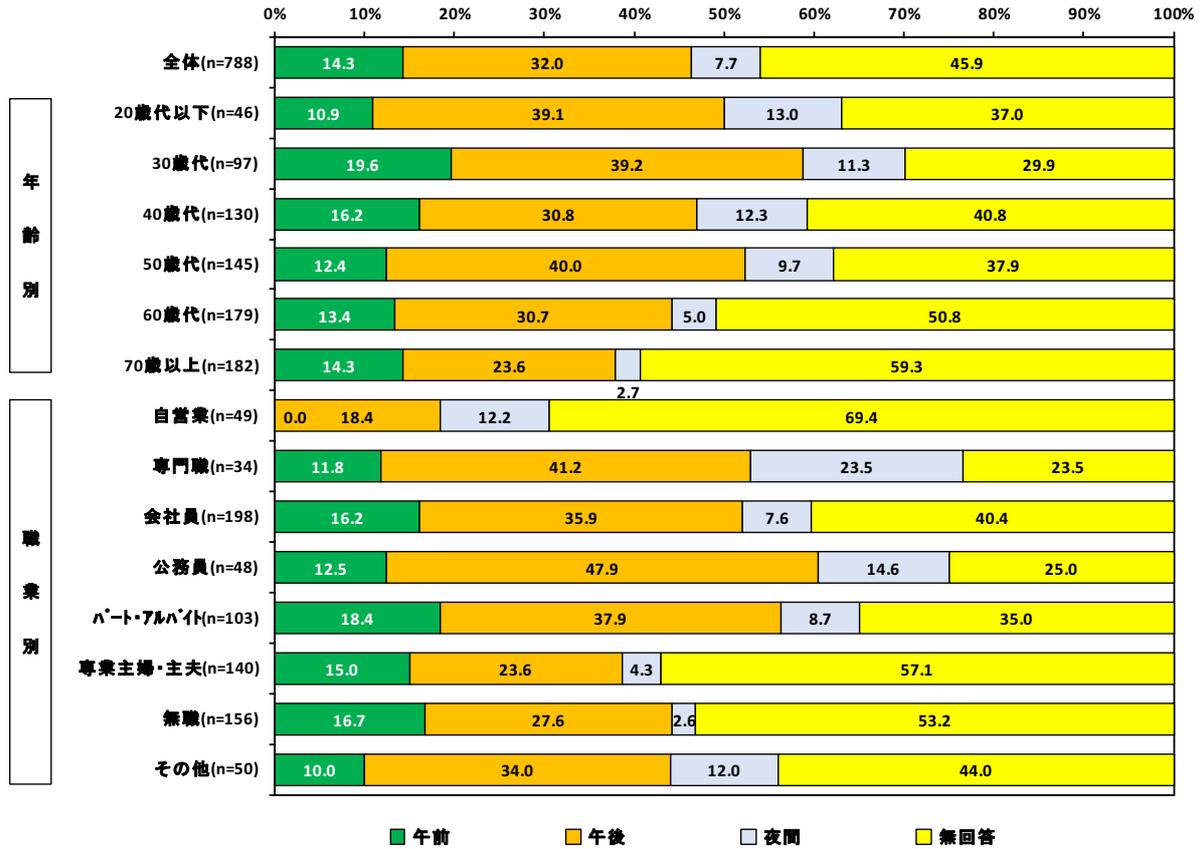


■ 活動

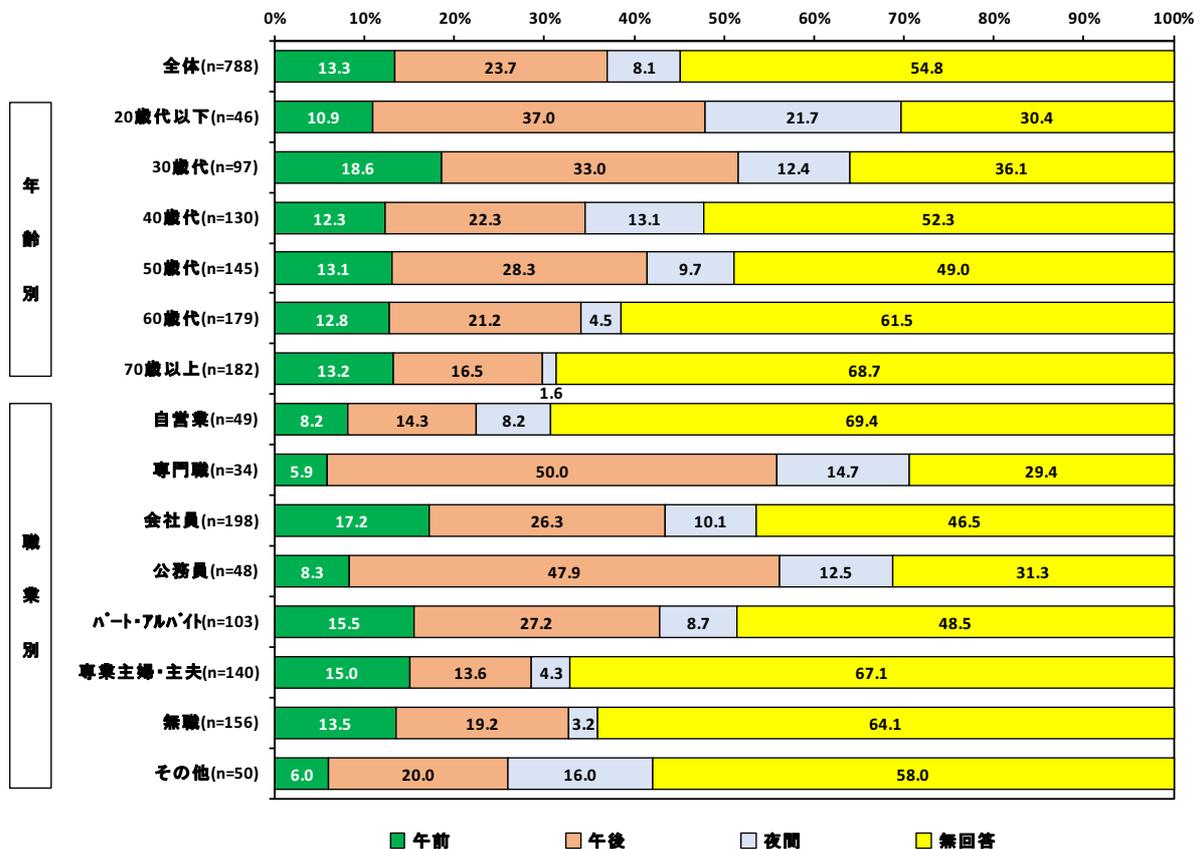


〈土曜日〉

■ 鑑賞

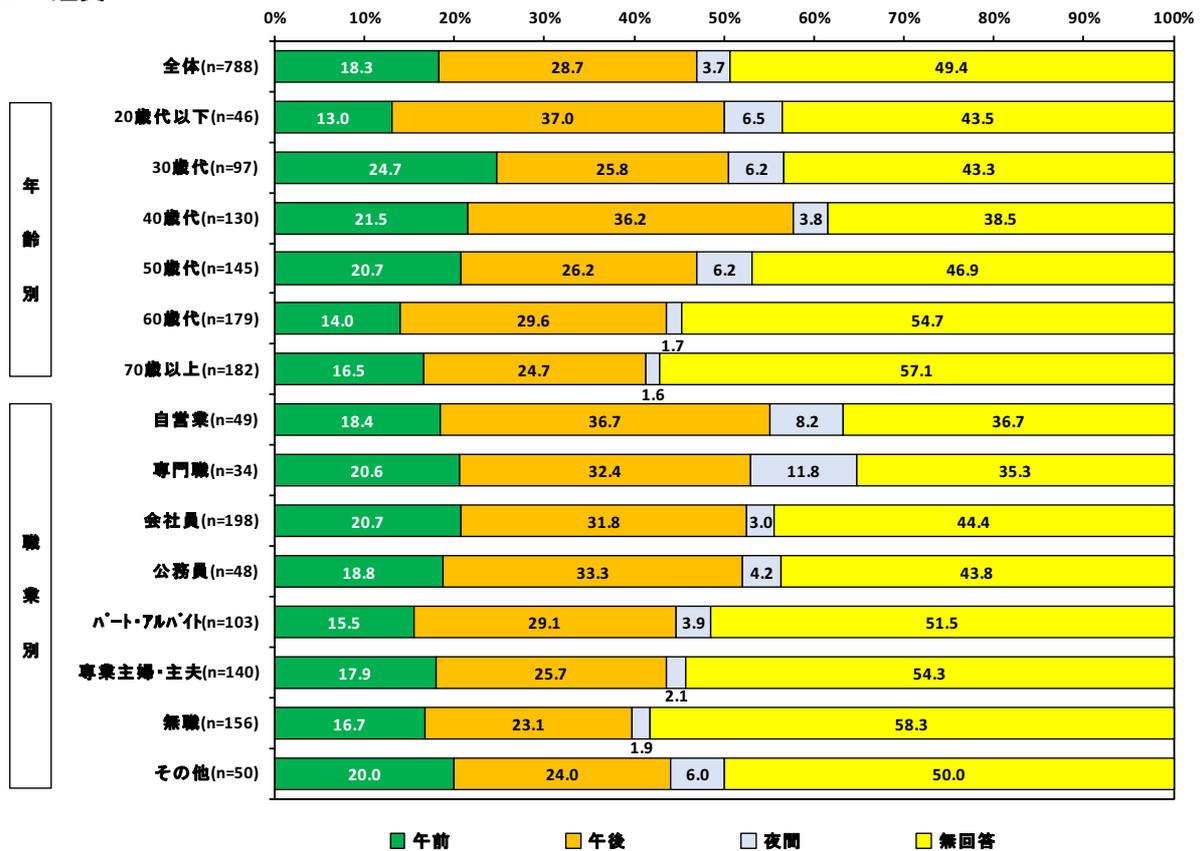


■ 活動

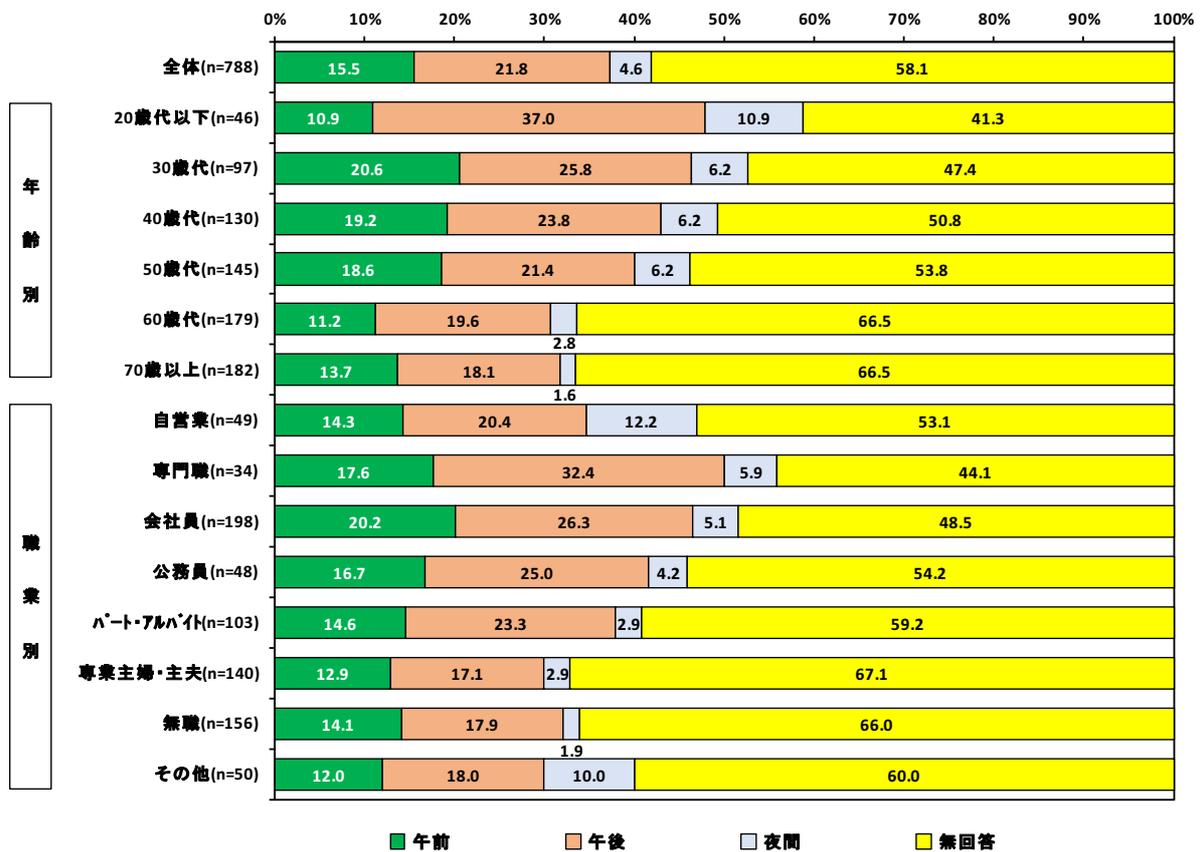


〈日曜日・祝日〉

■ 鑑賞



■ 活動



36 文化・芸術がもっと盛んになるため市が行うべきこと

市民の文化・芸術がもっと盛んになるために行うべきこととしては、「音楽会、公演、展覧会など身近で気軽に参加できる文化・芸術イベントの充実」が半数を超え最も多くなっています。

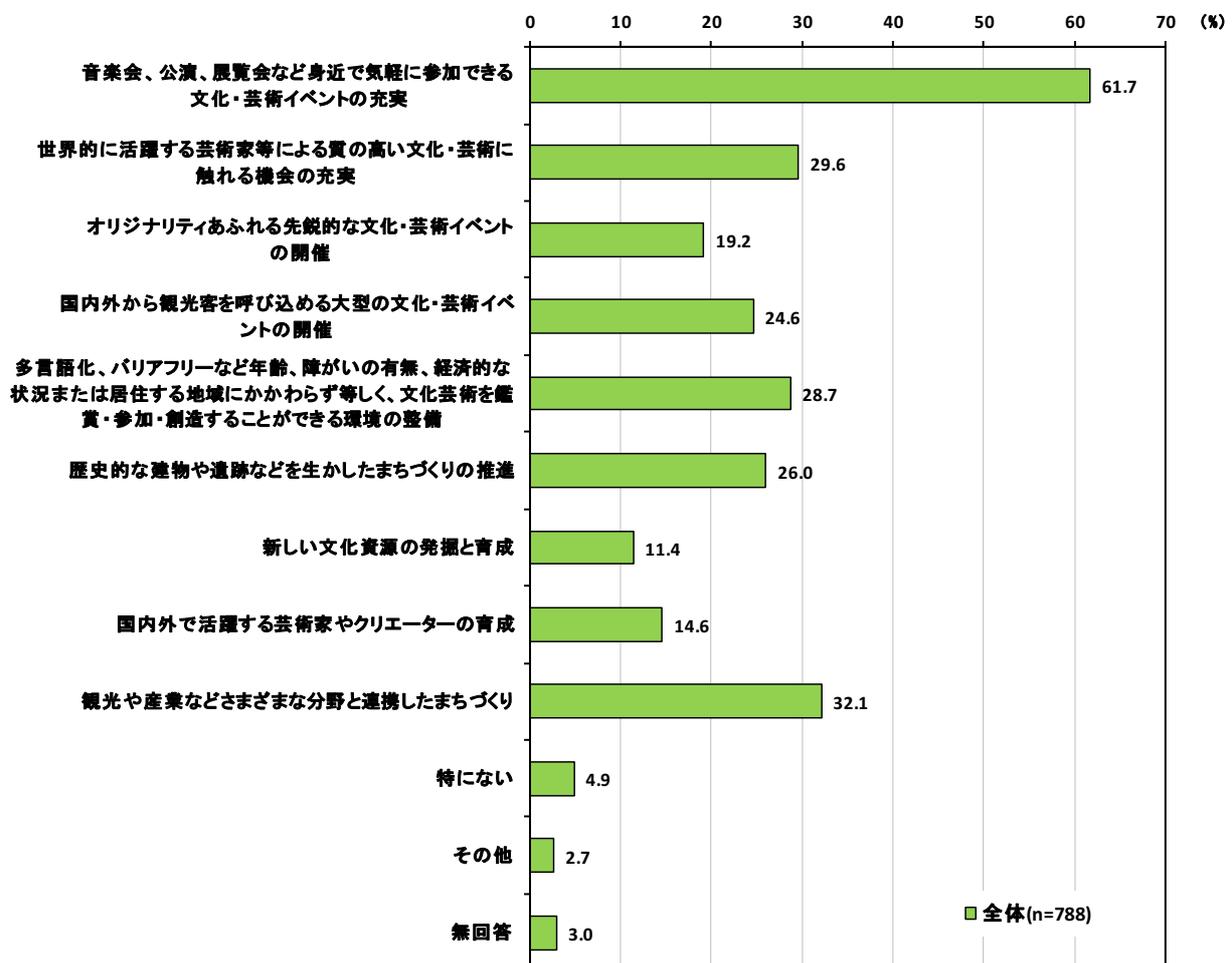
- ・ 音楽会、公演、展覧会など身近で気軽に参加できる
文化・芸術イベントの充実 …………… 61.7% (58.4%)
- ・ 観光や産業などさまざまな分野と連携したまちづくり …………… 32.1% (32.2%)
- ・ 世界的に活躍する芸術家等による質の高い文化・芸術に
触れる機会の充実 …………… 29.6% (30.6%)
- ・ 多言語化、バリアフリーなど年齢、障がいの有無、経済的な状況または居住する地域にかかわらず
等しく、文化芸術を鑑賞・参加・創造することができる環境の整備 …………… 28.7% (27.1%)
- ・ 歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進 …………… 26.0% (26.0%)

【前回との比較】

- 前回調査から割合の増減はありますが、大きな変化はみられません。

【設問37】市民の文化・芸術がもっと盛んになるために、大分市が何を行うべきだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)



【設問37】市民の文化・芸術がもっと盛んになるために、大分市が何を行うべきだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

	サンプル数	音楽会、公演、展示会など身近で気軽に参加できる文化・芸術イベントの充実	世界的に活躍する芸術家等による質の高い文化・芸術に触れる機会の充実	オリジナルテイあふれる先鋭的な文化・芸術イベントの開催	国内外から観光客を呼び込める大型の文化・芸術イベントの開催	多言語化、バリアフリーなど年齢、障がいの有無、経済的な状況または居住する地域にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞・参加・創造することができる環境の整備	歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進	新しい文化資源の発掘と育成	国内外で活躍する芸術家やクリエイターの育成	観光や産業などさまざまな分野と連携したまちづくり	特になし	その他	無回答	
全体	788	61.7	29.6	19.2	24.6	28.7	26.0	11.4	14.6	32.1	4.9	2.7	3.0	
年齢別	20歳代以下	46	63.0	28.3	26.1	30.4	34.8	15.2	8.7	8.7	23.9	2.2	2.2	0.0
	30歳代	97	54.6	36.1	24.7	23.7	18.6	23.7	17.5	19.6	29.9	6.2	3.1	0.0
	40歳代	130	62.3	32.3	23.8	27.7	25.4	31.5	10.8	16.9	30.8	3.8	6.9	0.8
	50歳代	145	62.8	33.1	26.9	30.3	29.7	26.9	8.3	15.2	33.1	2.1	1.4	0.0
	60歳代	179	62.0	30.7	14.0	22.3	30.2	28.5	11.2	14.5	36.3	5.0	1.7	5.6
	70歳以上	182	64.3	21.4	11.0	19.2	33.0	23.6	11.5	12.1	32.4	7.7	1.6	6.0
職業別	自営業	49	57.1	30.6	20.4	24.5	22.4	30.6	10.2	16.3	30.6	10.2	6.1	0.0
	専門職	34	76.5	47.1	32.4	38.2	32.4	35.3	17.6	20.6	44.1	0.0	0.0	0.0
	会社員	198	59.6	29.8	23.7	28.3	22.7	25.3	13.6	14.1	29.3	4.0	3.0	0.5
	公務員	48	64.6	45.8	29.2	27.1	20.8	25.0	14.6	25.0	33.3	2.1	6.3	0.0
	パート・アルバイト	103	66.0	33.0	26.2	28.2	33.0	23.3	8.7	21.4	35.9	3.9	1.9	3.9
	専業主婦・主夫	140	65.0	31.4	11.4	15.7	34.3	22.9	6.4	12.9	28.6	4.3	0.0	5.0
	無職	156	59.0	19.2	10.9	21.8	33.3	27.6	14.1	8.3	34.0	7.7	2.6	6.4
	その他	50	54.0	24.0	16.0	26.0	26.0	28.0	8.0	14.0	32.0	4.0	6.0	4.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)

37 文化・芸術を活かした方が良いと感じる分野

文化・芸術を活かした方が良いと感じる分野としては、「観光（まち歩き、文化財・史跡や食文化を活用した誘客増加など）」が最も多く、次いで「まちづくり（まちなかの活性化や景観を生かすことを目的としたイベントの開催、地域行事の開催など）」となっています。

- ・観光（まち歩き、文化財・史跡や食文化を活用した誘客増加など） …… 58.4% (55.8%)
- ・まちづくり（まちなかの活性化や景観を生かすことを目的としたイベントの開催、地域行事の開催など） …… 53.6% (49.4%)
- ・子育て・教育（学校での出張公演、大学との連携など） …… 40.6% (37.2%)
- ・健康づくり（体操、魅力的な街並みでのウォーキング、森林セラピーなど） ・ 36.9% (38.9%)
- ・福祉（障がい者の文化・芸術活動の促進、高齢者の生きがいづくりなど） …… 33.4% (34.0%)

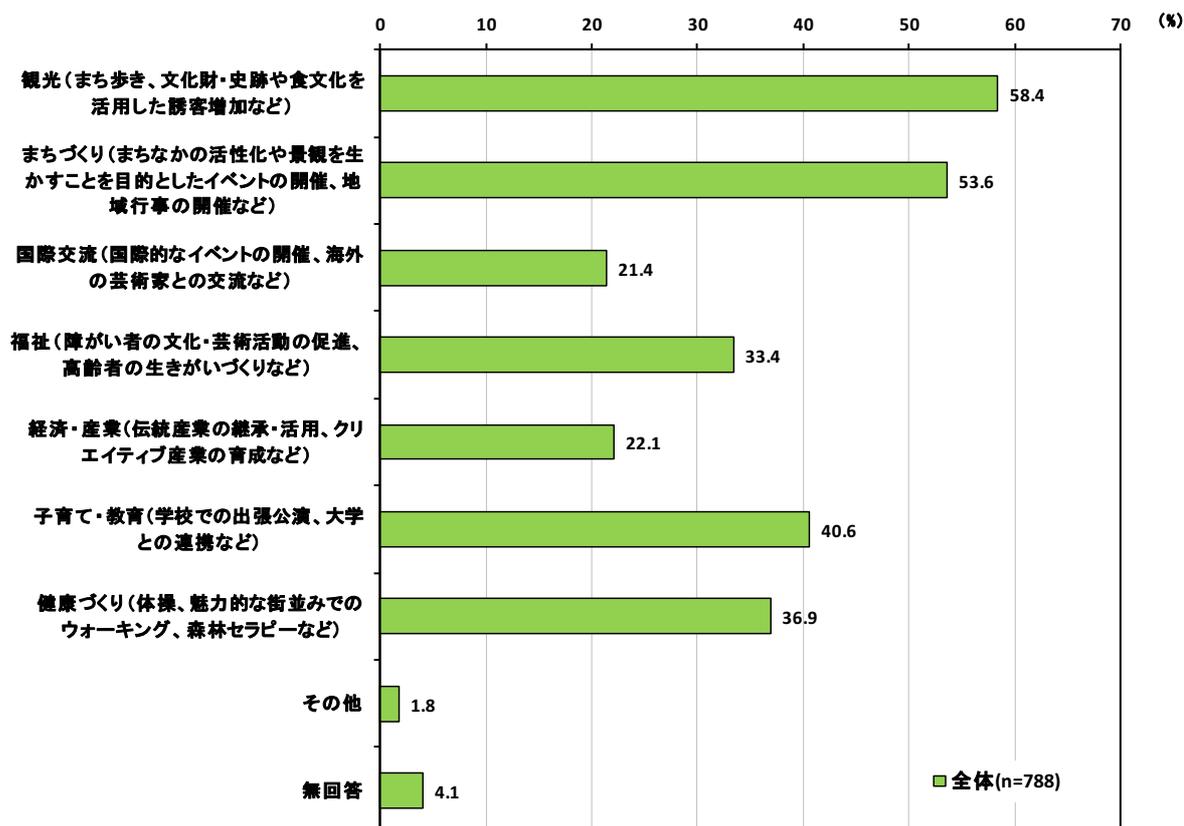
【前回との比較】

- 前回調査から割合の増減はありますが、大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30・40歳代では「子育て・教育（学校での出張公演、大学との連携など）」が5～6割台、70歳以上では「健康づくり（体操、魅力的な街並みでのウォーキング、森林セラピーなど）」、「福祉（障がい者の文化・芸術活動の促進、高齢者の生きがいづくりなど）」が4割台と他の年齢層に比べ多くなっています。

【設問38】大分市では、さまざまな分野で文化・芸術を活かしていきたい（活用・連携など）と考えていますが、あなたが下記の分野の中で文化・芸術を活かした方が良いと感じるものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）



【設問38】大分市では、さまざまな分野で文化・芸術を活かしていきたい（活用・連携など）と考えていますが、あなたが下記の分野の中で文化・芸術を活かした方が良いと感じるものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

	サンプル数	観光（まち歩き、文化財・史跡や食文化を活用した誘客増加など）	まちづくり（まちなかの活性化や景観を生かすことを目的としたイベントの開催、地域行事の開催など）	国際交流（国際的なイベントの開催、海外の芸術家との交流など）	福祉（障がい者の文化・芸術活動の促進、高齢者の生きがいづくりなど）	経済・産業（伝統産業の継承・活用、※クリエイティブ産業の育成など）	子育て・教育（学校での出張公演、大学との連携など）	健康づくり（体操、魅力的な街並みでのウォーキング、森林セラピーなど）	その他	無回答
全体	788	58.4	53.6	21.4	33.4	22.1	40.6	36.9	1.8	4.1
年齢別	20歳代以下	46	67.4	43.5	26.1	19.6	23.9	37.0	15.2	0.0
	30歳代	97	67.0	52.6	21.6	30.9	22.7	60.8	30.9	2.1
	40歳代	130	62.3	53.1	28.5	31.5	26.2	53.1	35.4	0.0
	50歳代	145	62.1	57.9	26.2	34.5	22.8	36.6	34.5	2.8
	60歳代	179	55.9	55.9	15.6	31.3	22.9	39.7	40.8	1.7
	70歳以上	182	49.5	52.2	18.1	41.2	18.1	28.0	45.1	2.7
職業別	自営業	49	53.1	55.1	28.6	24.5	36.7	32.7	38.8	0.0
	専門職	34	58.8	70.6	32.4	41.2	14.7	44.1	38.2	0.0
	会社員	198	68.7	54.5	21.7	30.3	24.7	41.9	27.8	2.5
	公務員	48	58.3	50.0	27.1	25.0	20.8	52.1	43.8	4.2
	パート・アルバイト	103	59.2	60.2	25.2	35.0	24.3	50.5	42.7	1.0
	専業主婦・主夫	140	50.0	45.0	15.7	40.0	17.9	47.9	45.7	2.9
	無職	156	51.3	51.3	19.2	34.6	18.6	29.5	39.7	1.3
	その他	50	68.0	54.0	20.0	28.0	26.0	24.0	20.0	0.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上大きいもの(「無回答」は除く)